

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
学校教育部	教育課程課	英語教育推進事業	213,869		1
学校教育部	教育課程課	学校図書館教育推進事業	120,462		3
学校教育部	教育課程課	社会的実践力向上推進事業	85,514		5
学校教育部	教育課程課	教育活動支援事業	74,103		7
学校教育部	教育課程課	教育研究推進事業	15,563		9
学校教育部	教育課程課	堺版コミュニティ・スクール推進事業	1,556		11
学校教育部	教育課程課	夢をはぐくむ高校教育推進事業	11,321		13
学校教育部	教育課程課	豊かな心の育成事業	1,242		15
学校教育部	人権教育課	堺市教育コミュニティづくり推進事業	400		17
学校教育部	人権教育課	多文化共生推進事業	52,203		19
学校教育部	生徒指導課	こどもの安全安心対策事業	13,548		21
学校教育部	人権教育課	人権教育推進事業	5,300		23
学校教育部	人権教育課	人権学習推進事業	1,757		25
学校教育部	教育課程課	小中一貫教育充実事業	2,438		27
地域教育支援部	地域教育振興課	舳松社会教育会館管理運営	5,891		29
地域教育支援部	地域教育振興課	青少年センター図書室運営	16,002		31
地域教育支援部	地域教育振興課	小学校施設開放事業	16,955		33
地域教育支援部	地域教育振興課	中学校施設開放事業	64,225		35
地域教育支援部	地域教育振興課	地域学校協働活動推進事業	422		37
地域教育支援部	地域教育振興課	社会教育関係団体支援事業	5,953		39

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
地域教育支援部	美原こども館	美原こども館管理	53,089		41
学校管理部	学務課	幼稚園管理運営事業(学務課)	33,950		43
学校管理部	学務課	特別支援学校管理運営事業(学務課)	552,887		45
学校管理部	学務課	小学校管理運営事業(学務課)	13,158		47
学校管理部	学務課	学校規模の適正化事業	12,011		49
学校管理部	学校給食課	食育推進事業	261		51
学校管理部	学校給食課	高等学校定時制課程給食事業	875		53
学校管理部	学校給食課	小学校給食事業	5,452,619		55
学校管理部	学校給食課	中学校夜間学級給食事業	1,084		57
学校管理部	学校給食課	特別支援学校給食事業	122,391		59
学校管理部	学校給食課	学童集団下痢症補償・フォローアップ事業	3,057		61
学校管理部	学校給食課	中学校給食事業	2,881,502		63
学校管理部	学校管理課	小学校管理運営事業(学校管理課)	628,304		65
学校管理部	学校管理課	中学校管理運営事業(学校管理課)	293,527		67
学校管理部	学校管理課	幼稚園管理運営事業(学校管理課)	7,914		69
学校管理部	学校管理課	高等学校管理運営事業(学校管理課)	19,619		71
学校管理部	学校管理課	理科教育等設備整備事業(小学校)	4,500		73
学校管理部	学校管理課	理科教育等設備整備事業(中学校)	2,100		75
学校管理部	学校管理課	特別支援学校管理運営事業(学校管理課)	43,860		77
学校管理部	学校管理課	特別支援教育設備整備事業(小学校)	260		79

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
学校管理部	学校管理課	特別支援教育設備整備事業(中学校)	130		81
学校管理部	学校管理課	閉校園管理事業(学校管理課)	10,691		83
学校管理部	学校管理課	学校園施設保全事業(小学校)	570,920		85
学校管理部	学校管理課	学校園施設保全事業(中学校)	211,365		87
学校管理部	学校管理課	学校園施設保全事業(高等学校)	12,129		89
学校管理部	学校管理課	学校園施設保全事業(幼稚園)	13,818		91
学校管理部	学校管理課	学校園施設保全事業(特別支援学校)	24,672		93
学校管理部	学校施設課	小学校管理運営事業(学校施設課)	1,629,773		95
学校管理部	学校施設課	中学校管理運営事業(学校施設課)	611,796		97
学校管理部	学校施設課	高等学校管理運営事業(学校施設課)	42,412		99
学校管理部	学校施設課	幼稚園管理運営事業(学校施設課)	19,423		101
学校管理部	学校施設課	特別支援学校管理運営事業(学校施設課)	48,272		103
中央図書館	総務課	図書館電算事業	182,085		105
中央図書館	総務課	図書館管理運営事業(社会教育総務費) 図書館管理運営事業 図書館管理運営事業(政令市)	712,501		107
中央図書館	総務課	地域情報活用支援事業	2,885		109
教育センター	教育課程課 能力開発課	幼児教育充実事業	13,723		111
教育センター	能力開発課	科学教育推進事業	9,123		113
教育センター	学校ICT化推進室	学校教育ICT化推進事業	3,413,520		115
教育センター	企画相談課	教育相談	22,992		117

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和8年度 要求額 (千円)	令和8年度 最終査定額 (千円)	頁
教育センター	能力開発課	教職員研修	98,816		119
教育センター	能力開発課	幼稚園管理運営事業(教育センター)	14,672		121

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	英語教育推進事業				事業番号	038-032
担当部署名	堺市教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組		英語教育、多文化理解の促進	4.7		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	昭和 62 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学習指導要領						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市立小・中・高等学校の児童生徒				対象数 57,100		
7	事業の目的	児童生徒がネイティブ・スピーカー等との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■市立小・中・高等学校にネイティブ・スピーカーを配置 ■小学校教員及び中・高等学校英語科教員の英語力及び英語指導力向上にかかる研修を実施 ■中学校においてオンライン英会話を実施 ■英語教育の専門性をもつ非常勤講師を小学校に配置 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ■中学校2年生でのオンライン英会話の実施 						
9	主な支出先	委託業者						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 英検3級程度の英語力を有する生徒の割合	単位 %	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値 60	62	64	65
	当該指標を選定した理由	義務教育9年間における英語教育実施の成果を測る指標として適当であると考えられるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	英語教育実施状況調査（中学3年）				
12	活動指標(成果を上げるための手段) 英語の授業はよくわかると答える生徒の割合	単位 %	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度 79	令和7年度 80	令和8年度 81	
			目標値 59.8	60	64	
	当該指標を選定した理由	全市的な英語教育の実態を客観的に把握できる指標である。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度堺市児童生徒学習・生活状況調査（中学1・2年） 令和7年度IRTを活用した堺市学力・学習状況調査（中学1・2年）				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	英語教育推進事業	事業番号	038-032
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	188,085	188,151	188,358	207,702	213,869
	国支出金	1,676	3,236	4,063	4,394	8,300
	府支出金					
	市債					
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）			110,000	203,308	
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	186,409	184,915	74,295	0	205,569

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち	主な項目	年度		事業費	うち
		R7	予算	155,762	一般財源		R7	予算	1,034	0
	堺市英語教育に関する人材派遣 業務委託料	R8	予算	155,745	155,745	会計年度任用職員通勤費等旅 費	R8	予算	2,039	914
	堺市小中学校オンライン英会話委 託業務等	R7	予算	33,783	0	研究指定校消耗品費	R7	予算	85	0
		R8	予算	34,617	33,783		R8	予算	307	85
	委託業務事業者選定専門家等 報償費	R7	予算	312	0	AI英語モデル手数料	R7	予算	0	0
		R8	予算	358	312		R8	予算	1,491	0
	委託業務事業者選定委員会会 場等借上料	R7	予算	100	0	会計年度任用職員期末勤勉手 当	R7	予算	0	0
		R8	予算	137	100		R8	予算	2,373	2,010
	会計年度任用職員報酬	R7	予算	16,626	0		R7	予算		
		R8	予算	16,802	12,620		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8 ~ R9	要求額	200,000
----	----	---------	-----	---------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■ネイティブ・スピーカーを小・中・高等学校に配置 ■オンライン英会話を全中学校2年で実施 ■小・中・高等学校教員の指導力向上研修を実施 ■小学校に非常勤講師を配置 ■中学校において「AIの活用による英語教育強化事業」のモデル実施
	R8	■R7年度の取組を継続して実施する
	R9以降	■R8年度の取組を継続して実施する

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■早期より英語に慣れ親しみ、外国語でのコミュニケーション能力を育むことで、本市児童生徒の総合的な学力の育成に寄与する取組を実施する。英語科教員の研修を実施し授業改善を図る。また、ネイティブ・スピーカーの派遣、オンライン英会話の実施、小学校への非常勤講師の配置など、児童生徒が英語を学ぶ環境の構築を継続して行う。
		中学3年生の英語力 平成28年度 令和6年度 国平均 21.1% 59.8% 52.4% ※英検3級相当以上の英語力を有すると思われる生徒数 ※「国目標」は令和9年度に60%

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		事業番号			
事務事業名	学校図書館教育推進事業				事業番号	038-034
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
	寄与 する KPI	有・無	指標名			—		
	無	現状値			目標値	—		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.1		
	寄与 する KPI	有	取組			総合的な学力の育成		
	無	指標名			目標値	—		
	無	現状値			目標値	—		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 19 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学校図書館法、学習指導要領						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	市内全小・中・支援学校				対象数 138		
8	事業の目的	本に親しむことをとおして、豊かな心と自ら学ぶ態度を育成できるよう、児童生徒の読書習慣を定着させる。 また、調べ学習や探究的な学びを支えることができるよう学習センター機能・情報センター機能のさらなる充実を図る。						
9	事業内容	学校図書館の読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能の充実及び開かれた学校図書館の実現を図るために以下の取組を実施 ■学校図書館の充実に資する人材として、小・中・支援学校に学校司書を配置 ■探究的な学びの実現に向けた学校図書館の活用についての研究 小学校 1 校 ■学校図書館サポーターを小・中・支援学校に回数配置 ■司書教諭及び学校図書館担当教員、学校司書に対する研修の実施						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	会計年度任用職員への報酬						
12	公民連携・協働事業	セレッソ大阪との読書推進プロジェクト						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	「学校図書館等の本を使って調べる活動をよく行っている」と答える児童生徒の割合	%	目標値	44	45	46
			実績値	32	35	—
			達成率	73%	78%	46
	当該指標を選定した理由	学習指導要領に示されている、「学校図書館を児童生徒の主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす」ことを測る指標であるから。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和6年度 堺市児童生徒生活・学習状況調査 令和7年度 IRTを活用した堺市学力・学習状況調査				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	授業で学校司書等が図書資料を提供した回数（1校あたりの平均）	回	目標値	22	23	24
			実績値	21	23	—
			達成率	95%	100%	—
	当該指標を選定した理由	学校司書等による各学年の授業への図書資料の準備、提供は、児童生徒が学校図書館等の本を活用して学ぶことにつながる指標であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	学校図書館教育実施報告書（年度末に学校から提出）				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校図書館教育推進事業	事業番号	038-034
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	87,329	89,940	95,154	114,610	120,462
	国支出金	4,899	7,794	9,549	11,072	11,072
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	82,430	82,146	85,605	103,538	109,390

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	69,720	69,720		R7	予算	33,216	22,144
14 事 業 費 内 訳	会計年度任用職員報酬	R8	予算	78,343	78,343	学校図書館センター謝礼金等	R8	予算	33,489	22,417
	会計年度任用職員通勤費等	R7	予算	8,240	8,240		R7	予算	152	152
		R8	予算	8,368	8,368		R8	予算	152	152
	学校図書館職員報酬	R7	予算	2,482	2,482		R7	予算	100	100
		R8	予算	0	0		R8	予算	100	100
	学校図書館職員期末勤勉手当	R7	予算	522	522		R7	予算	10	10
		R8	予算	0	0		R8	予算	10	10
	学校図書館職員通勤費等	R7	予算	168	168		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・拠点校1中学校 ・学校司書42中学校（週2日 1日4時間半勤務） ・学校司書2支援学校（週2日 1日4時間半勤務） ・学校図書館センター 予算の範囲内で小学校・中学校・支援学校に配当
	R8	・学校司書43中学校（週2日 1日4時間半勤務） ・学校司書3支援学校（週2日 1日4時間半勤務）※宮園分校含む ・学校図書館センター 予算の範囲内で小学校・中学校・支援学校に配当
	R9以降	・令和8年度の取組を継続する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・令和8年度より百舌鳥支援学校宮園分校にも学校司書を配置 ・令和8年度より学校図書館職員の配置がなくなることに伴い、学校司書を中学校で1校分追加 ・「職歴年数の加算」により、会計年度任用職員報酬を拡充 ・学校図書館センターは、令和7年度と同様の配置 【国の動向】 ・平成26年6月学校図書館法一部改正、「学校司書を置くように努めなければいけない」（平成27年4月施行） ・第6次学校図書館整備等5か年計画（R4～R8）において、①学校図書館標準の達成及び計画的な図書の更新②学校図書館への新聞配備（高等学校5紙、中学校3紙、小学校2紙）③小・中・支援学校1.3校に1人の学校司書の配置について地方交付税措置が図られている。 【堺市SDGs未来都市計画のKPI達成への寄与】 ・本事業は、読書センター・学習センター・情報センターとしての学校図書館の活性化を図ることで、豊かな心の育成や総合的な学力の向上に寄与する。また、SDGsターゲット4-6の「子ども読書活動の推進」の達成に向けた取組となっている。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
社会的実践力向上推進事業	堺市教育委員会事務		局	学校教育	事業番号	038-035
				部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ①郷土・堺の歴史を学び、発信できる力の育成		
	寄与 する KPI	有・無	指標名			—		
	無	現状値			目標値	—		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.1		
	寄与 する KPI	有	取組			総合的な学力の育成		
	無	指標名			目標値	—		
		現状値			目標値	—		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 30 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法第2条、第5条 学校教育法第21条 学習指導要領						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	市立学校園の児童生徒				対象数 57,700 人		
8	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 堀の歴史・文化についての学習や、環境・防災・情操教育等をとおして、こどもたちの社会的実践力を育む。 ■ 地域人材等の活用により学校園の教育活動を支援し、学校教育の活性化を図る。 						
9	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ こども堺学の推進として、社会科副読本の作成及び配付 ■ キャリア教育の推進として、堺にゆかりのある著名人や各分野の専門家による出前授業の支援、推進校の指定及び教員研修の実施 ■ 環境教育、防災教育の推進として、教員研修の実施 ■ 文化芸術に関する取組として、交響楽団芸術鑑賞事業等の実施 ■ 地域人材の活用として、堺・スクールサポーターの各校への回数配置等 						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	堺・スクールサポーター、出前授業講師等への謝礼						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と答える児童・生徒の割合	%	目標値 小 78. 中 60	小 79. 中 61	小 80. 中 62	小 81. 中 72
			実績値 小 83.4. 中 71.5	小 78.9. 中 69.3		
			達成率 小 107%. 中 119%	小 100%. 中 114%		
	当該指標を選定した理由	子ども堺学、キャリア教育等、小学校・中学校の教育課程において育成される社会参画力を図る指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	全国学力・学習状況調査（児童・生徒質問紙調査）				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	「各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けている」と答える学校数	校	目標値 107	109	111	
			実績値 113	114		
			達成率 106%	105%		
	当該指標を選定した理由	総合的な学習の時間等において各教科で身に付けたことを活用しながら地域と関わりながら学ぶ機会を創出することが、地域や社会をよくするために自分にできることを考える児童生徒を図る指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	全国学力・学習状況調査（学校質問紙調査）				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	社会的実践力向上推進事業	事業番号	038-035
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	80,192	74,764	71,352	79,435	85,514
	国支出金	8,376	12,156	11,229	17,768	17,813
	府支出金			0		
	市債			0		
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	18,349	18,049	18,218	18,300	18,300
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		
	一般財源	53,467	44,559	41,905	43,367	49,401

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	51,684	34,308		R7	予算	427	427
14 事 業 費 内 訳	堺・スクールサポーター等謝礼金	R7	予算	51,790	34,411	堺つ子書道展等消耗品費	R8	予算	433	433
		R8	予算				R7	予算	2,363	1,576
	堺・スクールサポーター等保険料等	R7	予算	860	860	会計年度任用職員報酬	R8	予算	6,832	6,003
		R8	予算	860	860		R7	予算	377	272
	社会科副読本等印刷製本費	R7	予算	4,200	4,200	会計年度任用職員通勤費等	R8	予算	763	658
		R8	予算	4,460	4,460		R7	予算	0	0
	交響楽団芸術鑑賞業務等委託料等	R7	予算	19,200	1,400	会計年度任用職員期末勤勉手当	R8	予算	926	926
		R8	予算	19,200	1,400		R7	予算	30	30
	堺つ子書道展等会場等借上料等	R7	予算	294	294	世界遺産学習連絡協議会負担金	R8	予算	30	30
		R8	予算	220	220		R7	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■各校において子ども堺学やキャリア教育の充実 ■堺・スクールサポーターを各校に回数配置し、学校園の教育活動を支援 ■学習支援員配置についてのモデル実施
	R8	令和7年度の取組を、継続して実施する
	R9以降	令和8年度の取組を、継続して実施する

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	学校においては、学習面での支援や特別な配慮の必要な児童が増えている。授業や学校活動におけるきめ細かな指導を充実し、教育の質の向上を図るため、堺・スクールサポーターの派遣を継続する。また、議会における指摘をふまえ、学習支援員の任用化に向けたモデル実施を継続して進める。 本事業を通して、各校の地域の特性に応じた特色ある教育や発達段階に応じたキャリア教育を推進することで、社会的・職業的自立にむけた基盤となる能力を育成し、人格の完成を目指して豊かな情操や感性を育てていく。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	教育活動支援事業				事業番号	038-037
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ③健やかな心身の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.1		
		有	取組		総合的な学力の育成			
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	— 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市立学校園の児童生徒			対象数 57,700	単位 人		
7	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 各学校行事における目標達成をめざして互いに団結力を高め、良好な集団づくりを通して、こどもの自尊感情や規範意識を醸成し、総合的な学力を育成するための学校教育活動を支援することを目的とする。 小・中学校連合音楽会は、伝統的な行事であり、堺市立の全小学校、全中学校が参加している。平素の音楽活動で身に付けた表現力を発表するとともに、音楽を鑑賞することを通して、児童の音楽性、表現力、感性を培い、豊かな情操を養うこと、また連合音楽会に参加することで、全市児童、生徒が校区を超えてお互いの親睦を図るとともに、音楽鑑賞時のマナーを学ぶことを目的とする。 						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 学校園行事に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> 学校園で様々な教育活動を通じて、情操、想像力、社会性を養う。 小中学校連合音楽会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が参加する全市的な音楽会を開催する。 						
9	主な支出先	各学校、堺市初等教育研究会、堺市立中学校教育研究会						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	小中学校連合音楽会の参加校数	校	成果指標(目的の達成状況を測定)	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
			目標値	135	135	135
			実績値	135	135	
			達成率	100%	100%	
12	当該指標を選定した理由	児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	全小中学校数				
	小中学校連合音楽会の開催回数	回	活動指標(成果を上げるための手段)	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
			目標値	(小)1 (中)1	(小)1 (中)1	(小)1 (中)1
			実績値	(小)1 (中)1	(小)1 (中)1	
	当該指標を選定した理由	児童生徒に対して校区を越えた学習発表の場を提供することが、全市的な教育活動の充実につながるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	小学校、中学校での開催回数				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	教育活動支援事業	事業番号	038-037
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト									
13	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度			
		決算	決算	決算	予算	予算要求			
財 源 内 訳	事業費 (a)	8,708	11,986	9,299	101,621	74,103			
	国支出金	1,392			89,406				
	府支出金								
	市債					30,600			
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	993	5,704	3,387	4,508	10,758			
	受益者負担金(使用料、手数料等)								
一般財源		6,323	6,282	5,912	7,707	32,745			
事業費の内訳									
事業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	
	行事関係使用料	R7	予算	1,642	学校指定寄付金充当経費	R7	予算	150	
		R8	予算	1,804		R8	予算	2,700	
	教職員の出張にかかる使用料および燃料費	R7	予算	5,030	小学校連合音楽会開催業務	R7	予算	4,358	
		R8	予算	0		R8	予算	8,058	
	連合書写展および中学校百人一首大会経費	R7	予算	130	中学校連合音楽会開催業務	R7	予算	193	
		R8	予算	130		R8	予算	193	
	フィルム映写業務経費および体験学習保険料	R7	予算	260	幼少中美術展経費	R7	予算	21	
		R8	予算	300		R8	予算	60,620	
	英語暗唱大会経費及び読書感想文コンクール経費	R7	予算	431	学校徴収金公会計化関係経費	R7	予算	89,406	
		R8	予算	298		R8	予算	0	
債務負担行為							(単位：千円)		
15	期間	R8 ~ R10		要求額		69,000			

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	学校行事について支援するため、各学校の計画をもとにした行事関係使用料、校外学習に係るバス料金高騰分支援を執行する。 小中学校連合音楽会を開催する。
	R8	学校行事について支援するため、各学校の計画をもとにした行事関係使用料等を執行する。 小中学校連合音楽会を開催する。
	R9以降	総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。 学校徴収金を公会計化し、当該業務に係る教職員の負担を軽減することで、学校教育活動を支援する。（R9～）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	総合的な学力の向上に向け、各学校行事等について支援する。
----	---------	------------------------------

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 教育研究推進事業				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	事業番号	038-038
					教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実		
		有	取組の方向性		①信頼される教員の育成	—		
		有・無	指標名		—	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	無	現状値		目標値	—		
2		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組		総合的な学力の育成	4.1		
		有・無	指標名		—	—		
		無	現状値		目標値	—		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 17 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、教育公務員特例法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	市立学校園の教職員				対象数 4,592		
8	事業の目的	教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、生徒指導、学校経営、学校事務等に対する広い視野を持ち、資質・能力の向上を図る。						
9	事業内容	今日的教育課題や教育活動・指導方法の改善に関する教職員の調査・研究や学校園をあげて組織的に取り組む研究に対して、負担金、報償費等を配当する。						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	研修講師						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位 %	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	94	95	96
12	当該指標を選定した理由	実績値	92	92		
			達成率	98%	97%	
11	当該指標を選定した理由	授業において学習課題や活動を工夫する学校の割合を確認することが、教員の教科指導等に対する専門知識を獲得したか、また教員としての資質が向上したかを把握できる指標であるため。				
12	目標値の設定根拠・算出方法	全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位 校	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	114	118	122
12	個々の教員が自らの専門性を高めるために、教育に関する研究会等に参加していると答える学校数	実績値	117	121		
			達成率	103%	103%	
12	当該指標を選定した理由	教員が教育に関する研究会等に参加している学校数を確認することで、教員の資質向上に向け組織的な研究や研修を行っているか把握できる指標であるため。				
12	目標値の設定根拠・算出方法	全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	教育研究推進事業	事業番号	038-038
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	7,807	8,779	12,662	15,781	15,633
	国支出金	405	195	304	1,280	1,380
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源		7,402	8,584	12,358	14,501	14,253

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	11,429	11,429		R7	予算	603	184
事業 費 内 訳	教育活動研究推進事業等負担 金	R8	予算	11,047	11,047	教育活動研究推進事業等旅費	R8	予算	733	314
	教育活動研究推進事業等謝礼 金	R7	予算	1,990	1,811		R7	予算		
		R8	予算	2,113	1,934		R8	予算		
	教育活動研究推進事業等消耗 品費等	R7	予算	1,335	1,006		R7	予算		
		R8	予算	1,313	934		R8	予算		
	教育活動研究推進事業等使用 料	R7	予算	400	50		R7	予算		
		R8	予算	420	20		R8	予算		
	教育活動研究推進事業等役務 費	R7	予算	24	21		R7	予算		
		R8	予算	7	4		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	<研修会参加・講師招聘研究会の実施> 教職員が、教科指導等に対する専門知識についての深い見識と、特別支援教育、人権教育、生徒指導、学校経営に対する広い視野を持ち、研修会に参加したり、講師を招聘して自校にて研修会を行ったりして、資質・能力の向上を図る。
	R8	R7年度の取組を継続し、実施する。
	R9以降	R8年度の取組を継続し、実施する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	Society 5.0の社会に対応した、ICTを活用した学びの充実、個別最適化された学習の推進、そして協働的な学習の促進と、令和の日本型教育の構築により、授業改善に関する研究会や校内研修の充実が、今後ますます求められると考えられる。また、収集型・オンライン型・オンデマンド型など、研修の形態も多様化している。そのような状況の中で、教育の質を確保するためには、一定の研究会参加負担金や校内研修における講師謝礼金の確保が必要である。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名	埠版コミュニティ・スクール推進事業		事務事業分類		
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	事業番号	038-039

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	埠市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 — —	施策 (4)安心して学べる教育環境の充実 ⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 — —		
	埠市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 総合的な学力の育成 — —	ターゲット 4.1 — —		
2	関連計画	埠市教育大綱、第4期未来をつくる埠教育プラン						
3	事業開始年度	平成 27 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法第13条,学校教育法施行規則第49条						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市立小学校、市立中学校			対象数 135	単位 校		
7	事業の目的	地域と学校が支え合い、コミュニティの拠点となりうる「埠版コミュニティ・スクール」を全小中学校に構築するために、学校運営に地域住民や保護者の声を反映し、学校のマネジメント力を向上させるとともに、地域住民が学校の教育活動を多様な方法で支援する。						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者・地域住民等の参画による学校協議会の設置 学校経営方針を共有し、諸課題の解決に向けた協議や協働した取組など、保護者・地域住民等の学校経営への参画を図る「学校協議会」を設置する。 ■地域人材による学校支援体制の充実 学校経営方針に基づき、教育活動の推進や改善を図るため、保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進する。 ■地域コーディネーターの育成と地域学校協働活動の充実 学校と地域の連携を円滑にするためのコーディネーター機能を充実させて、地域学校協働活動を推進する。 ■埠版コミュニティ・スクール推進のための説明会の開催 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	埠版コミュニティ・スクール推進事業						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
11	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」の肯定回答	%	目標値 小85.0 中80.0	小92.0 中88.0	小90.0 中92.0	小90.0 中92.0
	当該指標を選定した理由	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者・地域住民等による学校を支援する活動や体制づくりを推進することが重要であるため、本指標を設定した。 				
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■全国学力・学習状況調査の質問紙項目 ■小学校においては府平均（91.9%）を下回った。次年度の目標値を昨年度実績値である90%とする。 ■中学校においては府平均（89.3%）を上回った。より高い水準をめざし、次年度の目標値を92%とする。 				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	全国学力・学習状況調査の質問紙項目「全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか（学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む）」の肯定回答	%	目標値 小95.0 中85.0	小88.0 中94.0	小88.0 中94.0	
			実績値 小84.6 中90.7	小82.7 中86.0		
			達成率 小89.1 中106.7	小94.0 中91.5		
12	当該指標を選定した理由	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者・地域住民等との地域協働を推進することが重要であることから、本指標を設定した。 ■学校と地域・保護者が連携を深めていくためには、学校が積極的に地域・保護者に対して情報を発信し、相互の意思の疎通を図ることが重要である。教育課程を介して学校と地域・保護者が繋がることで、地域でどのような子どもを育てるのかという目標やビジョンの共有が促進され、地域とともにある学校づくりが効果的に進められることが期待できるため。 				
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■全国学力・学習状況調査の質問紙項目 ■小学校においては、府平均（95.8%）を下回った。令和6年度の実績値を基準に、次年度も今年度と同数の目標値を88%とする。 ■中学校においては、府平均（93.8%）を下回った。令和6年度の実績値を基準に、次年度も今年度と同数の目標値を94%とする。 				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺版コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	038-039
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	982	931	867	1,341	1,556
国支出金	305	309	288	445	517
府支出金	153	147	134	184	224
市債					
その他（ ）					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	524	475	445	712	815

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
	R7	予算	995	502		R7	予算	R8	予算
事業費内訳	コーディネーター謝礼金	R7	予算	995	502		R7	予算	
		R8	予算	1,238	624		R8	予算	
	地域コミュニティ学校運営消耗品費	R7	予算	135	68		R7	予算	
		R8	予算	135	68		R8	予算	
	コミュニティ・スクール周知リーフレット	R7	予算	170	114		R7	予算	
	印刷製本費	R8	予算	170	114		R8	予算	
研修会場使用料	R7	予算	41	28		R7	予算		
		R8	予算	13	9	R8	予算		
	R7	予算			R7	予算			
		R8	予算		R8	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

R7まで	学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築し、堺版コミュニティ・スクールの充実に全小中学校で取り組む。各学校における堺版コミュニティ・スクール（学校協議会）の協議内容や地域学校協働活動についての実態把握を行う。CSマイスターを活用し、コミュニティ・スクール導入に向けて準備を行う。
R8	学校・家庭・地域の理解を促進する研修会を実施し、堺版コミュニティ・スクールの充実に全小中学校で取り組む。令和9年度から國の方針に基づくコミュニティ・スクールの導入に向け、他市等の状況を把握したり、他課と連携したりしながら、規則や条例の改訂、要綱の制定をすすめる。コミュニティ・スクールの周知に際しては、リーフレットを作成し、学校・地域等に配付する予定。
R9以降	堺版コミュニティ・スクールの充実を図り、現行の仕組みを活かしつつ國の方針に基づいたコミュニティ・スクールへ移行するため、モデル実施を行う。

V. 要求のポイント

17 要求のポイント

- 実効的・機能的な学校協議会の運営に向けた環境整備の充実に資する予算を計上。
- 学校運営協議会の円滑な導入に向けた環境整備の充実に資する予算を計上。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		事業番号			
事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業				事業番号	038-042
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成 — —	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成 — —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 総合的な学力の育成 — —	ターゲット 4.1		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 20 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学校教育法、高等学校設置基準						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	堺高等学校への進学を希望する大阪府内の中学校3年生と堺高等学校在籍生徒及びその保護者（令和7年度オープンスクール等に参加の中学校3年生335名、堺高校在籍生徒数646名）			対象数 約1,000	単位 人		
8	事業の目的	専門性の高い教育をとおして生徒一人ひとりの個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を進める。						
9	事業内容	各々の専門性の深化・充実や、大学等の高等教育につながる学力の向上などを進めるため、科学的な思考や創造力を高める教育、体験的で実効性をともなう教育、企業・大学など外部機関と連携した教育など、多様な教育を実践する。						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	委託業者への委託、備品購入及び海外研修派遣生徒への補助						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
11	生徒対象の学校評価アンケートにおいて、「堺高校を選んでよかったです」と回答した生徒の割合	%	目標値 85	85	85	85
	当該指標を選定した理由	教育内容の総合的な充実の度合いをはかるため。				
12	目標値の設定根拠・算出方法	当該年度実施のアンケートで「堺高校を選んでよかったです」と回答した生徒の回答数を、当該年度実施のアンケート回答数で割った割合を指標とした。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
12	生徒対象の学校評価アンケートにおいて、「堺高校の進路指導は充実している」と回答した生徒の割合	%	目標値 85	88	88	
	当該指標を選定した理由	キャリア教育の充実度や、卒業後の進学先及び就職先に対する生徒の満足度をはかるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	当該年度実施のアンケートで「堺高校の進路指導は充実している」と回答した生徒の回答数を、当該年度実施のアンケート回答数で割った割合を指標とした。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	夢をはぐくむ高校教育推進事業	事業番号	038-042
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト						
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	7,134	8,998	18,991	35,330	11,321
	国支出金	0	0	9,999	7,500	
	府支出金					
	市債					
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	0	700	500	700	700
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源		7,134	8,298	8,492	27,130	10,621

事業費の内訳

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	698	698	会計年度任用職員関係（報酬、 職員手当、旅費）	R7	予算	2,643	2,643	
事業 費 内 訳	謝礼金	R8	予算	698	698	負担金（産業教育フェア、進学 フェア）	R7	予算	293	293	
		R8	予算	1,477	777				233	233	
	海外交流関係（補助金、旅費な ど）	R7	予算	1,183	483	消耗品費・印刷製本費・保険料	R7	予算	759	759	
		R8	予算	2,310	2,310				820	820	
	委託料（人材派遣、高大連携）	R7	予算	2,270	2,270		R7	予算	0	0	
		R8	予算	999	999				501	501	
	実習機器等修繕料・点検料	R7	予算	18,945	18,945	高校改革関係（印刷製本費、旅 費等）	R7	予算	7,500	0	
		R8	予算	945	945				600	600	
実習機器等備品購入費											

債務負担行為

15	期間	R ~ R	要求額

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	■ 短期海外研修を実施 ■ 外部講師を招聘しての講演等を実施 ■ 産業教育フェア、公立高校進学フェアへの参加等により堺高校の魅力を発信 ■ 理数・工業・商業に関する専門性の高い教育の充実 ■ 高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）への参画
	R8	■ 短期海外研修を実施 ■ 外部講師を招聘しての講演等を実施 ■ 産業教育フェア、公立高校進学フェアへの参加等により堺高校の魅力を発信 ■ 理数・工業・商業に関する専門性の高い教育の充実
	R9以降	■ 短期海外研修を実施 ■ 外部講師を招聘しての講演等を実施 ■ 産業教育フェア、公立高校進学フェアへの参加等により堺高校の魅力を発信 ■ 理数・工業・商業に関する専門性の高い教育の充実

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 台湾等の近隣諸国への短期海外研修を実施することにより、生徒の外国語および外国の文化への興味関心が高まり、学習意欲の向上につなげる。 ■ 生徒個々が希望する進路目標を実現するため、外部講師を招聘しての講演等を実施し、生徒の学習意欲を高め、自己のキャリア形成の方向性と関連付けた専門教育の充実をはかる。 ■ 専門性の高い教育を充実させるため、設備の拡充及びメンテナンスが必要。 ■ 堀高校の魅力発信。 ■ 今後も、生徒個々の個性と能力を引き出し、生徒の進路目標を実現するための教育を展開し、本市はもとより様々な分野や国際的に活躍する人材を育成するとともに、市民からの信頼に応え、地域と連携した教育を継続する必要がある。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	豊かな心の育成事業				事業番号	038-046
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (3) 多様性を尊重した教育の推進		
		有	取組の方向性		①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成			
		有・無	指標名		—			
	堺市SDGs 未来都市 計画	無	現状値		—	—		
2		施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組		いじめを生まない豊かな心の育成	4.5		
		有・無	指標名		—			
		無	現状値		目標値	—		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 27 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	■堺市立全小中学校 ■指定校 2 小中学校 ※指定校は年度ごとに指定する。			対象数	単位		
					135	校		
8	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■こどもの豊かな心の育成をめざし、小・中学校における道徳科の指導の充実を図るとともに、家庭・地域と連携した豊かな体験と道徳科を関連づけた道徳教育を推進する。 ■小中9年間を見通し、地域の実態や課題に応じた継続性のある道徳教育を実施することで、将来に夢をもち、郷土を愛する心を育む。 						
9	事業内容	<p>指定校においては、以下の内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 道徳教育及び「道徳科」の授業づくりや評価の充実に向けた研究及び実践 (2) 全市に向けた公開授業研究会の開催 (3) 地域人材を講師に招いたり、保護者とともに道徳教育に関する活動をしたりするなど、家庭・地域と連携した道徳教育の推進 (4) 各小中学校において本市独自の道徳教材集「未来をひらく」を活用し、道徳科授業の充実を図る 						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	講師謝礼金						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
	全国学力・学習状況調査質問紙調査において「自分にはよいところがある」と答えた児童生徒の割合	%	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
			目標値	小89 中87	小90 中90	小90 中90	
			実績値	小84.1 中83.3	小86.3 中85.6		
12	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「自尊感情の高揚」が求められているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■令和7年度90%に向けて段階的に目標値を達成するために、令和6年度の目標値を設定した。 ■「自分にはよいところがある」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割った割合を指標とした。 					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
	CBTによる堺市学習・生活状況調査において「学校のきまりを守っている」と答えた児童生徒の割合	%	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	小90 中90	小90 中90		
			実績値	小89.8 中93	-		
	当該指標を選定した理由	豊かな心の育成に向けては、「規範意識の醸成」が求められているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ■令和6年度、中学校は目標値を上回ったが、高い目標値のため現状維持とした。 ■「学校のきまりを守っている」と回答した児童・生徒の回答数を全回答数で割る。 					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	豊かな心の育成事業	事業番号	038-046
-------	-----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	444	632	583	1,297	1,242
	国支出金	444	632	583	1,297	1,242
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源					

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	368	0		R7	予算	R8	予算
事業 費 内 訳	道徳教育推進指定校講師謝礼 金	R7	予算	368	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	368	0		R8	予算	R8	予算
	出張等旅費	R7	予算	587	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	603	0		R8	予算	R8	予算
	道徳教育推進指定校消耗品	R7	予算	280	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	258	0		R8	予算	R8	予算
	研修会場使用料	R7	予算	62	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	13	0		R8	予算	R8	予算

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・研究校を指定し、道徳教育、道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価の研究を推進 ・西陶器小学校で参考集型の研究大会を実施
	R8	・研究校を指定し、道徳教育の充実、道徳科授業の質的向上、教科書・副読本の活用に関する研究の推進と展開 ・さつき野学園で堺市道徳教育研究大会を実施予定
	R9以降	・研究校を指定し、道徳教育の充実、道徳科授業の質的向上、教科書・副読本の活用に関する研究の推進と展開

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		●研究校を指定し、道徳教育を推進するとともに、堺市道徳教育研究大会を充実させ、取組の成果を全市に発信される。 ●道徳科の授業づくり、教科書・副読本の活用、評価についての研究をすすめ、全市に発信する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分		その他	
	事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業		事務事業分類	A 一般事務事業		事業番号	038-050
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育	課		

I. 基本情報

事業の位置付け													
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実						
		有	取組の方向性		⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進								
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無	指標名	学力が伸びた児童生徒の割合								
		有	現状値	小5 国：77.5%算：68.7%、中2 国：59.4%数：79.1%（2025年度）	目標値	小5 国：83.0%算：74.0%、中2 国：70.0%数：84.0%（2030年度）							
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7						
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進									
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—								
		無	現状値	—	目標値	—							
3	事業開始年度	平成 12 年度			点検対象年度	令和 12 年度							
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■ 教育基本法											
事業の概要													
5	事業の実施主体	■ 陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会											
6	事業の対象	■ 陵西中学校区の住民・児童生徒				対象数	単位						
						500	人						
7	事業の目的	■ 教育の今日的課題及び今後の学校教育が進むべき方向性を踏まえ、新しい時代を見据えた人権文化にあふれた教育実践の一環として、中学校区が一体となって保護者・地域の教育力の向上を図り、教育コミュニティづくりを推進することを目的とする。											
8	事業内容	<p>内容</p> <p>■ 中学校区の学校園が連携し、人権や生命、健康の視点で「総合的な学習の時間」に取り組む。地域や学校園の特色を生かした文化・スポーツ活動を通じて同じ地域で暮らすこどもどうしの心のきずなを深め、また、こどもたちが自ら未来を切り拓く力を育成するために、地域の大人が積極的にかかわり、地域が一体となってこどもを育てる環境をつくる。</p> <p>方法</p> <p>■ 3小学校は、小学校間の学習交流会を6学年それぞれ年1回以上実施する。</p> <p>■ 3小学校は、こども園との交流を年1回以上実施する。</p> <p>■ 中学校は、校区3小学校6年生児童を対象とした授業体験、部活動体験を年1回以上実施する。</p> <p>■ 小学校及び中学校は、P T A間で校区の課題について話し合い交流するP T A 4校交流会を年1回以上開催する。</p> <p>■ 中学校は、生徒たちが陵西中学校区や校区近辺の歴史等を知ることによって、陵西中学生であることの自覚を高めるため、地域フィールドワークを年1回以上実施する。</p> <p>■ 中学校は、生徒たちが職業観・勤労観を育て自己の将来を考え、学習意欲を高めるため、職場体験及び校区内こども園での実習を年1回以上実施する。</p> <p>■ こども園・小学校・中学校が相互に連携し教育力を高めるため、教育視察等を含めた合同研修会を年1回以上実施する。</p> <p>■ 陵西中学校区の幼児児童生徒及び保護者が事業を通じて交流を深め、地域を活性化して教育力を高めるため、「教育講演会、研修会」を年1回以上開催する。</p> <p>■ 地域や学校の特色を生かし、地域の大人が積極的にこどもを育てるという気運を高めるため、文化・スポーツ活動を通じた啓発活動を年1回以上実施する。</p>											
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—											
9	主な支出先	堺市陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会											
10	公民連携・協働事業	—											

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定										
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度		
					令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
	教育研修会等への参加者数		人	目標値	400	500	500	500		
				実績値	500	500				
12	当該指標を選定した理由		事業目的が、学校・家庭・地域の連携のもと、児童生徒の心と体の健康づくりの教育を推進するため、地域の大人が積極的にかかわり地域が一体となることであるため。							
	目標値の設定根拠・算出方法		陵西中学校区の児童生徒数をもとにした数値。							
	活動指標(成果を上げるための手段)		単位		実績	実績見込み	目標			
	陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会活動数		回		令和6年度	令和7年度	令和8年度			
				目標値	15	20	20			
	当該指標を選定した理由		事業の成果を上げるため、陵西中学校区のP T A、学校やこども園関係者、地元関係者等で組織された団体の活動が重要であるため。							
	目標値の設定根拠・算出方法		陵西中学校区教育コミュニティづくり推進委員会が総会等で示した活動数。							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	堺市教育コミュニティづくり推進事業	事業番号	038-050
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位:千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	446	422	400	400	400
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	内訳					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	446	422	400	400	400

事業費の内訳

(単位:千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算				R7	予算		
事業費内訳	堺市教育コミュニティづくり推進事業（委託料）	R8	予算	400	400		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		

債務負担行為

(単位:千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■ 陵西中学校区で、こども園、小学校、中学校が連携した取組を実施。
	R8	■ 陵西中学校区で、こども園、小学校、中学校が連携した取組を実施。
	R9以降	■ 陵西中学校区で、こども園、小学校、中学校が連携した取組を実施。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 事業の継続実施に必要な経費を計上する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	多文化共生推進事業				事業番号	038-051
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (3) 多様性を尊重した教育の推進		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成			
		有・無	指標名	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）と答えた児童生徒の割合				
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有	現状値	小6 78.0%中3 76.6% (2025年度)	目標値 小6 85.0%中3 83.0%(2030年度)		
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.7		
		有	取組		平和、人権、ジェンダー教育の推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	平成 5 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	<ul style="list-style-type: none"> ■学校教育法 ■児童の権利に関する条約 						
事業の概要								
5	事業の実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ■本庁 						
6	事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ■市立学校園の幼児児童生徒 			対象数 57,700	単位 人		
7	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■様々な国や地域の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成する。また、日本語指導が必要な全ての幼児児童生徒が、孤独・孤立化することなく、日本語で学校生活を営み、学習に取り組めるようになるため、学校教育における日本語指導の質の向上や地域・学校における関係者の意識及び指導力の向上を図り、組織的・継続的な支援体制を構築する。 						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市在日外国人教育研究会と共に研修会の開催、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施。 ■堺市立学校園に在籍する海外から帰国して間もない幼児児童生徒及び外国から来日して間もない幼児児童生徒が、学校園生活において十分に能力を発揮できるように、日本語指導センター校での日本語指導をはじめとする自立のための指導を行うため日本語指導員等派遣事業を実施。 ■日本語の力の育成の観点からの組織づくり及び授業力向上の研究・普及を進める日本語指導研究指定校を設置。 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	日本語指導員						
10	公民連携・協働事業	日本語指導員等派遣事業……外部人材の活用						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	日本語指導の支援を行う幼児児童生徒数	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
		人	目標値	508	574	652
		実績値	508	574		973
		達成率	100%	100%		
12	当該指標を選定した理由	堺市の日本語指導が必要な全ての幼児児童生徒が孤独・孤立化することなく、日本語で学校生活を営み、学習に取り組めるようになるための指導を行う必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	各年度で日本語指導が必要な幼児児童生徒の合計数。				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	自立支援日本語指導員（在籍校）及び帰国・来日生徒等寄添い指導員派遣回数	回	目標値	1,050	7,650	8,205
		実績値	1,369	7,650		
		達成率	130%	100%		
	当該指標を選定した理由	日本語指導が必要な全ての幼児児童生徒が孤独・孤立化することなく、日本語で学校生活を営み、学習に取り組めるようになるため、学校教育における日本語指導の質の向上を図る必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	自立支援日本語指導員（在籍校）の回数…日本語指導センター校教員による各児童生徒の日本語能力の見取りから算出。 帰国・来日生徒等寄添い指導員…日本語の定着を鑑みた母語での寄添いに適切な回数を算出。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	多文化共生推進事業				事業番号	038-051																																																																																																																												
III. 令和8年度予算要求額																																																																																																																																		
(単位：千円)																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業コスト</th> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2">令和6年度</th> </tr> <tr> <th>決算</th> <th>決算</th> <th>決算</th> <th>予算</th> <th>予算要求</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">13 財 源 内 訳</td> <td>事業費 (a)</td> <td>21,923</td> <td>22,693</td> <td>18,982</td> <td>52,317</td> <td>52,203</td> </tr> <tr> <td>国支出金</td> <td>5,959</td> <td>6,891</td> <td>5,065</td> <td>16,633</td> <td>16,650</td> </tr> <tr> <td>府支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他（）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受益者負担金(使用料、手数料等)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>15,964</td> <td>15,802</td> <td>13,917</td> <td>35,684</td> <td>35,553</td> </tr> </tbody> </table>								事業コスト	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		決算	決算	決算	予算	予算要求	13 財 源 内 訳	事業費 (a)	21,923	22,693	18,982	52,317	52,203	国支出金	5,959	6,891	5,065	16,633	16,650	府支出金						市債						その他（）						受益者負担金(使用料、手数料等)						一般財源	15,964	15,802	13,917	35,684	35,553																																																																			
事業コスト	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度																																																																																																																												
		決算	決算	決算	予算	予算要求																																																																																																																												
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	21,923	22,693	18,982	52,317	52,203																																																																																																																												
	国支出金	5,959	6,891	5,065	16,633	16,650																																																																																																																												
	府支出金																																																																																																																																	
	市債																																																																																																																																	
	その他（）																																																																																																																																	
	受益者負担金(使用料、手数料等)																																																																																																																																	
一般財源	15,964	15,802	13,917	35,684	35,553																																																																																																																													
(単位：千円)																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業費の内訳</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th colspan="2">年度</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">うち一般財源</th> <th colspan="2">主な項目</th> <th colspan="2">年度</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th rowspan="2">うち一般財源</th> </tr> <tr> <th>R7</th> <th>予算</th> <th>R7</th> <th>予算</th> <th>R8</th> <th>予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">14 事 業 費 内 訳</td> <td>自立支援日本語指導員（センター校）</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>1,162</td> <td>775</td> <td>日本語指導研修</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>46</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>1,162</td> <td>775</td> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>46</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>自立支援日本語指導員（在籍校）</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>36,575</td> <td>24,384</td> <td>日本語指導研究支援</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>506</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>39,078</td> <td>26,052</td> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>506</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>帰国・来日生徒等寄添い指導員</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>5,583</td> <td>3,750</td> <td>堺市在日外国人教育研究会業務</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>1,059</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>6,133</td> <td>4,116</td> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>1,059</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>帰国・来日生徒等寄添い指導員（国際理解・人権教育推進校）</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>110</td> <td>74</td> <td>消耗品費等</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>1,276</td> <td>1,276</td> </tr> <tr> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>110</td> <td>74</td> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>1,109</td> <td>1,109</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>日本語サポーター</td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td>6,000</td> <td>3,998</td> <td></td> <td>R7</td> <td>予算</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td>3,000</td> <td>2,000</td> <td></td> <td>R8</td> <td>予算</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								事業費の内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目		年度		事業費	うち一般財源	R7	予算	R7	予算	R8	予算	14 事 業 費 内 訳	自立支援日本語指導員（センター校）	R7	予算	1,162	775	日本語指導研修	R7	予算	46	31		R8	予算	1,162	775		R8	予算	46	31		自立支援日本語指導員（在籍校）	R7	予算	36,575	24,384	日本語指導研究支援	R7	予算	506	337		R8	予算	39,078	26,052		R8	予算	506	337		帰国・来日生徒等寄添い指導員	R7	予算	5,583	3,750	堺市在日外国人教育研究会業務	R7	予算	1,059	1,059		R8	予算	6,133	4,116		R8	予算	1,059	1,059		帰国・来日生徒等寄添い指導員（国際理解・人権教育推進校）	R7	予算	110	74	消耗品費等	R7	予算	1,276	1,276		R8	予算	110	74		R8	予算	1,109	1,109		日本語サポーター	R7	予算	6,000	3,998		R7	予算				R8	予算	3,000	2,000		R8	予算		
事業費の内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目				年度				事業費	うち一般財源																																																																																																																			
		R7	予算			R7	予算	R8	予算																																																																																																																									
14 事 業 費 内 訳	自立支援日本語指導員（センター校）	R7	予算	1,162	775	日本語指導研修	R7	予算	46	31																																																																																																																								
		R8	予算	1,162	775		R8	予算	46	31																																																																																																																								
	自立支援日本語指導員（在籍校）	R7	予算	36,575	24,384	日本語指導研究支援	R7	予算	506	337																																																																																																																								
		R8	予算	39,078	26,052		R8	予算	506	337																																																																																																																								
	帰国・来日生徒等寄添い指導員	R7	予算	5,583	3,750	堺市在日外国人教育研究会業務	R7	予算	1,059	1,059																																																																																																																								
		R8	予算	6,133	4,116		R8	予算	1,059	1,059																																																																																																																								
	帰国・来日生徒等寄添い指導員（国際理解・人権教育推進校）	R7	予算	110	74	消耗品費等	R7	予算	1,276	1,276																																																																																																																								
		R8	予算	110	74		R8	予算	1,109	1,109																																																																																																																								
	日本語サポーター	R7	予算	6,000	3,998		R7	予算																																																																																																																										
		R8	予算	3,000	2,000		R8	予算																																																																																																																										
(単位：千円)																																																																																																																																		
15	期間	R ~ R		要求額																																																																																																																														
IV. スケジュール																																																																																																																																		
経過及び今後の展開																																																																																																																																		
16	R7まで	継続実施																																																																																																																																
	R8	継続実施																																																																																																																																
	R9以降	継続実施																																																																																																																																
V. 要求のポイント																																																																																																																																		
17	要求のポイント	<p>日本語指導が必要な児童生徒の増加・散在化・多言語化の傾向が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日本語指導が必要な児童生徒数（R7.5.1時点512人 R8.5.1時点の見込み約652人／10年前の3.0倍） ■日本語指導が必要な児童生徒の在籍校園の推移（R5、95校園 R6、105校園 R7、108校園／10年前の1.6倍） ■日本語指導が必要な児童生徒の母語の多様化（R5、25言語 R6、24言語 R7、28言語／10年前の2.8倍） ■小中学校の児童生徒のうち日本語指導が必要な児童生徒の割合（R5、0.73% R6、0.84% R7、0.88%） 																																																																																																																																

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	子どもの安全安心対策事業				事業番号	038-056
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ターゲット 目標値 目標値		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を 交通ルールの順守についての啓発、教育 — —	3.6		
3	関連計画	■堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 17 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■教育基本法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	■本庁						
7	事業の対象	■市立小中学校児童生徒、教職員				対象数 約6.6万		
8	事業の目的	■教職員の危機管理意識を高め、学校の危機管理体制を充実させる。 ■登下校時及び学校における児童生徒の安全を確保する。						
9	事業内容	■警察OBを学校安全指導員として任用し、教職員を対象とする不審者侵入時の対応訓練の実施。 また、学校への巡回指導等も実施。 ■小学校区ごとにPTAや地域人材で組織する子どもの安全見まもり隊による登下校時の見守り活動を支援する。						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	—						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
11	子どもの安全見まもり隊の総活動人数	人	目標値 実績値 達成率	- 20,733 -	- 19,219 -	- - -	
11	当該指標を選定した理由	■見守り隊はボランティアで成り立っているため、目標値の設定は行わないが、子どもたちが安心して登下校できるよう家庭、地域の参加をお願いしている。					
11	目標値の設定根拠・算出方法	■令和元年度まで組織率が100%で続いているので、令和2年度より総活動人数を指標として示す。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
12	学校園での不審者対応訓練の実施 校数	校	目標値 実績値 達成率	147 147 100%	147 147 100%		
12	当該指標を選定した理由	■幼稚児童生徒の安全安心のために全校実施をめざす。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	■学校安全指導員の有用性・指導力を高め、全校の活用を推進する。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	子どもの安全安心対策事業	事業番号	038-056
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	10,975	12,988	12,018	13,203	13,548
国支出金	1,947	1,945	1,627	1,932	2,561
府支出金	0	0		0	
市債	0	0		0	
内訳	その他 ()	0	0	0	
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0		0	
一般財源	9,028	11,043	10,391	11,271	10,987

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
	R7	予算	4,346	4,346		R7	予算	1,800	1,200	
事業費内訳	学校安全指導員報酬	R8	予算	4,567	4,567	防犯ブザー	R8	予算	1,800	1,200
		R7	予算	899	899		R7	予算	1,830	1,830
	学校安全指導員期末手当	R8	予算	965	965		R8	予算	1,830	1,220
		R7	予算	330	330		R7	予算		
	学校安全指導員通勤費・出張旅費	R8	予算	330	330		R8	予算		
		R7	予算	3,898	2,599		R7	予算		
	安全見まもり隊消耗品	R8	予算	3,956	2,638		R8	予算		
		R7	予算	100	67		R7	予算		
	安全見まもり隊印刷製本費	R8	予算	100	67		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

R7まで	学校安全指導員による不審者侵入時の対応訓練、子どもの安全見まもり隊による登下校時の見守り活動の支援を実施。
R8	継続
R9以降	継続

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	学校の危機管理及び子どもの安全確保は、子どもの生命に関わる取組である。子どもの安全見まもり隊による登下校時の子どもの見守り活動は、事件や事故を防ぐうえで重要であることから、地域の子どもたちを地域で守る取組、学校内への不審者侵入に対する指導支援の取組を継続するための予算を要求する。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	人権教育推進事業				事業番号	038-059
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成	
		寄与 する KPI	有・無	指標名	学力が伸びた児童生徒の割合	
		現状値	小5 国：77.5%算：68.7%、中2 国：59.4%数：79.1%（2025年度）	目標値	小5 国：83.0%算：74.0%、中2 国：70.0%数：84.0%（2030年度）	
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット
		寄与 する KPI	有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進	4.7
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	
		無	現状値	—	目標値	—
3	関連計画	■堺市教育大綱 ■第4期未来をつくる堺教育プラン				
4	事業開始年度	昭和 40 年度		点検対象年度	令和 12 年度	
5	事業の実施主体	■本庁				
6	事業の対象	■堺市立学校園の教職員・幼児児童生徒				対象数 62,300
7	事業の目的	■堺市立学校園における人権教育の推進及び教職員の人権意識の向上を図り、幼児児童生徒の人権感覚の育成をめざす。				
8	事業内容	■堺市立学校園における校内研修への指導・助言を行う。また、堺市人権教育研究会と共に人権教育夏期研究会や各学校園の人権教育主担当者会、堺市人権教育研究大会、「にんげん」学習交流会、平和人権学習交流会等の開催を通じて人権教育に関する実践の交流を深め、人権教育の深化・充実に努める。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	—				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 人権教育夏期研究会及び人権教育研究大会等への参加者数	人	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	目標値		6,500	7,000	7,500	8,000
	実績値		6,677	7,000		
	達成率		103%	100%		
	当該指標を選定した理由	幼児児童生徒の人権感覚を育成するには、教職員自身の人権意識の向上を図る必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値は人権教育夏期研究会、人権教育研究大会、人権教育主担当者会等の参加見込み数の合計。				
12	活動指標(成果を上げるための手段) 教職員に対する研修機会の提供	回	実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	23	23	
	実績値		22	23		
	達成率		96%	100%		
	当該指標を選定した理由	学校園における人権教育を担う教職員の知的理解や人権感覚の醸成のためには、研修の機会を確保する必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市人権教育研究会と連携して実施する研修回数。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	人権教育推進事業	事業番号	038-059
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	4,118	4,219	3,140	4,449	5,300
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	4,118	4,219	3,140	4,449	5,300

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	3,688	3,688		R7	予算	R8	予算
14 事 業 費 内 訳	堺市人権教育研究会業務	R7	予算	3,688	3,688		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	4,400	4,400		R8	予算	R8	予算
	研修会参加負担金	R7	予算	30	30		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	30	30		R8	予算	R8	予算
	講師謝礼金	R7	予算	307	307		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	307	307		R8	予算	R8	予算
	消耗品費	R7	予算	420	420		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	549	549		R8	予算	R8	予算
	物品等修繕料	R7	予算	4	4		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	14	14		R8	予算	R8	予算

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■事業の見直し
	R8	■事業の見直し
	R9以降	■事業の見直し

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		■幼児児童生徒の人権感覚の育成のために、こどもたちへの人権教育を担う教職員の人権感覚を一層醸成し、だれ一人取り残さない教育の実現に向け、研修等の機会を確保する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	人権学習推進事業				事業番号	038-060
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	人権教育	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (3) 多様性を尊重した教育の推進		
		寄与 する KPI	有	取組の方向性	①個性や違いを認め自他ともに尊重できる心の育成			
		有・無	指標名	学力が伸びた児童生徒の割合				
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有	現状値	小5 国：77.5%算：68.7%、中2 国：59.4%数：79.1%（2025年度）	目標値 小5 国：83.0%算：74.0%、中2 国：70.0%数：84.0%（2030年度）		
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.7		
		有	取組	平和、人権、ジェンダー教育の推進				
3	事業開始年度	昭和 46 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 ■堺市平和と人権を尊重するまちづくり条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	■本庁						
6	事業の対象	■堺市立学校園の保護者及び教職員				対象数 62,300 単位 人		
7	事業の目的	■堺市立学校園の保護者や教職員を対象に、人権及び人権課題についての理解を深め、全ての人の人権が尊重された社会の実現に向け、人権に関する講座の開催や人権ナビ（啓発冊子）の電子配信などを通じて、人権教育・人権啓発を行う。						
8	事業内容	■人権ナビ（啓発冊子）の発行 ■堺市 P T A 人権研修会 ■学校園 P T A 研修への支援 年1回発行 電子配信 各学校園 P T A を対象に年間3回の研修会を開催 学校園 P T A 主催の人権研修へ講師を紹介						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—						
9	主な支出先	委託事業者						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
	堺市 P T A 人権研修会参加者に対するアンケートで人権に対する意識が「深まった」「少し深まった」と回答した人の割合。（ ）内はアンケートの有効回答者数	%	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
			目標値	100 (1,200)	100	100
			実績値	97 (495)	100	
12	当該指標を選定した理由	事業の主要な目的である保護者への人権啓発の達成度を示している数値であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	参加者全員が「深まった」「少し深まった」と思えるよう、目標値を100%とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
	堺市 P T A 人権研修会への参加者数・動画視聴回数	人	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,163	1,200	
	当該指標を選定した理由	保護者への人権啓発の成果を上げるためには、教育委員会が開催する人権研修会により多く参加してもらう必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立学校園数×3人×3回を目標値とする。【400人／1回×3回=1,200人】				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	人権学習推進事業	事業番号	038-060
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	2,229	2,273	1,659	1,741	1,757
	国支出金		537	554		
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	2,229	1,736	1,105	1,741	1,757

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	1,550	1,550		R7	予算	R8	予算
14 事 業 費 内 訳	人権ナビ等作成業務委託料	R7	予算	1,550	1,550		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	1,550	1,550		R8	予算	R8	予算
	人権研修会会場借上料	R7	予算	58	58		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	70	70		R8	予算	R8	予算
	講師謝礼金	R7	予算	46	46		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	46	46		R8	予算	R8	予算
	総合評価一般競争入札意見聴取謝礼金	R7	予算	21	21		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	21	21		R8	予算	R8	予算
	人権研修会舞台関係委託料	R7	予算	66	66		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	70	70		R8	予算	R8	予算

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

	R7まで	■事業の継続実施
16	R8	■事業の継続実施
	R9以降	■事業の継続実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■人権研修については、地域・保護者の人権意識向上のために、より一層内容等を検討し、今日的課題も含め様々な人権課題への理解を深め、解決に向けての具体的な行動につないでいけるよう、機会と質の充実が必要。 ■幼児児童生徒の人権意識を育成し、様々な人権課題を解決するためには、学校園の人権教育だけでは不十分であり、保護者の人権感覚が極めて重要である。そのため、人権教育課ではPTAを対象として、人権研修の開催（年3回）と人権ナビ（年1回）の配信を行い、保護者の人権意識の向上に努めている。 ■人権ナビについては、関心のある保護者だけではなく、啓発が特に困難とされる家庭に対しても出来るだけ読んでもらえるよう、ストーリーマンガを作成し、身近なツールであるスマートフォン、タブレット等を通じて、人権について学び、考え、家庭での会話につながる啓発効果が期待できる。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	小中一貫教育充実事業				事業番号	038-131
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		寄与 する KPI	有	取組	総合的な学力の育成			
			有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	平成 20 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学校教育法、学習指導要領						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	市立小・中学校の児童生徒				対象数 57,424 人		
8	事業の目的	すべての中学校区で共通した教育目標を設定し、静謐な教育環境の実現と、総合的な学力の向上に向け義務教育9年間の一貫したカリキュラムや指導体制に基づく教育活動を実施し、学習指導要領で示された3つの資質・能力を関連付けながら、こども一人ひとりの総合的な学力の向上を図る。						
9	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■各中学校区への消耗品費及び小中合同研修の講師謝礼等の配当 ■各中学校区の小中合同研修、夏季研修等における指導助言 ■小中一貫教育全体協議会等の開催（年2回） ■施設一体型小中一貫校による取組の発信、他市町村からの視察受入れ ■小中一貫教育の取組を推進している中学校区の取組の発信 						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	物品等販売業者、研修講師						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 近隣等の小学校と、教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った中学校数	校	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標
				令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	32	34	34
12	当該指標を選定した理由	教育課程に関する共通の取組を計画・実施している学校数を把握することで、客観的に小中一貫教育の達成状況を把握することができるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		全国学力・学習状況調査（肯定回答した学校数）				
活動指標(成果を上げるための手段) 中学校区で小中一貫グランドデザイン（めざす子ども像・発達段階に応じた目標・重点となる活動）を共有している中学校数（施設一体型を除く）		校	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標
				令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	40	41	41
当該指標を選定した理由		中学校区で効果的に合同授業研究や研修を実施するためには、中学校区での小中一貫グランドデザインを共有することが必要となるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市児童生徒学習・生活状況調査（肯定回答をした学校数）				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小中一貫教育充実事業	事業番号	038-131
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト							(単位:千円)		
13	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	2,369		1,884		2,111		3,062	2,438
財 源 内 訳	国支出金								
	府支出金								
	市債								
	その他 ()								
	受益者負担金(使用料、手数料等)								
	一般財源	2,369		1,884		2,111		3,062	2,438
事業費の内訳									
14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度	事業費
		R7	予算	1,081	1,081			R7	予算
事業 費 内 訳	研修等講師謝礼金	R8	予算	552	552			R8	予算
		R7	予算	231	231			R7	予算
	小中一貫教育旅費	R8	予算	996	996			R8	予算
		R7	予算	1,720	1,720			R7	予算
	小中一貫教育消耗品費	R8	予算	860	860			R8	予算
		R7	予算	30	30			R7	予算
	小中一貫教育全国連絡協議会 正員会員費	R8	予算	30	30			R8	予算
		R7	予算					R7	予算
		R8	予算					R8	予算
債務負担行為									
15	期間	R ~ R		要求額					

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
R7まで		・R1 小中一貫教育全国サミットを開催 ・これまでの小中一貫教育における取組の検証 ・小中一貫グランドデザイン（教育課程）を各中学校区で策定 ・小中一貫教育の導入期から充実期に向けて、重点的に取り組むべき内容の検討・中学校区で（仮称）学校群グランドデザインの作成を進めるとともに、同グランドデザインに基づいた小中一貫教育を充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築
R8		・中学校区で（仮称）学校群グランドデザインの作成・改善を進めるとともに、同グランドデザインに基づいた小中一貫教育を充実 ・中学校区で、総合的な学力向上のための共通の教育目標を設定し、検証改善サイクルを構築
R9以降		・小中一貫教育を推進する組織を運営し、継続的・安定的に小中一貫教育を実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	中学校区の課題を共有し、課題解決に向けて、具体的な取組を推進するため、各校の担当者による研修を行うなどの機会の設定が必要である。研修の実施にあたり講師謝金や消耗品費を各中学校区に配当することで、小中合同研修及び、小中一貫教育の取組を支援する。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	舳松社会教育会館管理運営				事業番号	038-069
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑥生涯学習の推進 — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ターゲット 目標値 —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 生涯を通じた学びの支援 — —	4.7
3	事業開始年度			昭和 63 年度	点検対象年度	令和 12 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市立舳松社会教育会館条例、堺市立舳松社会教育会館管理運営規則、 堺市立舳松社会教育会館使用料規則		
事業の概要						
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	会館の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等			対象数 約81万	単位 人
7	事業の目的	基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、同和問題をはじめ様々な人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする。				
8	事業内容	舳松社会教育会館の維持管理及び会議室・和室の貸室				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	公益財団法人 堀市就労支援協会				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	会館受付件数	件	目標値 24	37	24	24
			実績値 38	29		
			達成率 158%	78%		
	当該指標を選定した理由	数値化できる利用状況を見る指標として受付件数が適当であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	従来の利用状況を元に設定。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	貸室利用人数	人	目標値 360	430	240	
			実績値 440	211		
			達成率 122%	49%		
	当該指標を選定した理由	利用目的別の状況の整理をしているが、数値化できるものとして利用人数が成果の一つとして考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	従来の利用状況を元に設定。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	触松社会教育会館管理運営	事業番号	038-069
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	3,275	3,565	5,066	4,392	5,891
国支出金							
府支出金							
市債							
その他（）							
受益者負担金(使用料、手数料等)		75	57	77	80	70	
一般財源		3,200	3,508	4,989	4,312	5,821	

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	24	24		R7	予算	1,009	1,009
		消耗品費	R8	予算	17	17	R8	予算	1,036	1,036	
使用料（電気+水道+ガス）		R7	予算	607	552		施設警備等委託料（機械警 備）	R7	予算	476	476
		R8	予算	623	553		R8	予算	476	476	
修繕料及び工事請負費		R7	予算	600	600		その他の施設維持管理・運転等委 託料（防虫+樹木剪定）	R7	予算	66	66
		R8	予算	2,450	2,450		R8	予算	157	157	
手数料（一般廃棄物処理）		R7	予算	65	65		廃棄物処理・運搬等委託料	R7	予算	0	0
		R8	予算	65	65		R8	予算	0	0	
施設保守点検等委託料（EV+ 防災設備+自動ドア+建物等）		R7	予算	1,010	1,010		受付及び使用料徴収業務	R7	予算	535	510
		R8	予算	1,067	1,067		R8	予算	0	0	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	適切な触松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
	R8	適切な触松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。
	R9以降	適切な触松社会教育会館の維持管理を行い、円滑な会議室・和室の貸室事業を運営する。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	会館は、昭和63（1988）年に開館し、37年が経過している。建物や設備に係る修繕は、予算の範囲内で緊急度の高い箇所から適宜行っているが、建築物等法定点検で指摘される箇所も増えている。
		現在、館内全ての男子用トイレにおいて、人感センサー不良により水が流れない状態の便器があり、建築物等法定点検でも指摘されていることから、便所改修工事に係る予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 青少年センター図書室運営				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	事業番号	038-070
					地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ — — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ⑥生涯学習の推進 — —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 生涯を通じた学びの支援 — —	ターゲット 4.7
3	事業開始年度				昭和 57 年度	点検対象年度 令和 12 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				図書室の使用は、使用の許可・使用料等に関することを除き、堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例 及び堺市立青少年センター等の設置及び管理に関する条例施行規則に準ずる。 図書室の運営は、堺市立図書館管理運営規則及び堺市立図書館各種要綱・基準等に準ずる。	
事業の概要						
5	事業の実施主体				本庁	
6	事業の対象				図書室の周辺地域の住民をはじめとする堺市民等	対象数 約81万 単位 人
7	事業の目的				図書情報サービスを提供することにより、青少年をはじめ、広く市民の読書活動及び生涯学習の支援を図る。	
8	事業内容				「図書館情報ネットワークシステム」を利用して一体的・効率的な図書の貸出・返却を行っている。また、これまでに知らなかつた、関心のなかった本に目を向けてもらう工夫として、ブックフェアを年間6回実施している。	
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				—	
9	主な支出先				—	
10	公民連携・協働事業				—	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
	年間個人貸出者数	人	目標値 実績値 達成率	25,000 23,793 95%	25,000 23,609 94%	目標 令和12年度 25,000
	当該指標を選定した理由				図書貸出が主要業務であることから、図書室の事業効果・活動実績を測定するに当たり、年間個人貸出者数が適しているため。	
12	目標値の設定根拠・算出方法			前年度実績から設定		
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
	利用者からのレファレンス・問合せ件数	件	目標値 実績値 達成率	2,100 1,493 71%	2,100 1,265 60%	
	当該指標を選定した理由				利用者からのレファレンス・問合せには、利用者に対する本に関する情報の提供が含まれており、その内容を精査することで、その件数の増加ひいては個人貸出者数の増加につながるため。	
	目標値の設定根拠・算出方法			前年度実績から設定		

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	青少年センター図書室運営	事業番号	038-070
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	11,351	11,707	13,855	14,577	16,002
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	11,351	11,707	13,855	14,577	16,002

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	9,337	9,337		R7	予算	504	504
		R8	予算	10,336	10,336		R8	予算	504	504
	会計年度任用職員報酬	R7	予算	3,570	3,570	青少年センター施設維持管理費 等負担金	R7	予算		
		R8	予算	3,995	3,995		R8	予算		
	期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	予算	748	748		R7	予算		
		R8	予算	739	739		R8	予算		
	費用弁償	R7	予算	322	322		R7	予算		
		R8	予算	332	332		R8	予算		
	消耗品費	R7	予算	96	96		R7	予算		
		R8	予算	96	96		R8	予算		
	通信運搬費	R7	予算	96	96		R7	予算		
		R8	予算	96	96		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	図書室の円滑な運営
	R8	図書室の円滑な運営
	R9以降	図書室の円滑な運営

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		利用者に対し円滑に図書情報サービスを提供できるよう、青少年センター図書室を運営する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	小学校施設開放事業				事業番号	038-071
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ （4）安心して学べる教育環境の充実 ⑥生涯学習の推進 — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 （4）安心して学べる教育環境の充実 — —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 生涯を通じた学びの支援 — —	ターゲット 4.7		
3	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市こども計画、堺市スポーツ推進プラン						
4	事業開始年度	昭和 45 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第44条、スポーツ基本法第13条、堺市立学校の施設開放に関する規則、 堺市立学校の施設開放に関する要綱						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	主に校区児童を対象とした団体（構成員が10人以上で、その過半数が開放 学校の校区住民であること等の要件を満たすもの）で、スポーツ活動や文化活 動を目的とするもの。			対象数 525	単位 団体		
8	事業の目的	生涯学習推進事業の一環として、スポーツ活動を含めた積極的な学習の機会を地域住民に提供し、地域住民のコミュニティづくりに寄与するため、学校教育活動に支障のない範囲内で、学校の施設を開放する。						
9	事業内容	学校教育活動に支障のない範囲内で小学校施設の開放を行う。 事業の運営は校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 施錠の確認や利用団体の安全管理指導等のために、校長及び運営委員会から推薦を受けた管理指導員を配置して いる。						
10	※国・府の基準より上回って実 施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	小学校施設開放運営委員会						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	延べ利用人数	人	目標値 600,000	600,000	579,600	504,900
			実績値 480,899	460,000		
			達成率 80%	77%		
12	当該指標を選定した理由	利用人数は、スポーツ活動等を通じて地域住民のコミュニティづくりに寄与することを目的とする本事業の達成状況を図るために指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度から令和12年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和7年度802,000人と令和12年度774,350人を対比し、令和7年度の目標値(600,000人)から△3.4%の減少を見込む。				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	登録利用団体数	団体	目標値 600	600	600	
			実績値 525	525		
			達成率 88%	88%		
	当該指標を選定した理由	登録利用団体数は、スポーツ活動等を通じて地域住民のコミュニティづくりに寄与することを目的とする本事業の達成状況を図るために指標となるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度目標値を設定。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小学校施設開放事業	事業番号	038-071
-------	-----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	15,837	14,730	14,297	16,814	16,955
国支出金					
府支出金					
市債					
内訳					
その他（ ）					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	15,837	14,730	14,297	16,814	16,955

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	13,248	13,248		R7	予算	2,843	2,843
		R8	予算	13,248	13,248		R8	予算	2,843	2,843
	謝礼金	R7	予算	101	101		R7	予算		
	消耗品費	R8	予算	59	59		R8	予算		
	印刷製本費	R7	予算	236	236		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		
	施設等修繕料	R7	予算	181	181		R7	予算		
		R8	予算	600	600		R8	予算		
	通信運搬費（枠）	R7	予算	205	205		R7	予算		
		R8	予算	205	205		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校施設開放事業における受益者負担の検討 ■学校群単位での中学校運動場夜間施設開放の運営方法の検討
	R8	■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群単位での中学校運動場夜間施設開放の実施 ■学校施設開放事業における受益者負担の検討
	R9以降	■職員による学校施設開放利用状況調査の実施 ■学校群の在り方を踏まえた小学校施設開放事業のモデル実施 ■学校施設開放事業における受益者負担の検討

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		■学校施設開放の利用を促進（運動場、体育館、ふれあいルーム）

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計	事務事業名	中学校施設開放事業				要求区分 事務事業分類	その他 A 一般事務事業
		担当部署名 教育委員会事務局					

I. 基本情報								
事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実 ⑥生涯学習の推進	
			有	取組の方向性	—			
			無	指標名	—			
	2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7
有				取組	生涯を通じた学びの支援			
無				指標名	—			
無		現状値	—	目標値	—			
3	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市スポーツ推進プラン						
4	事業開始年度	昭和 40 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第44条、スポーツ基本法第13条、堺市立学校の施設開放に関する規則、 堺市立学校の施設開放に関する要綱						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	構成員が10人以上で、その過半数が開放中学校の校区住民であること等の 要件を満たした団体で、スポーツ活動を目的とするもの。				対象数	単位	
8	事業の目的	生涯学習推進事業の一環として、スポーツ活動を含めた積極的な学習の機会を地域住民に提供し、地域住民のコミュニティづくりに寄与するため、学校教育活動に支障のない範囲内で、学校の施設を開放する						
9	事業内容	・学校教育活動に支障のない範囲内で、中学校体育施設（体育館・運動場）の開放を行う。 ・夜間照明施設が設置された中学校（43校中27校）においては、運動場の夜間開放を実施している。 ・事業の運営は、校区の団体等から選出された方々で構成された学校施設開放運営委員会に委託している。 ・主に成人を対象とした事業であり、地域の実情に応じた運営を行っている。						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	中学校施設開放運営委員会						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 延べ利用人数	人	実績 令和6年度	実績見込み	目標	目標	点検対象年度
				令和7年度	令和8年度	令和12年度	
			目標値 162,000	162,000	157,000	136,900	
	実績値 171,724	170,000	—	—			
達成率 106%	105%	—	—				
当該指標を選定した理由	利用人数は、スポーツ活動等を通じて地域住民のコミュニティづくりに寄与すること目的とする本事業の達成状況を図るための指標となるため。						—
目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度から令和12年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和7年度802,000人と令和12年度774,350人を対比し、令和7年度の目標値（162,000人）から△3.4%の減少を見込む。						—
12	活動指標(成果を上げるための手段) 登録利用団体数	団体	実績 令和6年度	実績見込み	目標	—	—
				令和7年度	令和8年度		
			目標値 490	490	490		
	実績値 457	450	—				
達成率 93%	92%	—	—				
当該指標を選定した理由	登録利用団体数は、スポーツ活動等を通じて地域住民のコミュニティづくりに寄与すること目的とする本事業の活動状況を図るための指標となるため。						—
目標値の設定根拠・算出方法	前年度目標値を設定。						—

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	中学校施設開放事業	事業番号	038-072
-------	-----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位:千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	6,971	5,058	6,676	6,583	64,225
財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					1,029
	一般財源	6,971	5,058	6,676	6,583	63,196

事業費の内訳

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目		年度		事業費	うち一般財源
			R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		普通旅費	R7	予算	10	10	保険料		R7	予算	0	0
			R8	予算	67	67			R8	予算	346	346
		施設等修繕料	R7	予算	2,066	2,066	中学校施設開放事業運営業務		R7	予算	1,329	1,329
			R8	予算	240	240	委託料		R8	予算	1,329	1,329
		使用料(電気+水道)	R7	予算	294	294	工事請負費		R7	予算	0	0
			R8	予算	607	607			R8	予算	41,560	41,560
		消耗品費	R7	予算	0	0	備品購入費		R7	予算	0	0
			R8	予算	2,781	2,781			R8	予算	17,280	16,251
		通信運搬費	R7	予算	15	15	その他(印刷製本費R7予算:69千円・屋外照明設備コンクリート柱等調査業務委託料R7予算:2,800千円)		R7	予算	2,869	2,869
			R8	予算	15	15			R8	予算	0	0

債務負担行為

15	期間	R ~ R	要求額

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	■夜間照明施設の安全対策として、安全マット及び照明機能の維持に関する電球の修繕等 ■屋外照明設備コンクリート柱等調査を行い、調査結果に基づく管理計画の作成 ■学校群単位での中学校運動場夜間施設開放の運営方法の検討 ■学校施設開放事業における受益者負担の検討
	R8	■中学校運動場夜間開放の手法変更に伴う備品の購入 ■屋外照明設備コンクリート柱等調査の結果に基づく撤去工事 ■学校群単位での中学校運動場夜間施設開放の開始 ■中学校運動場夜間開放における受益者負担の導入
	R9以降	■屋外照明設備コンクリート柱等調査の結果に基づく撤去工事 ■学校群の在り方を踏まえた中学校施設開放事業の運営方法の検討 ■中学校運動場夜間開放以外の受益者負担の導入の検討

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■学校施設開放の利用を促進(運動場、体育館) ■中学校運動場夜間開放の手法変更に伴う備品の購入 ■屋外照明設備コンクリート柱等調査の結果に基づく撤去工事 ■学校施設開放事業における受益者負担の導入の検討
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域学校協働活動推進事業				事業番号	038-073
担当部署名	教育委員会事務局	局	地域教育支援	部	地域教育振興	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ターゲット 目標値 —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 生涯を通じた学びの支援 — —	4.7
3	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市こども計画、堺市生涯学習支援計画				
4	事業開始年度	平成 19 年度		点検対象年度	令和 12 年度	
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	堺市民等				対象数 約81万
7	事業の目的	幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、こどもたちの成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進するため、地域人材の育成等を通じて、社会全体の教育力の向上及び地域の活性化を図る。				
8	事業内容 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・地域学校協働活動を担う、堺版コミュニティ・スクールのコーディネーターや教職員を対象とした講座の開催や人材育成の実施 ・「企業による学びの応援プログラム」（教育CSR推進事業）と連携した地域学校協働活動の実施支援 ・家庭教育支援に関する講座の開催及び情報の提供 —				
9	主な支出先	講師謝礼金（地域コーディネーター育成講座等）				
10	公民連携・協働事業	教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」と連携し、企業・NPO法人・各種団体等が実施する地域貢献活動を学習プログラムとして登録し、学校園や地域での教育活動に提供している。				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度		
	地域コーディネーター育成講座への年間延べ参加人数	人	目標値 140	実績値 92	目標 140	点検対象年度 140
	当該指標を選定した理由	地域の実情や特性に応じた地域学校協働活動の活性化には「地域コーディネーター」の存在が不可欠であり、その資質向上を行なうことが、地域の活性化や学校支援活動、家庭教育支援の推進につながるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	20人×各区を勘案して設定				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
			令和6年度	令和7年度		
	企業による学びの応援プログラム参加者数	人	目標値 10,000	実績値 9,425	目標 10,000	点検対象年度 10,000
	当該指標を選定した理由	教育CSR推進事業「企業による学びの応援プログラム」の活用は、学校園における教育活動の支援や地域における地域学校協働活動の活性化を定量的に評価できると考えられるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	実績値を勘案して設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	地域学校協働活動推進事業	事業番号	038-073
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト								
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
		決算	決算	決算	予算	予算要求		
財 源 内 訳	事業費 (a)	324	190	114	310	422		
	国支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他（ ）							
	受益者負担金(使用料、手数料等)							
一般財源		324	190	114	310	422		
事業費の内訳								
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源
	謝礼金	R7	予算	197	197	R7	予算	
		R8	予算	267	267		予算	
	旅費	R7	予算	51	51	R7	予算	
		R8	予算	51	51		予算	
	需用費（消耗品費等）	R7	予算	24	24	R7	予算	
		R8	予算	10	10		予算	
	その他使用料及び賃借料	R7	予算	38	38	R7	予算	
		R8	予算	94	94		予算	
		R7	予算			R7	予算	
		R8	予算				予算	
債務負担行為							(単位：千円)	
15	期間	R ~ R		要求額				

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	<ul style="list-style-type: none"> ■学校・家庭・地域の連携協働の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、学校教育活動やPTA、こども会等の地域住民による自主的な学習活動への支援を実施する。 ■市民人権局（生涯学習課）と連携し、学校教職員や堺版コミュニティ・スクールのコーディネーター等を対象とした「地域コーディネーター育成講座」を開催した。（令和3年度～） ■堺市PTA協議会中央研修会において家庭教育支援に関する講演及びパネル展示を実施した。当該研修会でのアンケート結果等を踏まえ、次年度以降の家庭教育支援に関する取組について検討する。また、局内の取組をはじめ、家庭教育支援に関する情報の一覧にまとめ、広く情報発信を行う。
	R8	<ul style="list-style-type: none"> ■学校・家庭・地域の連携協働の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、学校教育活動やPTA、こども会等の地域住民による自主的な学習活動への支援を実施する。 ■市民人権局（生涯学習課）と連携し、地域コーディネーターの人才培养や確保を主な目的とした「地域コーディネーター育成講座」を開催する。あわせて、教育課程課と連携し、地域コーディネーターの育成を主な目的とした「堺版コミュニティ・スクール研修会（地域コーディネーター向け）」の新たな開催や、教育課程課が主催する「堺版コミュニティ・スクール研修会」でのワークショップ型研修の実施などを行う。 ■法に定めるコミュニティ・スクールの実施に向けた動向を踏まえながら、地域学校協働活動の連携・協働体制を推進する。 ■令和7年度に行なった家庭教育支援に関するニーズの聞き取り等を踏まえ、関係団体とも連携しながら新たに家庭教育支援に関する講座を実施する。家庭教育支援に関する情報について広く情報発信を行う。
	R9以降	<ul style="list-style-type: none"> ■学校・家庭・地域の連携協働の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、学校教育活動やPTA、こども会等の地域住民による自主的な学習活動への支援を実施する。 ■市民人権局（生涯学習課）と連携し、地域コーディネーターの人才培养や確保を主な目的とした「地域コーディネーター育成講座」を開催する。あわせて、教育課程課と連携し、地域コーディネーターの育成を主な目的とした「堺版コミュニティ・スクール研修会（地域コーディネーター向け）」の新たな開催や、教育課程課が主催する「堺版コミュニティ・スクール研修会」でのワークショップ型研修の実施などを行う。 ■法に定めるコミュニティ・スクールの実施に向けた動向を踏まえながら、地域学校協働活動の連携・協働体制を推進する。 ■関係団体とも連携しながら、家庭教育支援に関する講座を実施する。家庭教育支援に関する情報について広く情報発信を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■地域学校協働活動の推進のため、学校教職員や堺版コミュニティ・スクールの地域コーディネーター、放課後児童対策事業所職員、社会教育関係団体構成員（PTAやこども会等）を対象とした、資質向上のための講座の開催に加え、教育課程課と新たに連携して、地域コーディネーターに対する人材育成に係る取組を行う。 ■学校・家庭・地域の連携協働の取組を推進するため、「教育CSR推進事業（企業による学びの応援プログラム）」と連携し、学校教育活動やPTA、こども会等の地域住民による自主的な学習活動への支援を実施する。 ■法に定めるコミュニティ・スクールの実施に向けた動向を踏まえながら、地域学校協働活動の連携・協働体制を推進する。 ■家庭教育支援の更なる充実のため、関係団体とも連携しながら、新たに講座を開催する。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
						事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会教育関係団体支援事業			事業番号	038-075		
担当部署名	教育委員会事務局	局	地域教育支援	部	地域教育振興		課

I. 基本情報

事業の位置付け										
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有	戦略 取組の方向性	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 ⑥生涯学習の推進	(4) 安心して学べる教育環境の充実			
		無	現状値	—	—	目標値	—			
		有・無 有	指標名 取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7	生涯を通じた学びの支援			
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 無	指標名 現状値	—	目標値	—			
		有・無 有	指標名 取組	—	—	目標値	—			
		無	現状値	—	—	目標値	—			
2	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市こども計画、堺市スポーツ推進プラン、さかい男女共同参画プラン								
3	事業開始年度	昭和 24 年度		点検対象年度	令和 12 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第10条、第11条及び第12条、堺市PTA教育振興事業補助金交付要綱、 堺市こども会育成協議会運営事業補助金交付要綱、堺市女性活躍振興事業補助金交付要綱								
事業の概要										
5	事業の実施主体	本庁								
6	事業の対象	堺市PTA協議会、堺市こども会育成協議会、女性の活躍に資する事業の実施について所定の要件を満たす団体				対象数	単位			
7	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】各学校園PTA相互の連携に努め、PTA会員に対して学習の機会や情報を提供することにより、会員の資質向上及び家庭の教育力の向上を図り、また、PTA活動の活性化のための支援及び指導・育成を図る。 ■【こども会】堺市ブロックこども会育成団体及び堺市小学校区こども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市こども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図る。 ■【女性活躍】女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図る。 								
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】以下の堺市PTA協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA会員の資質向上を図るために実施する堺市PTA協議会の研修会 ・PTA会員の資質向上を図るために行う泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・指定都市PTA情報交換会・日本PTA全国協議会の情報提供 ・指定都市PTA情報交換会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の研究大会への参加 ・ホームページ、インスタグラム、YouTubeの活用による堺市PTA協議会の魅力発信 ■【こども会】以下の堺市こども会育成協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちにルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学んでもらうために実施する、スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間の交流活動 ・指導者・育成者としての資質向上及び意識啓発を図るために実施する指導者研修会等 ・ホームページの活用によるこども会の魅力発信 ■【女性活躍】女性がその個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境の醸成及び男女共同参画社会の形成を促進するために、地域団体が主体的に実施する女性の視点に立った防災教育に資する活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・固定的な性別役割分担意識の解消等ジェンダーへの啓発 ・DV、児童虐待防止対策 ・グローバルな観点から女性の人権問題の解決 								
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—								
9	主な支出先	堺市PTA協議会、堺市こども会育成協議会、女性の活躍に資する事業の実施について所定の要件を満たす団体								
10	公民連携・協働事業	—								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定									
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度			
	堺市こども会育成協議会加入者数(6 月末)	人	目標値 18,600	18,500	17,900	令和12年度 15,800			
		実績値 10,315	9,800						
		達成率 55%	53%						
12	当該指標を選定した理由	学校・家庭・地域の連携を図り、本市がめざす「横にひろがる教育」を推進することに対して、大きく寄与しているため。							
	目標値の設定根拠・算出方法	令和8年度から令和12年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和7年度802,000人と令和12年度774,350人を対比し、令和7年度の目標（18,500人）から△3.4%の減少を見込む。							
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度				
12	【こども会】 中央スポーツ大会等のイベント開催数	回	目標値 9	9	9				
		実績値 9	9						
	当該指標を選定した理由	イベントの開催数は、本協議会活動の活性化の指標であり、魅力あるイベントの開催は加入の動機付けにつながるものであるため。							
目標値の設定根拠・算出方法		前年度の目標値から設定。							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	社会教育関係団体支援事業				事業番号	038-075				
III. 令和8年度予算要求額										
(単位:千円)										
13 財 源 内 訳	項目	令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度				
		決算	決算	決算	予算	予算要求				
	事業費 (a)	7,114	2,630	1,774	5,908	5,953				
	国支出金									
	府支出金									
	市債									
	その他 ()									
(単位:千円)										
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	13	13		R7	予算	0	0
	普通旅費	R8	予算	16	16	R8	予算	23	23	
	有料道路通行料	R7	予算	4	4	謝礼金	R7	予算	0	0
		R8	予算	4	4		R8	予算	19	19
	PTA教育振興事業補助金	R7	予算	1,400	1,400	R7	予算			
		R8	予算	1,400	1,400	R8	予算			
	こども会育成協議会運営事業補助金	R7	予算	2,891	2,891	R7	予算			
		R8	予算	2,891	2,891	R8	予算			
	女性活躍振興事業補助金	R7	予算	1,600	1,600	R7	予算			
R8		予算	1,600	1,600	R8	予算				
(単位:千円)										
15	期間	R ~ R			要求額					
IV. スケジュール										
経過及び今後の展開										
16	R7まで	社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿った活動となり、これらの団体が自立的に活動できるよう継続的に支援。								
	R8	社会教育関係団体同士の交流を図るために実施する堺市PTA協議会・堺市こども会育成協議会合同実践交流会や社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿ったものとなり、これらの団体が自立的に活動できるよう支援。								
	R9以降	堺市PTA協議会・堺市こども会育成協議会合同実践交流会の開催を通じて、両団体が協働連携して役員の負担感解消等の課題解決に向けた取組等が行われることとなった場合、同交流会の継続実施を通じてこれらの社会教育関係団体の活動を支援。								
V. 要求のポイント										
17	要求のポイント									
		社会教育関係団体同士の交流を図るために実施する堺市PTA協議会・堺市こども会育成協議会合同実践交流会や社会教育関係団体による諸活動が会員のニーズや時代に沿ったものとなり、これらの団体が自立的に活動できるよう支援。								

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	美原こども館管理				事業番号	038-078
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	美原こども館	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ③健やかな心身の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.7		
		寄与 する KPI	有	取組	生涯を通じた学びの支援			
		無	指標名		—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	昭和 56 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立美原こども館条例						
事業の概要								
5	事業の実施主体	出先機関						
6	事業の対象	こども（小学校に就学する児童及び小学校就学前のこどものこと。以下同じ。）及びその保護者				対象数 —		
7	事業の目的	こどもの体力増進及び情操のかん養を図り、その健全な育成に資すること。						
8	事業内容	<p>こどもに対して健全なあそびの場所を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美原区内に4館を設置（各館には基本、再任用職員1名、会計年度任用職員2名を配置） ・児童文化教室（硬筆、毛筆、茶道）や各種行事（あそびの会、世代間交流事業、ちびっこデイ等）を実施 ・地域の子育てサークルやクラブ（おとな）の活動場所として貸館を実施（こどもの活動に支障のない範囲） 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	施設修繕工事業者						
10	公民連携・協働事業	各校区福祉委員会との協働事業として毎年度、各館ごとに3種類の世代間交流事業（夏のつどい等）を実施						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	利用者数		人	目標値 27,000	28,000	28,000
			実績値 27,728	28,000		
			達成率 103%	100%		
12	当該指標を選定した理由	利用者数がこども館の事業成果や実績全体を可視化できるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	各種事業参加者の総計				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
文化教室の開催数			令和6年度 173	令和7年度 173	令和8年度 173	
		回	目標値 173	実績値 173	達成率 100%	
当該指標を選定した理由	こども館の主たる事業のひとつであるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	各館の児童文化教室（硬筆、毛筆、茶道）の開催数の総計					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	美原こども館管理	事業番号	038-078
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	39,632	36,067	43,252	52,400	53,089
		国支出金					
		府支出金					
		市債				7,600	
		その他（ ）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	39,632	36,067	43,252	44,800	53,089

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	21,453	21,453		R7	予算	660	660
		R8	予算	28,376	28,376	施設機械警備業務委託料	R8	予算	469	469	
		会計年度任用職員報酬	R7	予算	7,775	7,775	ひらお周辺水路清掃業務委託料	R7	予算	990	990
		R8	予算	9,623	9,623		R8	予算	1,210	1,210	
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R7	予算	1,716	1,716	工事請負費	R7	予算	10,500	2,900
		R8	予算	2,028	2,028		R8	予算	2,000	2,000	
		費用弁償（通勤費）	R7	予算	1,560	1,560	施設修繕料	R7	予算	400	400
		R8	予算	1,560	1,560		R8	予算	400	400	
		講師謝礼金	R7	予算	2,500	2,500	その他	R7	予算	4,846	4,846
		R8	予算	1,748	1,748		R8	予算	5,675	5,675	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	今まで館の取り組みが比較的弱く、利用者も少なかった就学前のこどもとその保護者を対象として「ちびっこデイ」事業が各館で実施されて、その後順調に利用者が増えてきている。また館の照明器具をすべてLED化するなど環境に配慮した施設づくりも進めている。
	R8	館の主催事業実施にあたり、こどものニーズに応えた魅力的な事業を展開し、安全で安心して過ごせるよう館の維持管理にも務める。
	R9以降	地域のこどもに遊びを中心とする快適な場所を提供するとともに、世代間交流事業を実施するなど地域交流の場としても利用できるようさらに館の維持管理に務めていく。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	地域でのこどもの居場所のひとつとして、こどもがいきいきと活動できる施設として館の役割はいっそう重要である。主催事業である文化教室やあそびの会の講師についても地元の方で専門性があり館の目的を理解いただいている方にお願いしている。老朽化している施設の建物、設備についてもこまめな施設点検も行い、計画的、効果的に維持修繕を実施していく。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 幼稚園管理運営事業（学務課）				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	事業番号	038-011
					学務	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (1) 妊娠から青年期まで切れのない子育て支援の充実 (2) 多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
		堺市SDGs 未来都市 計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.2		
2			有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携			
			有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値		
						—		
3	事業開始年度		平成 5 年度		点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		—					
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	みはら大地幼稚園に通園する園児			対象数 91	単位 人		
7	事業の目的	みはら大地幼稚園に通園する園児の円滑な通園と通園途上の安全確保を図る。						
8	事業内容	送迎バスを確保し、民間事業者への委託により、バスの運行及びメンテナンス業務を実施する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	委託事業者						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	送迎バスの確保台数	台	目標値 3	3	3	3	
			実績値 3	3			
			達成率 100%	100%			
12	当該指標を選定した理由	事業の実施状況を直接的に確認できる数値であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	バス通園を希望する園児数に基づき算出したバスの確保台数。					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
12	送迎バスの運行により安全に通園でき た園児数	人	目標値 78	69	76		
			実績値 78	69			
			達成率 100%	100%			
	当該指標を選定した理由	みはら大地幼稚園に通園する園児の通園途上における安全確保という事業趣旨を反映した数値であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	バス通園を希望する園児数。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	幼稚園管理運営事業（学務課）	事業番号	038-011
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	11,555	11,555	11,555	15,497	33,950
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	3,120	2,492	2,217	1,980	2,090
	一般財源	8,435	9,063	9,338	13,517	31,860

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	15,492	13,512		R7	予算	R8	予算
14 事 業 費 内 訳	幼稚園車両管理業務	R7	予算	14,520	12,430		R7	予算	R8	予算
		R8	予算				R8	予算		
	幼稚園バス購入	R7	予算	0	0		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	19,424	19,424		R8	予算		
	研修会等参加負担金	R7	予算	5	5		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	6	6		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算	R8	予算
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算	R8	予算
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間		要求額	
----	----	--	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・H5 みはら大地幼稚園開園と同時に事業開始 ・H28 バス利用者の保護者から負担金の徴収開始
	R8	・送迎バス2台を更新 ・園児の送迎を継続実施
	R9以降	・園児の送迎を継続実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	現在使用している送迎バス3台のうち2台は、長期間の運行により車両の性能や機能が経年相応の状態となっている。安全・安心な運行体制の維持のために車両を更新し、園児の円滑な通園と通園途上の安全確保を図るための予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 特別支援学校管理運営事業（学務課）				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	事業番号	038-012
					学務	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
		堺市SDGs 未来都市 計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.5		
2			有	取組	特別支援教育の充実			
			寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値		
			—	—	—	—		
3	事業開始年度	—	年度	点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—	—	—	—	—		
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁	—	—	—	—		
6	事業の対象	堺市立特別支援学校に通学する児童生徒	—	対象数 502	単位 人			
7	事業の目的	堺市立特別支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保を図る。	—	—	—	—		
8	事業内容	堺市立特別支援学校に通学する児童生徒の通学手段を確保するため、運転手及び添乗員付きで送迎バスの借上げを行う。	—	—	—	—		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—	—	—	—	—		
9	主な支出先	バス運行事業者	—	—	—	—		
10	公民連携・協働事業	—	—	—	—	—		

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	送迎バスの借上げ台数	台	目標値 27	28	32	32	
			実績値 27	28	—	—	
			達成率 100%	100%	—	—	
12	当該指標を選定した理由	事業の実施状況を直接的に確認できる数値であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立特別支援学校在籍の児童生徒数に基づき算出した借上げバス台数。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	送迎バスの運行により安全に通学でき た児童生徒数	人	目標値 475	502	521		
			実績値 475	502	—		
			達成率 100%	100%	—		
	当該指標を選定した理由	堺市立特別支援学校に通学する児童生徒の通学途上における安全確保という事業趣旨を反映した数値であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立特別支援学校在籍の児童生徒数。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-012
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)						
13	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求		
	事業費 (a)	193,754		226,799		418,954	464,509	552,887
財	国支出金	10,573		13,135				
源	府支出金							
内	市債							
訳	その他（ ）							
	受益者負担金(使用料、手数料等)							
	一般財源	183,181		213,664		418,954	464,509	552,887

事業費の内訳

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
			R7	予算				R7	予算		
	自動車借上料（枠外）	R7	予算	464,509	464,509			R7	予算		
		R8	予算	552,887	552,887			R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		

債務負担行為

15	期間	R8 ~ R13	要求額	106,000
----	----	----------	-----	---------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	・R3 児童生徒数増に対応するための増便 ・R5 児童生徒数増に対応するための増便 ・R6 児童生徒数増に対応するための増便 ・R7 児童生徒数増に対応するための増便
	R8	堺市立特別支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施
	R9以降	堺市立特別支援学校在籍者数を考慮しながら、事業を実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	令和8年4月に百舌鳥支援学校宮園分校が開校することに伴い、当該校への通学に必要な送迎バスを新たに確保する必要がある。堺市立特別支援学校に通学する児童生徒の円滑な通学と通学途上の安全確保を図るため、送迎バス借上げに係る予算を要求する。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名 小学校管理運営事業（学務課）					事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学務	事業番号	038-013
							課

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑤学校・家庭・地域が連携・協働する教育の推進 — —	施策 ターゲット 目標値	(4) 安心して学べる教育環境の充実 — —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 無 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	— — — —	ターゲット —	— — — —
3	事業開始年度			平成 14 年度	点検対象年度	令和 12 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			—			
事業の概要							
5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	小規模校再編事業実施2校の児童				対象数 214	単位 人
7	事業の目的	児童の通学の安全を確保する。					
8	事業内容 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	小規模校再編事業を行った2校で開校日の登下校時に安全指導員を配置するなど、通学路の安全を確保する。 —					
9	主な支出先	シルバー人材センター					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 令和12年度	点検対象年度
	児童生徒の通学の安全確保		目標値 —	—	—	—	
			実績値 —	—	—	—	
			達成率 —	—	—	—	
	当該指標を選定した理由	小規模校再編に伴い通学の安全確保を要する箇所があるため。					
12	目標値の設定根拠・算出方法	児童生徒の通学の安全確保ができている					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
	安全指導員の配置により安全を確保した児童数		目標値 221	214	214		
			実績値 221	214	214		
			達成率 100%	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	小規模校再編に伴う通学の安全確保を要する箇所が通学路となっている児童数。					
	目標値の設定根拠・算出方法	配置箇所が通学路となる児童数					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小学校管理運営事業（学務課）	事業番号	038-013
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	2,753	2,812	2,738	4,400	13,158
	国支出金					
	府支出金					
	市債					7,600
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	2,753	2,812	2,738	4,400	5,558

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	200	200		R7	予算		
		R8	予算	200	200		R8	予算		
新湊小に係る通学路安全指導業務	施設等修繕料	R7	予算	3,157	3,157		R7	予算		
		R8	予算	3,343	3,343		R8	予算		
	はるみ小に係る通学路安全指導業務	R7	予算	1,043	1,043		R7	予算		
		R8	予算	1,115	1,115		R8	予算		
	通学路整備工事費	R7	予算	0	0		R7	予算		
		R8	予算	8,500	900		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	▶通学路安全指導員 ・H19 新湊小・はるみ小通学路安全指導員配置 ▶防犯カメラ ・H14 子ども緊急通報装置設置 ・H29 街頭防犯カメラに更新
	R8	・通学路安全指導員配置を継続実施 ・定期的に街頭防犯カメラの点検等を実施
	R9以降	・通学路安全指導員配置を継続実施 ・定期的に街頭防犯カメラの点検等を実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		小規模再編事業に基づく安全指導員の配置等により、児童の通学状況及び通学路周辺の安全を確保するための予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校規模の適正化事業					事業番号	038-116
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学務		課

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ④学校規模の適正化	施策 ターゲット 目標値	(4) 安心して学べる教育環境の充実 — —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 無 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	— — — —	ターゲット —	— — — —		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン							
4	事業開始年度	平成 14 年度			点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—							
事業の概要									
6	事業の実施主体	本庁							
7	事業の対象	市立小中学校（R7.5月時点） ※11学級以下の小学校				対象数 33	単位 校		
8	事業の目的	学校規模を適正化することにより、学校規模に起因する様々な教育課題や学校運営上の課題を解消し、教育環境の充実とこどもたちの健全な成長を図る。							
9	事業内容	小規模校については、すべての学年でクラス替えが可能となるよう、再編整備を進める。大規模校については、その解消の方策を検討する。							
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—							
11	主な支出先	—							
12	公民連携・協働事業	—							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
成果指標(目的の達成状況を測定)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 令和12年度	点検対象年度
小規模校再編整備を実施した学校数		校	目標値 —	—	0	2	
当該指標を選定した理由		クラス替えができない学年がある小規模校について、適正な規模の教育環境を整えるため、再編に取り組む学校数を指標とした。					
目標値の設定根拠・算出方法		再編に取り組む学校数。なお、本事業は目標達成に複数年必要とするため、再編する目標年度は令和8年度以降となる見込み。					
活動指標(成果を上げるための手段)		単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
再編整備懇談会実施回数		回	目標値 6	6	6		
当該指標を選定した理由		再編にあたっては保護者・地域等関係者の意見を聴く再編整備懇談会の開催が必要なため。					
目標値の設定根拠・算出方法		新たに取り組む小規模校の再編整備を進めるための懇談会実施回数を示した。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校規模の適正化事業	事業番号	038-116
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	0	0	0	916	12,011
	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	0	0	0	916	12,011

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		R8	予算	230	230	その他使用料及び賃借料（会場 使用料等）		R8	予算	53	53
	謝礼金	R7	予算	0	0			R7	予算	0	0
	報償費	R8	予算	60	60			R8	予算		
	普通旅費	R7	予算	0	0			R7	予算		
		R8	予算	118	118			R8	予算		
	消耗品費等	R7	予算	66	66			R7	予算		
		R8	予算	50	50			R8	予算		
	調査委託料等	R7	予算	850	850			R7	予算		
		R8	予算	11,500	11,500			R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	次期再編整備校の選定
	R8	再編整備に係る方針を策定 再編整備懇談会の運営
	R9以降	再編整備懇談会の運営継続 再編整備校の開校

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	学校規模が11学級以下（支援学級を除く。）の学校を対象に次期再編整備校を選定する。選定後は、教職員、PTA、地域住民代表、行政関係者で構成する「再編整備懇談会」を開催し、再編整備に向けた検討を進める。さらに、専門的知見を導入するため、外部コンサルタントに業務を委託し、効果的な再編手法や合意形成プロセスを検討することで、地域の実情に即した計画策定と円滑な実施を図るための予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	食育推進事業				事業番号	038-087
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実 ②安全・安心でおいしい給食の提供		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	堺市は子育てしやすい都市だと思うと答えた保護者の割合			
		有	現状値	62.3%(2024年度)	目標値	73.0%(2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.2		
		有	取組	睡眠教育・食育の推進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
2	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	昭和 22 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校給食法・食育基本法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	堺市教育委員会事務局・各学校						
6	事業の対象	堺市立幼・小・中・支援学校の児童生徒 58,187人 (R7.5.1時点) および保護者			対象数 58,187	単位 人		
7	事業の目的	堺市立幼・小・中・支援学校の児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。						
8	事業内容	小・中学校への食通信の配付や食育フェアを開催し、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒や保護者・市民に普及啓発する。また、教職員や保護者を対象に食育媒体（動画）を作成し、広く食育の推進を図る。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
	%	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
		目標値	—	90	90		
		実績値	—	82	—		
12	当該指標を選定した理由	児童生徒が「自分の健康に関心を持ち、目標に向かって継続的に自己改善することができる力」を育むため、食育を推進しており、その効果を把握するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	学校給食課による「食に関する調査」結果					
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
	栄養教諭未配置校への食に関する指導実施校	回	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	51	52		
			実績値	51	52		
	当該指標を選定した理由	専門職である栄養教諭から、食に関する指導を受けることは、児童にとって、重要であると考えるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	栄養教諭が兼務または、訪問指導により指導している状況により把握					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	食育推進事業	事業番号	038-087
-------	--------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	92	221	118	347	261
	国支出金	0	0	0	155	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	92	221	118	192	261

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	194	100		R7	予算	5	5
		R8	予算	180	180		R8	予算	5	5
事 業 費 内 訳	普通旅費	R7	予算	68	34	研修会等参加負担金	R7	予算		
		R8	予算	23	23		R8	予算		
	謝礼金	R7	予算	30	30		R7	予算		
		R8	予算	30	30		R8	予算		
	消耗品費	R7	予算	27	0		R7	予算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		
	会場等借上料	R7	予算	23	23		R7	予算		
		R8	予算	23	23		R8	予算		
	印刷製本費	R7	予算	23	23		R7	予算		
		R8	予算	23	23		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・食育フェア・食育媒体（動画等）の作成・公開・効果的な食育事業の推進
	R8	・上記事業を児童の実態を踏まえた指導を行うことで、食育の推進を図る。
	R9以降	・事業の継続

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	事業の継続実施に必要な費用を要求した。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高等学校定時制課程給食事業				事業番号	038-088
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策		
		無	取組の方向性					
		有・無	指標名					
		無	現状値					
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組					
		有・無	指標名					
		無	現状値					
3	事業開始年度	昭和 32 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市立堺高等学校（定時制）の生徒70人（R7.5.1時点）				対象数 70		
7	事業の目的	定時制高等学校で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため						
8	事業内容	定時制高等学校において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	アンケート調査による満足度	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 73	73	—	—
12	当該指標を選定した理由	修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	補食給食を高い頻度で食べている生徒のうち、授業を受ける上で役立っていると答えた生徒の割合				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	—
	給食実施日数	日	令和6年度 154	令和7年度 153	令和8年度 —	
			目標値 154	実績値 154	達成率 100%	
	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に示すため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	高等学校定時制課程給食事業	事業番号	038-088
-------	---------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	625	590	642	774	875
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他（）	0	25	56	15	24
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	625	565	586	759	851

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算				R7	予算		
14 事 業 費 内 訳	学校給食運営業務	R7	予算	774	759		R7	予算		
		R8	予算	828	804		R8	予算		
	廃棄物処理・運搬等委託料	R7	予算	0	0		R7	予算		
		R8	予算	47	47		R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		
		R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	1,000
----	----	-------	-----	-------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

	R7まで	補食給食の提供
16	R8	補食給食の提供（継続）
	R9以降	補食給食の提供（継続）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	限られた休憩時間の中で、生徒が喫食しやすく、内容を充実させた補食給食を提供し、生徒の空腹を解消して授業に集中できるよう支援するために必要な費用を要求。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	小学校給食事業				事業番号	038-089
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実		
		有	取組の方向性		②安全・安心でおいしい給食の提供			
		有・無	指標名		堺市は子育てしやすい都市だと思うと答えた保護者の割合			
		有	現状値	62.3%(2024年度)	目標値	73.0%(2030年度)		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組		総合的な学力の育成			
		有・無	指標名		—			
		無	現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	昭和 26 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校給食法 堺市学校給食管理運営規則						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市立小学校児童 37,990人 (R7.5.1時点)			対象数	単位		
					37,990	人		
7	事業の目的	堺市立小学校に在籍する児童に安全・安心な学校給食を提供することにより、児童の心身の健全な発達に寄与するものである。						
8	事業内容	堺市立小学校において給食を児童に提供している。給食調理業務は、すべての小学校において民間委託し、栄養士が仕様書に基づき学校給食調理業務委託の履行確認を実施。ほかに主な業務は、献立作成・物資調達・学校給食調理施設や設備の維持管理、給食用食器等・消耗品の調達、食材の検査や調理場内の衛生検査、食材の空缶・段ボール・牛乳パックのリサイクル等である。 「堺市学校給食安全衛生運営会議」を組織し、衛生・経営・食育の専門家の視点や保護者の立場から広く意見を聴取し、その意見を反映することにより、学校給食の安全の確保および円滑な管理・運営ならびに学校給食を活用した食育の推進を図る。 学校現場の負担軽減の一環として、給食費を各学校が徴収・管理する「私会計」から、本市で徴収・管理する「公会計」への移行（令和6年4月開始）を実施した。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	委託業者・（公財）堺市学校給食協会						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	児童に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができる割合	%	目標値	100	100	100	
			実績値	100	100		
			達成率	100%	100%		
12	当該指標を選定した理由	個に応じた給食を提供する必要があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	児童に対し状況に応じた給食の提供を行うことを目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標		
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	給食実施日数	回	目標値	195	193		
			実績値	195	193		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に表すため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小学校給食事業	事業番号	038-089
-------	---------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13 財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	3,468,198	3,584,108	4,490,858	4,839,761	5,452,619
国支出金	1,365,497	1,336,721	0	556,208	2,130,299	
府支出金	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	
その他（）	1,538	45	51	246	0	
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	1,987,252	1,511,661	252,289	
一般財源	2,101,163	2,247,342	2,503,555	2,771,646	3,070,031	

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	2,609,608	541,511		R7	予算	21,892	21,892
		R8	予算	2,732,720	350,132		R8	予算	25,009	25,009
学校給食運営業務	R7 予算	2,006,625	2,006,625	消耗品費	R7 予算	0	0	R8 予算	39,699	39,699
		2,162,414	2,162,414			35,548	35,548		20,081	20,081
学校給食調理業務	R7 予算	37,100	37,100	コンサルタント業務委託料	R7 予算	35,548	35,548		16,375	16,375
		329,128	329,128			20,081	20,081		8,600	8,600
その他備品購入費（学校給食調理関係等）	R7 予算	37,100	37,100	会計年度任用職員報酬	R7 予算	53,264	53,246	R8 予算	43,831	43,831
		329,128	329,128			53,246	53,246		43,831	43,831
廃棄物処理・運搬等委託料	R7 予算	26,847	26,847	郵便料（学校給食費徴収・管理関係等）	R7 予算	16,375	16,375		8,600	8,600
		63,074	63,074			8,600	8,600		43,831	43,831
手数料（ごみ処理手数料、学校給食費徴収・管理関係等）	R7 予算	32,502	32,502	その他（学校給食費管理システム機器借上料等）	R7 予算	53,264	53,246		43,831	43,831
		28,063	28,063			53,246	53,246		43,831	43,831

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R10	要求額	1,200,796
----	----	--------	-----	-----------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	(R7) 小学校1年生・2年生に属する児童の学校給食費を無償化、他学年児童の学校給食に係る食材費高騰への支援 学校給食の実施 学校給食費の徴収・管理 堺市学校給食安全衛生運営会議 学校給食調理委託業務の履行確認
	R8	小学校1年生から6年生に属する児童の学校給食費の無償化 小学校給食調理場再編のあり方の検討（新規） 厨房備品（保存食用冷凍庫、牛乳保冷庫等）の老朽化に伴う買替の年次計画に基づく実施（新規） 学校給食の実施（継続） 学校給食費の徴収・管理（継続） 堺市学校給食安全衛生運営会議（継続） 学校給食調理委託業務の履行確認（継続）
	R9以降	小学校1年生から6年生に属する児童の学校給食費の無償化（継続） 厨房備品（食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン、牛乳保冷庫等）の老朽化に伴う買替の年次計画に基づく実施（継続） 学校給食の実施（継続） 学校給食費（教職員及び前年度までの滞納分）の徴収・管理（継続） 堺市学校給食安全衛生運営会議（継続） 学校給食調理委託業務の履行確認（継続）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	小学校全学年児童の学校給食費を無償とする要求を行った。 小学校給食調理場再編のあり方を検討するための費用を要求。（新規） 厨房備品（食器洗浄機、スチームコンベクションオーブン、牛乳保冷庫等）の老朽化に対応するため、令和8年度から の4年間で年次的に入替を行う費用を要求。（拡充） 学校給食は学校給食法に基づき実施しており、安全・安心な学校給食を児童に提供するために、学校給食法第9条 学校給食衛生管理基準に準拠した事業を継続するための費用を要求。 学校給食費の徴収・喫食数等管理に必要な費用を要求。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校夜間学級給食事業				事業番号	038-093
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策		
		無	取組の方向性					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組	夜間中学校などの学び直しの支援				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
3	事業開始年度	昭和 47 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	—						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市立殿馬場中学校（夜間学級）の生徒 84人（R7.5.1時点）				対象数 84		
7	事業の目的	中学校（夜間学級）で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため						
8	事業内容	中学校（夜間学級）において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。						
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定											
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度					
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度							
	目標値	100	100	100							
	実績値	95	95	—							
12	当該指標を選定した理由	修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	補食給食をほぼ毎日食べている生徒のうち、授業を受ける上で役立っていると答えた生徒の割合									
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	—					
	令和6年度	令和7年度	令和8年度								
12	給食実施日数		目標値	196	194						
			実績値	196	194						
			達成率	100%	100%						
			—								
12	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に示すため。									
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定									

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	中学校夜間学級給食事業	事業番号	038-093
-------	-------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	756	940	783	1,147	1,084
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他 ()	9	26	5	17	18
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	747	914	778	1,130	1,066

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	1,147	1,130	R7	予算	R8	予算		
		R8	予算	1,084	1,066	R8	予算	R8	予算		
	学校給食運営業務	R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		
		R7	予算					R7	予算		
		R8	予算					R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	補食給食の提供
	R8	補食給食の提供（継続）
	R9以降	補食給食の提供（継続）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・限られた休憩時間の中で、生徒が喫食しやすく、内容を充実させた補食給食を提供し、生徒の空腹を解消して授業に集中できるよう支援するために必要な費用を要求。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校給食事業				事業番号	038-094
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実
		有	取組の方向性		②安全・安心でおいしい給食の提供	
		有・無	指標名		堺市は子育てしやすい都市だと思うと答えた保護者の割合	
		有	現状値	62.3%(2024年度)	目標値	73.0%(2030年度)
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット
		有	取組		特別支援教育の充実	
		有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—
3	関連計画	—				
4	事業開始年度	昭和 26 年度		点検対象年度	令和 12 年度	
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	堺市立支援学校児童生徒 502人 (R7.5.1時点)		対象数	単位	
				502	人	
7	事業の目的	堺市立特別支援学校に在籍する児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するものである。				
8	事業内容	堺市立特別支援学校において給食を児童生徒に提供している。給食調理業務は民間委託している。学校現場の負担軽減の一環として、給食費を各学校が徴収・管理する「私会計」から、本市で徴収・管理する「公会計」への移行（令和6年4月開始）を実施した。他の業務として献立、食材調達、食材の空缶・段ボール・牛乳パックのリサイクル等である。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	委託業者・（公財）堺市学校給食協会				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	児童生徒に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができる割合	%	目標値	100	100	100
			実績値	100	100	
			達成率	100%	100%	
12	当該指標を選定した理由	個に応じた給食を提供する必要があるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	支援学校において全児童生徒に対し状況に応じた給食の提供を行うことを目標とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	給食実施日数	日	目標値	190	188	185
			実績値	190	188	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	事業の活動状況を端的に表すため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援学校給食事業	事業番号	038-094
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	59,402	62,935	95,589	109,961	122,391
	国支出金	12,009	13,559	0	10,682	17,732
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	34,681	39,958	32,037
	一般財源	47,393	49,376	60,908	59,321	72,622

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算				R7	予算		
14 事 業 費 内 訳	学校給食調理業務	R7	予算	56,091	56,091	情報システム機器借上料（学校 給食費徴収・管理関係）	R7	予算	240	240
		R8	予算	58,508	58,508		R8	予算	240	240
	学校給食運営業務	R7	予算	52,702	2,062	学校給食費管理関係委託料	R7	予算	358	358
		R8	予算	56,059	6,290		R8	予算	292	292
	備品購入費	R7	予算	0	0	代替昼食持参児童等給付金	R7	予算	0	0
		R8	予算	3,575	3,575		R8	予算	377	377
	廃棄物処理・運搬等委託料	R7	予算	167	167	消耗品費	R7	予算	0	0
		R8	予算	2,382	2,382		R8	予算	141	141
	郵便料	R7	予算	322	322	その他（手数料等）	R7	予算	81	81
		R8	予算	523	523		R8	予算	294	294

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	63,076
----	----	-------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	(R7) 小学部1年生・2年生に属する児童の学校給食費を無償化、中学部を含む全学年の学校給食に係る食材費高騰への支援 学校給食の実施 学校給食費の公会計化を実施 学校給食調理委託業務の履行確認
	R8	小学部全学年児童の学校給食費を無償化、中学部生徒の学校給食に係る食材費高騰への支援 厨房備品（食器洗浄機、牛乳保冷庫等）の老朽化に伴う貢替の年次計画に基づく実施（新規） 学校給食の実施（継続） 学校給食費の徴収・管理（継続） 学校給食調理委託業務の履行確認（継続）
	R9以降	小学部全学年児童の学校給食費を無償化、中学部生徒の学校給食に係る食材費高騰への支援（継続） 厨房備品（食器洗浄機、食缶保管庫等）の老朽化に伴う貢替の年次計画に基づく実施（継続） 学校給食の実施（継続） 学校給食費の徴収・管理（継続） 学校給食調理委託業務の履行確認（継続）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	小学部全学年に属する児童の学校給食費を無償とする要求を行った。あわせて、中学部全学年において、食材費の高騰分（1食あたり89円）を市が負担することで、保護者負担の軽減を図る。 厨房備品（食器洗浄機、牛乳保冷庫等）の老朽化に伴う貢替を令和8年度からの2年間で年次的に実施するのに必要な費用を要求。（拡充） 学校給食は学校給食法に基づき実施しており、安全安心な学校給食を児童生徒に提供するために、学校給食法第9条学校給食衛生管理基準に準拠した事業を継続するための費用を要求。 学校給食費の徴収・管理に必要な費用を要求。
----	---------	--

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
事務事業名	学童集団下痢症補償・フォローアップ事業				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無 無	戦略 取組の方向性	—	施策
	寄与 する KPI	有・無 無	指標名 現状値	—	—	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無 有 無	ゴール 取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 睡眠教育・食育の推進	4.2
	寄与 する KPI	有・無 無	指標名 現状値	—	—	—
3	事業開始年度			平成 8 年度	点検対象年度	令和 12 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			堺市学童集団下痢症に係る補償基準、堺市学童集団下痢症による後遺障害に対する補償基準、 堺市学童集団下痢症による死亡者に対する補償基準、堺市学童集団下痢症に係る健康管理基本方針		
事業の概要						
5	事業の実施主体		本庁			
6	事業の対象		■平成8年7月に発生した病原性大腸菌O157による集団食中毒に罹患した方で、医療機関において治療を受けた方等（未合意者11人） ■O157に罹患し、「現在の症状がO157感染症と因果関係があり、治療や経過観察が必要」と診断された方15人	対象数 26	対象数 人	単位
7	事業の目的		■学校給食に起因して発生した学童集団下痢症であることから、学校設置者である市としての適切な責務を果たすため、未合意者に対し、補償または見舞いを行う。 ■O157に罹患し、治療や経過観察が必要と診断された対象の方々の健康回復と健康保持。			
8	事業内容		■平成8年7月に発生した病原性大腸菌O157による集団食中毒に罹患した方のうち、未合意者に対し、治療を受けた日数や後遺障害等に対して補償を行う。 (補償等の基準) 補償金 医療機関に通院 通院 1日につき 8,000円 医療機関に入院 入院 1日につき 16,000円 HUS併発入院 1日につき 21,000円 見舞金 無症状菌陽性者 5,000円 死亡者、後遺障害が生じた方 別途 ■治療や経過観察が必要な方に対しては、フォローアップ検診を継続実施する。 ■発症者で今後健康（心的も含む）に不安等があり相談があった場合、堺市医師会O157感染症フォローアップ委員会の意見を参考に個別に対応する。 ■教育委員会において、相談窓口を所管し、関係部局及び堺市医師会O157感染症フォローアップ委員会との連携のもと、適切な健康管理に努める。 ■堺市学童集団下痢症を二度と繰り返さず、風化させないことを誓うため「O157 堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい」を開催する。			
	※国・府の基準より上回って 実施した内容を具体的に記載		—			
9	主な支出先		—			
10	公民連携・協働事業		—			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	平成8年7月に発生した病原性大腸菌O157による集団食中毒に罹患した方に 対し補償等を行った人数	人	目標値 11	実績値 0	達成率 0%	
	当該指標を選定した理由		■未合意者(11人)との補償交渉について、合意形成に至る必要があるため			
12	目標値の設定根拠・算出方法		■補償合意した人数			
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	フォローアップ対象者総数のうち受検者	人	目標値 15	実績値 2	達成率 13%	
	当該指標を選定した理由		■学校給食を起因として発生した堺市学童集団下痢症であることから、 学校の設置者である市としての責務を果たすため、フォローアップ検診等（身体面）を受診していただく。			
	目標値の設定根拠・算出方法		■フォローアップ対象者全員の受診を目標とする。			

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学童集団下痢症補償・フォローアップ事業				事業番号	038-099				
III. 令和8年度予算要求額										
事業コスト (単位:千円)										
13 財 源 内 訳	項目	令和4年度		令和5年度		令和6年度				
		決算		決算		決算				
	事業費 (a)	1,029		1,098		1,062				
	国支出金	0		0		0				
	府支出金	0		0		0				
	市債	0		0		0				
	その他 ()	0		10		0				
事業費の内訳 (単位:千円)										
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	900	900		R7	予算	12	12
	会場設営業務委託料	R8	予算	1,100	1,100	R8	予算	14	14	
	周知・啓発・広報等委託料【新規】	R7	予算	0	0	手数料	R7	予算	9	9
		R8	予算	1,000	1,000		R8	予算	10	10
	学童集団下痢症に係る補償金	R7	予算	658	658	消耗品費	R7	予算	2	2
		R8	予算	658	658		R8	予算	10	10
	医療費等負担金	R7	予算	181	181		R7	予算		
		R8	予算	181	181		R8	予算		
	医師報酬	R7	予算	84	84		R7	予算		
R8		予算	84	84	R8		予算			
債務負担行為 (単位:千円)										
15	期間	R ~ R			要求額					
IV. スケジュール										
経過及び今後の展開										
16	R7まで	補償の未合意者に対する補償交渉及び合意した際の支払い、治療や経過観察が必要な方に対するフォローアップ検診（こころのフォローアップを含む）、「O157 堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい」の実施								
	R8	事業の継続 発生から30年の節目を迎えるため、この出来事を風化させない取組（30年の記録の作成など）を実施								
	R9以降	事業の継続								
V. 要求のポイント										
17	要求のポイント	本事業は、学校給食を起因として発生した堺市学童集団下痢症について、多数の児童や家族の方々に被害を与えたという事実から、学校の設置者である市としての責務を果たすため、事業の継続に必要な費用を要求するものである。 また、令和8年度に学童集団下痢症発生から30年の節目を迎えることから、通常の「O157堺市学童集団下痢症 追悼と誓いのつどい」に加え、安全・安心な給食を提供することを誓いつつ、この出来事を風化させない取組（30年の記録の作成など）を行うための費用を要求した。								

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校給食事業				事業番号	038-101
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実 ②安全・安心でおいしい給食の提供		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	堺市は子育てしやすい都市だと思うと答えた保護者の割合			
		有	現状値	62.3%(2024年度)	目標値	73.0%(2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.1		
		寄与 する KPI	有	取組	総合的な学力の育成			
		有・無	指標名	—	目標値	—		
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	—						
3	事業開始年度	平成 28 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校給食法 堺市学校給食管理運営規則						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市立中学校生徒（夜間中学校生徒を除く。）19,350人（R7.5.1 現在）			対象数 19,350	単位 人		
7	事業の目的	堺市立中学校に在籍する生徒に安全・安心な学校給食を提供することにより、生徒の心身の健全な発達に寄与する。						
8	事業内容	全員喫食制中学校給食を令和7年6月に開始し、給食センター方式で堺市立中学校において給食を生徒に提供している。 主な業務は、市内2箇所の学校給食センターの維持管理及び運営、食材の調達業務委託、学校給食を活用した食育の推進、牛乳パックのリサイクル等である。 学校現場の負担軽減の一環として、全員喫食制中学校給食開始（令和7年6月開始）に伴い、給食費を市で徴収・管理する「公会計」を実施した。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	給食センターにおけるPFI事業者、（公財）堺市学校給食協会						
10	公民連携・協働事業	給食センターについては、設計・建設・15年間の管理運営を一括発注するPFI事業として実施。						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	生徒に対し、それぞれの状況に応じた給食の提供ができる割合	%	目標値	-	100	100	
			実績値	-	100		
			達成率	-	100%		
12	当該指標を選定した理由	個に応じた給食を提供する必要があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	生徒に対し状況に応じた給食の提供を行うことを目標とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
	各中学校における給食実施日数 (中学校の平均実施日数)	日	目標値	-	160		
			実績値	-	130		
			達成率	-	81%		
	当該指標を選定した理由	事業の活動内容を端的に表すため（なお実施日数は全員喫食制給食開始後とする）。					
	目標値の設定根拠・算出方法	給食実施予定日を設定					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	中学校給食事業	事業番号	038-101
-------	---------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	375,560	385,750	428,312	2,842,038	2,881,502
		国支出金	0	4,452	0	81,745	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他（）	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	5,165	1,271,864	1,247,682
		一般財源	375,560	381,298	423,147	1,488,429	1,633,820

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		学校給食運営業務（食材費調達等）	R7	予算	1,368,813	15,204	郵便料（学校給食費公会計関係等）	R7	予算	10,369	10,369	
			R8	予算	1,465,347	217,700		R8	予算	6,685	6,685	
		給食センター維持管理運営業務 委託料	R7	予算	1,018,375	1,018,375	手数料（学校給食費公会計関係等）	R7	予算	9,231	9,231	
			R8	予算	1,235,718	1,235,683		R8	予算	6,393	6,393	
		土地借上料（第1給食センター用地）	R7	予算	97,960	97,960	会計年度非常勤職員報酬	R7	予算	11,754	11,754	
			R8	予算	97,960	97,960		R8	予算	3,442	3,442	
		備品購入費	R7	予算	0	0	学校給食公会計関係業務委託料、情報システム機器借上料	R7	予算	9,249	9,249	
			R8	予算	38,412	38,412		R8	予算	7,618	7,618	
		廃棄物処理・運搬等委託料	R7	予算	8,405	8,405	その他（コンサルタント業務委託料、費用弁償等）	R7	予算	307,882	307,882	
			R8	予算	15,331	15,331		R8	予算	4,596	4,596	

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R10	要求額	12,693
----	----	--------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	(通年) 学校給食に係る食材費高騰への支援 (令和7年5月まで) 選択制での学校給食を民間調理場を活用したデリバリー方式で実施（ただし、大泉中学校は試行的に全員喫食の給食を実施） (令和7年6月以降) 全員喫食制の中学校給食を実施 全中学校での学校給食費の公会計化を実施
	R8	学校給食に係る食材費高騰への支援（継続） 学校給食の実施（継続） 学校給食費の徴収・管理（継続） 厨房備品（牛乳保冷庫、冷蔵庫等）の老朽化に伴う買替の年次計画に基づく実施（新規）
	R9以降	学校給食の実施（継続） 学校給食費の徴収・管理（継続） 厨房備品（牛乳保冷庫、冷蔵庫等）の老朽化に伴う買替の年次計画に基づく実施（継続 R9まで）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	食材費の高騰分（1食あたり65円）を市が負担することで、保護者負担の軽減を図る。 2か所の給食センターにおいて、安全に給食を提供できるよう、給食センターの維持管理及び運営に係る経費、中学校給食費の徴収管理及びシステム運用に係る費用を要求。 各中学校の配膳室に設置している厨房備品（牛乳保冷庫、冷蔵庫等）の老朽化に対応するため、令和8年度からの2年間で年次的に入替を行う費用を要求。（新規）

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
一般会計	事務事業名	小学校管理運営事業（学校管理課）				事業番号	038-021	
一般会計	担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課	

I. 基本情報

事業の位置付け												
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実					
	寄与 する KPI	有・無	指標名	有	取組の方向性	—	③学校施設の充実					
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	目標値	—	—				
	無	取組	無	現状値	—	ターゲット	—	—				
3	事業開始年度		— 年度		点検対象年度		令和 12 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法										
事業の概要												
5	事業の実施主体	本庁										
6	事業の対象	市立小学校児童				対象数	92	単位 校				
7	事業の目的	学校園教育の充実のためには、環境を整備することが重要であり、各小学校において学校教育活動及び管理運営に係る必要な教材教具等を整備する。										
8	事業内容	学校の学級数及び児童数に応じた必要な予算を確保し、各学校に予算配当を行う。 各学校は、配当された予算内で教材教具等の購入や更新を行う。										
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—										
9	主な支出先	—										
10	公民連携・協働事業	—										

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	■教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。	校	目標値	—	—	—	—	
	当該指標を選定した理由	各学校配当予算の適切な執行	実績値	—	—	—	—	
	目標値の設定根拠・算出方法	新規の物品購入のほか、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。	達成率	—	—	—	—	
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	■学校園事務監査指導の実施	校	目標値	14	14	14		
	当該指標を選定した理由	学校園における適切な事務執行の確保	実績値	14	14	14		
	目標値の設定根拠・算出方法	同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し、市立全学校園から20校を選定	達成率	100%	100%	100%		

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小学校管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-021
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	722,735	651,922	998,890	661,107	628,304
	国支出金	113,312	50,490	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（市子ども教育やめ基金、教育事務一部負担金）	1,722	2,059	2,062	4,771	4,293
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源		607,701	599,373	996,828	656,336	624,011

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事業費内訳	主な項目		年度	事業費	うち一般財源	主な項目		年度	事業費	うち一般財源
		需用費消耗品費等		R7	予算	551,852	委託料	R7	予算	0	0
				R8	予算	528,054		R8	予算	0	0
		需用費燃料費		R7	予算	62	使用料及び賃借料	R7	予算	3,712	3,712
				R8	予算	105		R8	予算	3,742	3,742
		需用費印刷製本費		R7	予算	5,498	原材料	R7	予算	4,416	4,416
				R8	予算	5,396		R8	予算	3,680	3,680
		需用費備品修繕料		R7	予算	22,241	備品購入費	R7	予算	60,196	60,196
				R8	予算	22,482		R8	予算	50,710	50,710
		役務費通信運搬費等		R7	予算	13,130	負担金、補助及び交付金等	R7	予算	0	0
				R8	予算	14,135		R8	予算	0	0

債務負担行為		(単位：千円)				
15	期間	R ~ R		要求額		
15						

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R8	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R9以降	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	小学校に予算を配当するなどの方法により、小学校で必要とされる事務用品、教科書指導書、教材、図書、備品等の物品購入及び修繕等を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校管理運営事業（学校管理課）						事業番号	038-022
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理			課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与 する KPI	有・無	指標名		③学校施設の充実	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	—
		無	取組		—		—	—
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	— 年度			点検対象年度	令和 12 年度		
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市立中学校生徒					対象数	単位
							44	校
7	事業の目的	校園教育の充実のためには、環境を整備することが重要であり、各中学校において学校教育活動及び管理運営に係る必要な教材教具等を整備する。						
8	事業内容	学校の学級数及び生徒数に応じた必要な予算を確保し、各学校に予算配当を行う。各学校は、配当された予算内で教材教具等の購入や更新を行う。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定											
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。	校	実績 令和6年度	実績見込み	目標	目標	点検対象年度				
				令和7年度	令和8年度	令和12年度					
			目標値	—	—	—					
12	当該指標を選定した理由	各学校配当予算の適切な執行									
	目標値の設定根拠・算出方法	新規の物品購入や、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。									
	活動指標(成果を上げるための手段) 学校園事務監査指導の実施	校	実績 令和6年度	実績見込み	目標	6					
				令和7年度	令和8年度						
			目標値	6	6						
			実績値	6	6						
			達成率	100%	100%						
	当該指標を選定した理由	学校園における適切な事務執行の確保									
	目標値の設定根拠・算出方法	同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し、市立全学校園から20校を選定									

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	中学校管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-022
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	341,110	315,049	303,364	497,396	293,527
	国支出金	52,495	24,033	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（土地・建物賃付収入、教育事務一部負担金）	0	0	0	34	489
	受益者負担金（使用料、手数料等）	0	0	0	0	0
一般財源		288,615	291,016	303,364	497,362	293,038

事業費の内訳						
14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	(単位：千円)
		R7	予算	437,737	437,703	
事業 費 内 訳	需用費消耗品費等	R7	予算	437,737	437,703	委託料
		R8	予算	241,404	240,915	
	需用費燃料費	R7	予算	608	608	使用料及び賃借料
		R8	予算	516	516	
	需用費印刷製本費	R7	予算	3,081	3,081	原材料
		R8	予算	2,839	2,839	
需用費備品修繕料	R7	予算	8,218	8,218	備品購入費	
		R8	予算	8,058	8,058	
	役務費通信運搬費等	R7	予算	9,215	9,215	負担金、補助及び交付金等
		R8	予算	9,794	9,794	

債務負担行為				
15	期間	R ~ R	要求額	

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R8	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R9以降	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	中学校に予算を配当するなどの方法により、中学校で必要とされる事務用品、教科書指導書、教材、図書、備品等の物品購入及び修繕等を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
一般会計	事務事業名	幼稚園管理運営事業（学校管理課）				事業番号	038-023	
一般会計	担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課	

I. 基本情報

事業の位置付け											
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実				
	寄与 する KPI	有・無	指標名	有	取組の方向性	—	③学校施設の充実				
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	目標値	—	—			
	寄与 する KPI	無	取組	無	現状値	—	ターゲット	—			
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン									
4	事業開始年度	— 年度			点検対象年度	令和 12 年度					
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法									
事業の概要											
6	事業の実施主体	本庁									
7	事業の対象	市立幼稚園児					対象数	単位			
							4	園			
8	事業の目的	学校園教育の充実のためには、環境を整備することが重要であり、各幼稚園において教育活動及び管理運営に係る必要な教材教具等を整備する。									
9	事業内容	幼稚園の学級数及び園児数に応じた必要な予算を確保し、各幼稚園に予算配当を行う。各幼稚園は、配当された予算内で教材教具等の購入や更新を行う。									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—									
10	主な支出先	—									
11	公民連携・協働事業	—									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定											
11	教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。	—		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度					
				目標値	—	—	—				
12	当該指標を選定した理由	各学校園配当予算の適切な執行									
	目標値の設定根拠・算出方法	新規の物品購入や、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。									
	活動指標(成果を上げるための手段)	園		実績	実績見込み	目標					
12	学校園事務監査指導の実施			令和6年度	令和7年度	令和8年度					
	当該指標を選定した理由	学校園における適切な事務執行の確保									
	目標値の設定根拠・算出方法	同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し、市立全学校園から20校園を選定									

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	幼稚園管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-023
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	10,917	7,619	6,915	7,465	7,914
	国支出金	0	322	0	0	0
	府支出金	1,110	254	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源		9,807	7,043	6,915	7,465	7,914

事業費の内訳		(単位：千円)									
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	
	需用費消耗品費等		R7	予算	4,608	4,608	委託料	R7	予算	0	0
			R8	予算	4,662	4,662		R8	予算	0	0
	需用費燃料費		R7	予算	78	78	使用料及び賃借料	R7	予算	50	50
			R8	予算	80	80		R8	予算	50	50
	需用費印刷製本費		R7	予算	156	156	原材料	R7	予算	110	110
			R8	予算	177	177		R8	予算	110	110
	需用費備品修繕料		R7	予算	1,112	1,112	備品購入費	R7	予算	687	687
			R8	予算	1,137	1,137		R8	予算	1,187	1,187
	役務費通信運搬費等		R7	予算	664	664		R7	予算		
			R8	予算	511	511		R8	予算		

債務負担行為				(単位：千円)			
15	期間	R ~ R	要求額				

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	教育内容の充実に必要な学習環境を整備
	R8	教育内容の充実に必要な学習環境を整備
	R9以降	教育内容の充実に必要な学習環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	幼稚園に予算を配当するなどの方法により、幼稚園で必要とされる事務用品、図書、備品等の物品購入及び修繕等を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高等学校管理運営事業（学校管理課）					事業番号	038-024	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理		課	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
		寄与 する KPI	有・無	指標名		③学校施設の充実	—	
			無	現状値	—	目標値	—	
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		無	取組		—		—	
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		—	
			無	現状値	—	目標値	—	
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	— 年度			点検対象年度	令和 12 年度		
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	市立高等学校生徒					対象数	単位
							1	校
7	事業の目的	学校園教育の充実のためには、環境を整備することが重要であり、高等学校において学校教育活動及び管理運営に係る必要な教材教具等を整備する。						
8	事業内容	高等学校の学科の種類及び生徒数に応じ、指導上、保健衛生上及び安全上必要な教材教具等の購入、更新等を行う。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定										
11	教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。	—		実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度			
				目標値	—	—	—			
	当該指標を選定した理由	各学校配当予算の適切な執行								
	目標値の設定根拠・算出方法	新規の物品購入や、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。								
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度				
				目標値	—	—				
	学校園事務監査指導の実施	校		実績値	—	—	—	—		
	当該指標を選定した理由			達成率	—	—	—	—		
	目標値の設定根拠・算出方法			同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し市立全学校園から20校園を選定						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	高等学校管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-024
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	19,565	19,372	18,076	19,069	19,619
	国支出金	2,150	1,546	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（子ども教育ゆめ基金繰入金）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源		17,415	17,826	18,076	19,069	19,619

事業費の内訳

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	14,688	14,688		R7	予算	0	0
事業 費 内 訳	需用費消耗品費等	R8	予算	15,210	15,210	委託料	R8	予算	0	0
		R7	予算	21	21		R7	予算	119	119
	需用費燃料費	R8	予算	21	21		R8	予算	119	119
		R7	予算	692	692	原材料	R7	予算	38	38
	需用費印刷製本費	R8	予算	690	690		R8	予算	36	36
		R7	予算	1,213	1,213	備品購入費	R7	予算	1,899	1,899
	需用費備品修繕料	R8	予算	1,215	1,215		R8	予算	1,812	1,812
		R7	予算	399	399	負担金、補助及び交付金等	R7	予算	0	0
	役務費通信運搬費等	R8	予算	516	516		R8	予算	0	0

債務負担行為

15	期間	R ~ R	要求額	

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R8
	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備
	R9以降
	教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		高等学校に予算を配当するなどの方法により、高等学校で必要とされる事務用品、教材、図書、備品等の物品購入、修繕等を行う。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	理科教育等設備整備事業（小学校）						事業番号	038-025
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理			課

I. 基本情報

事業の位置付け													
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実						
		寄与 する KPI	有・無	指標名		③学校施設の充実	—						
		無	現状値		—	目標値	—						
		施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—						
	堺市SDGs 未来都市 計画	無	取組		—		—						
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—	—						
		無	現状値		—	目標値	—						
							—						
2	関連計画		堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン										
3	事業開始年度		昭和 29 年度		点検対象年度	令和 12 年度							
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		理科教育振興法										
事業の概要													
5	事業の実施主体		本庁										
6	事業の対象		市立小学校児童				対象数	単位					
7	事業の目的		科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境整備に努める。										
8	事業内容		国庫補助金予定額（経費の1/2補助）に応じて、整備対象校を決定し、事業予算を配当する。対象となった小学校は、予算の範囲内で実験器具、教材等の充実を図る。										
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—										
9	主な支出先		—										
10	公民連携・協働事業		—										

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	理科教育設備整備校数	校		目標値 30	30	30	30	
				実績値 30	30			
				達成率 100%	100%			
	当該指標を選定した理由	理科教育設備整備の計画的な推進						
	目標値の設定根拠・算出方法	設備においては、現有金額の低い学校数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	設備整備費事業計画書の作成	校		目標値 30	30	30		
				実績値 30	30			
				達成率 100%	100%			
	当該指標を選定した理由	理科教育設備整備財源（国庫補助）の確保						
	目標値の設定根拠・算出方法	設備においては、現有金額の低い学校数						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	理科教育等設備整備事業（小学校）	事業番号	038-025
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	5,062	4,767	4,606	3,900	4,500
	国支出金	2,530	2,384	2,303	1,950	2,250
	府支出金					
	市債					
	その他（）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	2,532	2,383	2,303	1,950	2,250

事業費の内訳						
14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	(単位：千円)
		R7	予算	3,900	1,950	
事業 費 内 訳	備品購入費	R7	予算	4,500	2,250	R7
		R8	予算			R8
		R7	予算			R7
		R8	予算			R8
		R7	予算			R7
		R8	予算			R8
		R7	予算			R7
		R8	予算			R8
		R7	予算			R7
		R8	予算			R8

債務負担行為				
15	期間	R ~ R	要求額	

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備
	R8	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備
	R9以降	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	理科算数教育に関する設備を整備することにより、実験などの体験学習の実施をはじめとする教育内容の充実や 学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境の整備を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート (1)

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
一般会計	事務事業名	理科教育等設備整備事業（中学校）				事業番号	038-026	
担当部署名	教育委員会事務		局	学校管理		部	学校管理	

I. 基本情報

事業の位置付け													
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実						
		寄与 する KPI	有・無	指標名	③学校施設の充実			—	—				
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	目標値	—						
		寄与 する KPI	無	取組	—	ターゲット	—						
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン											
3	事業開始年度	昭和 29 年度		点検対象年度		令和 12 年度							
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	理科教育振興法											
事業の概要													
5	事業の実施主体	本庁											
6	事業の対象	市立中学校生徒				対象数	単位						
7	事業の目的	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境整備に努める。											
8	事業内容	国庫補助金予定額（経費の1/2補助）に応じて、整備対象校を決定し、事業予算を配当する。対象となった中学校は、予算の範囲内で実験器具、教材等の充実を図る。											
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—											
9	主な支出先	—											
10	公民連携・協働事業	—											

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
11 理科教育設備整備校数	校	目標値	10	10	10	10		
		実績値	10	10				
		達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由	理科教育設備整備の計画的な推進							
目標値の設定根拠・算出方法	設備においては、現有金額の低い学校数							
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標			
			令和6年度	令和7年度	令和8年度			
		目標値	10	10	10			
		実績値	10	10				
		達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由	理科教育設備整備財源（国庫補助）の確保							
目標値の設定根拠・算出方法	設備においては、現有金額の低い学校数							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	理科教育等設備整備事業（中学校）	事業番号	038-026
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財 源 内 訳	事業費 (a)	1,635	1,970	1,880	1,850	2,100
	国支出金	816	984	939	925	1,050
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	819	986	941	925	1,050

事業費の内訳		(単位：千円)								
14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	1,850	925		R7	予算	R8	予算
	備品購入費	R8	予算	2,100	1,050		R8	予算	R7	予算
		R7	予算				R8	予算	R8	予算
		R8	予算				R7	予算	R7	予算
		R7	予算				R8	予算	R8	予算
		R8	予算				R7	予算	R7	予算
		R7	予算				R8	予算	R8	予算
		R8	予算				R7	予算	R7	予算
		R7	予算				R8	予算	R8	予算

債務負担行為				(単位：千円)			
15	期間	R ~ R	要求額				

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備
	R8
	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備
	R9以降
	科学的な知識、技能及び態度の習得の一助となるよう、実験器具、教材等の充実を図り、理科教育の環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	理科・数学教育に関する設備を整備することにより、実験などの体験学習の実施をはじめとする教育内容の充実や学力向上に向けた取組の推進に必要な学習環境の整備を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校管理課）					事業番号	038-028	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課		

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	③学校施設の充実		—			
		無	現状値	—		目標値	—			
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—			
		無	取組	—		—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		—			
		無	現状値	—		目標値	—			
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン								
4	事業開始年度	— 年度			点検対象年度	令和 12 年度				
5	事業の実施主体	本庁								
6	事業の対象	市立支援学校児童生徒					対象数	単位		
7	事業の目的	学校園教育の充実のためには、環境を整備することが重要であり、各支援学校における児童及び生徒の学習環境を整備する。								
8	事業内容	支援学校の学級数並びに児童及び生徒数に応じた必要な予算を確保し、各支援学校に予算配当を行う。 各支援学校は、配当された予算内で教材教具等の購入や更新を行う。								
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—								
9	主な支出先	—								
10	公民連携・協働事業	—								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
11	教育活動や内部管理・維持管理に必要な物品購入等を適切に行う。	-	目標値	—	—	—	—		
			実績値	—	—				
			達成率	—	—				
12	当該指標を選定した理由	各学校配当予算の適切な執行							
	目標値の設定根拠・算出方法	新規の物品購入や、現有物品についても必要に応じた更新等を行った。							
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	校	実績	実績見込み	目標			
12	学校園事務監査指導の実施	校		令和6年度	令和7年度	令和8年度			
				目標値	—	—			
				実績値	—	—			
				達成率	—	—			
12	当該指標を選定した理由	学校園における適切な事務執行の確保							
	目標値の設定根拠・算出方法	同一学校園における実施頻度、学校園の工事、他の監査の実施等を勘案し、市立全学校園から20校園を選定							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校管理課）	事業番号	038-028
-------	---------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	29,614	31,112	34,590	40,805	43,860
		国支出金	1,766	457	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他（ ）	0	0	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
		一般財源	27,848	30,655	34,590	40,805	43,860

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	30,700	30,700		R7	予算	0	0
		需用費消耗品費等	R8	予算	33,699	33,699	委託料	R8	予算	0	0
		需用費燃料費	R7	予算	6	6	使用料及び賃借料	R7	予算	73	73
			R8	予算	6	6		R8	予算	80	80
		需用費印刷製本費	R7	予算	432	432	原材料	R7	予算	210	210
			R8	予算	412	412	備品購入費	R8	予算	186	186
		需用費備品修繕料	R7	予算	1,605	1,605		R7	予算	7,025	7,025
			R8	予算	1,763	1,763		R8	予算	6,800	6,800
		役務費通信運搬費等	R7	予算	754	754		R7	予算		
			R8	予算	914	914		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	障害のある子供たちの生活や学習上の困難を改善、克服する教育を推進するために必要な学習環境を整備
	R8	障害のある子供たちの生活や学習上の困難を改善、克服する教育を推進するために必要な学習環境を整備
	R9以降	障害のある子供たちの生活や学習上の困難を改善、克服する教育を推進するために必要な学習環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		支援学校に予算を配当するなどの方法により、支援学校で必要とされる事務用品、教材、図書、備品等の物品購入、修繕等を行う。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援教育設備整備事業（小学校）					事業番号	038-029	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課		

I. 基本情報

事業の位置付け											
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無 有 寄与 する KPI	戦略 取組の方向性	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ③学校施設の充実	施策 —	(4) 安心して学べる教育環境の充実 —	—			
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無 無 寄与 する KPI	指標名 現状値	—	目標値	—	—			
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン									
3	事業開始年度	平成 17 年度			点検対象年度	令和 12 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法									
事業の概要											
5	事業の実施主体	本庁									
6	事業の対象	支援学級児童					対象数	単位			
7	事業の目的	障害のある子どもの自立と社会参加を実現するため、障害種別に応じた教育環境の整備を行うことを目的とする。									
8	事業内容	当該年度に新設された支援学級のうち、一定の条件（当該年度に新設される学級種別が過去の一定期間において設置されていない等）に当てはまる支援学級を対象に事業予算を配当し、各対象校は予算の範囲内で対象学級の設備充実を図る。									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—									
9	主な支出先	—									
10	公民連携・協働事業	—									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定										
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度			
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度			
	新設支援学級のうち設備整備された学級数	学級	目標値 実績値 達成率	6 4 67%	9 6 67%	2 — —	2 — —			
	当該指標を選定した理由	すべての整備対象支援学級において、設備整備を用するため。								
	目標値の設定根拠・算出方法	整備対象支援学級数								
12	活動指標(成果を上げるための手段)	学級		実績	実績見込み	目標				
	令和6年度			令和7年度	令和8年度					
	目標値 実績値 達成率			6 4 67%	9 6 67%	2 — —				
	事業計画書の作成									
	当該指標を選定した理由	効果的な設備整備を行うため。								
	目標値の設定根拠・算出方法	新設支援学級数（過去10年間に同一障害種別学級が設置されていない学級に限る。）								

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援教育設備整備事業（小学校）	事業番号	038-029
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)						
13	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求		
財 源 内 訳	事業費 (a)	853		778	1,177	1,170	1,170	260
	国支出金							
	府支出金							
	市債							
	その他（ ）							
	受益者負担金(使用料、手数料等)							
一般財源		853		778	1,177	1,170	1,170	260

事業費の内訳

14	事業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目		年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算			R7	予算	R7	予算		
備品購入費		R7 予算	1,170	1,170			R7 予算		R7 予算			
			260	260								
		R8 予算					R8 予算		R8 予算			
		R7 予算					R7 予算		R7 予算			
R8 予算		R8 予算					R8 予算		R8 予算			
		R7 予算					R7 予算		R7 予算			
		R8 予算					R8 予算		R8 予算			

債務負担行為

(単位：千円)			
15	期間	R ~ R	要求額

IV. スケジュール

経過及び今後の展開	
16	R7まで
	必要な設備の購入を行うことにより、児童の障害種別に応じた教育環境を整備
R8	必要な設備の購入を行うことにより、児童の障害種別に応じた教育環境を整備
R9以降	必要な設備の購入を行うことにより、児童の障害種別に応じた教育環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	支援学級は、児童の障害種別に応じた設備（教材、訓練器具等）整備が必要であり、通常の管理備品とは別に、支援学級が新設された学校ごとに対して事業実施することにより、新規に必要となる備品の整備を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援教育設備整備事業（中学校）					事業番号	038-030	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課		

I. 基本情報

事業の位置付け											
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実				
		寄与 する KPI	有・無	指標名		③学校施設の充実	—	—			
			無	現状値	—	目標値	—	—			
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	—			
		無	取組		—		—	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—	—	—			
			無	現状値	—	目標値	—	—			
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン									
4	事業開始年度	平成 17 年度			点検対象年度	令和 12 年度					
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法									
事業の概要											
6	事業の実施主体	本庁									
7	事業の対象	支援学級生徒					対象数	単位			
							—	—			
8	事業の目的	障害のある子どもの自立と社会参加を実現するため、障害種別に応じた教育環境の整備を行うことを目的とする。									
9	事業内容	当該年度に新設された支援学級のうち、一定の条件（当該年度に新設される学級種別が過去の一定期間において設置されていない等）に当たる支援学級を対象に事業予算を配当し、各対象校は予算の範囲内で対象学級の設備充実を図る。									
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—									
10	主な支出先	—									
	公民連携・協働事業	—									

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
成果指標(目的の達成状況を測定)			単位			実績	実績見込み	目標
				令和6年度		令和7年度	令和8年度	令和12年度
新設支援学級のうち設備整備された学級数			学級	目標値	3	2	1	1
				実績値	2	0		
				達成率	67%	0%		
当該指標を選定した理由			すべての整備対象支援学級において、設備整備を用するため。					
目標値の設定根拠・算出方法			整備対象支援学級数					
活動指標(成果を上げるための手段)			単位			実績	実績見込み	目標
				令和6年度		令和7年度	令和8年度	
事業計画書の作成			学級	目標値	3	2	1	
				実績値	2	0		
				達成率	67%	0%		
当該指標を選定した理由			効果的な設備整備を行うため。					
目標値の設定根拠・算出方法			新設支援学級数（過去10年間に同一障害種別学級が設置されていない学級に限る。）					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援教育設備整備事業（中学校）	事業番号	038-030
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
財源	事業費 (a)	0	520	585	260	130
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	内訳 その他（）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	0	520	585	260	130

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事業費内訳	主な項目		年度	事業費	うち一般財源	主な項目		年度	事業費	うち一般財源
		備品購入費		R7	予算	260	備品購入費		R7	予算	
				R8	予算	130			R8	予算	
				R7	予算				R7	予算	
				R8	予算				R8	予算	
				R7	予算				R7	予算	
				R8	予算				R8	予算	
				R7	予算				R7	予算	
				R8	予算				R8	予算	
				R7	予算				R7	予算	
				R8	予算				R8	予算	

債務負担行為				(単位：千円)			
15	期間	R ~ R	要求額				
15							

IV. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R7まで	必要な設備の購入を行うことにより、生徒の障害種別に応じた教育環境を整備
	R8	必要な設備の購入を行うことにより、生徒の障害種別に応じた教育環境を整備
	R9以降	必要な設備の購入を行うことにより、生徒の障害種別に応じた教育環境を整備

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	支援学級は、生徒の障害種別に応じた設備（教材、訓練器具等）整備が必要であり、通常の管理備品とは別に、支援学級が新設された学校ごとに対して事業実施することにより、新規に必要となる備品の整備を行う。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他	
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	閉校園管理事業(学校管理課)				事業番号	038-118	
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
		施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		無	取組	—	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

関連計画

3 事業開始年度	— 年度	点検対象年度	令和 12 年度
----------	------	--------	----------

4 実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市財産規則
----------------------	--------

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁			
6	事業の対象	閉校園跡地7箇所		対象数	単位
				7	箇所
7	事業の目的	閉校園跡地の財産（土地建物）の管理や、施設設備の保全を行う。			
8	事業内容	当該施設の適切な維持及び安全管理を行うため、各種法定点検（建築物点検、消防用設備点検等）や機械警備及び巡回警備を実施			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—			
9	主な支出先	委託業者			
10	公民連携・協働事業	—			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み		目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
				目標値	7		
				実績値	7		
	施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、安全が確保されている個所数	箇所	達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由						
	目標値の設定根拠・算出方法						

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み		目標 令和8年度	
				目標値	7		
				実績値	7		
	機械警備業務	箇所	達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由						
	目標値の設定根拠・算出方法						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	閉校園管理事業(学校管理課)	事業番号	038-118
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	9,157	13,371	9,199	9,721	10,691
	国支出金				7	284
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	9,157	13,371	9,199	9,714	10,407

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源	主な項目	年度	事業費	うち 一般財源		
		R7	予算	320	320	R7	予算	1,859	1,852	
14 事 業 費 内 訳	電気使用料	R8	予算	420	420	その他	R8	予算	2,298	2,014
		R7	予算	4,255	4,255		R7	予算		
	警備業務	R8	予算	4,863	4,863		R8	予算		
		R7	予算	2,132	2,132		R7	予算		
	施設管理業務	R8	予算	1,994	1,994		R8	予算		
		R7	予算	1,125	1,125		R7	予算		
	除草業務	R8	予算	1,086	1,086		R8	予算		
		R7	予算	30	30		R7	予算		
	産業廃棄物収集運搬、処分業務	R8	予算	30	30		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	閉校園跡地の有効活用法を検討を続けつつ、閉校園跡地の適切な管理のため必要最低限の委託業務等を行い、売却要件が整った跡地について売却の事務を進める。
	R8	閉校園跡地の有効活用法を検討を続けつつ、閉校園跡地の適切な管理のため必要最低限の委託業務等を行い、売却要件が整った跡地について売却の事務を進める。
	R9以降	閉校園跡地の有効活用法を検討を続けつつ、閉校園跡地の適切な管理のため必要最低限の委託業務等を行い、売却要件が整った跡地について売却の事務を進める。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■閉校園跡地の財産（土地建物）の管理や、施設設備の維持保全を適切に行う。
		<input type="checkbox"/> 給水設備・消防設備・建築物等の点検 給水設備・消防設備・建築物等の定期点検の実施 <input type="checkbox"/> 樹木剪定・除草業務 近隣への越境対応等のため隨時実施 <input type="checkbox"/> 機械警備 不審者の侵入等の防止を目的として、閉校園跡地に機械警備及び巡回警備を実施

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校園施設保全事業（小学校）				事業番号	038-132
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実 ③学校施設の充実		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値 —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット —		
			無	取組		—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値 —		
3	事業開始年度		— 年度		点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	学校施設(小学校92校)、市立小学校児童、教職員、保護者、地域住民				対象数 92 単位 校		
7	事業の目的	学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。						
8	事業内容	財産管理(境界確定・取得・処分等)、電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の法定点検、空調機・エレベーター等保守、樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分、学校安全管理員配置 等						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	委託業者						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、児童の安全安心が確保されている 学校数	単位 校	実績 令和6年度 目標値 92 実績値 92 達成率 100%	実績見込み 令和7年度 92 92 100%	目標 令和8年度 92 92	目標 点検対象年度 令和12年度 92
	当該指標を選定した理由	児童の健やかな成長のためには、安心・安全で良好な教育環境を確保する必要がある。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全学校を対象とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段) 建築物等定期点検の実施	単位 校	実績 令和6年度 目標値 92 実績値 92 達成率 100%	実績見込み 令和7年度 92 92 100%	目標 令和8年度 92 92	
	当該指標を選定した理由	建築物等の安全確保の徹底。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全学校を対象とする。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校園施設保全事業（小学校）	事業番号	038-132
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13 財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	481,172	498,507	501,285	545,052	570,920
国支出金					2,155	1,707
府支出金						
市債						
その他（）						
受益者負担金(使用料、手数料等)						
一般財源		481,172	498,507	501,285	542,897	569,213

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	271,766	271,766		R7	予算	21,777	21,777
		R8	予算	290,521	290,521		R8	予算	21,777	21,777
安全管理業務		R7	予算	5,492	5,492	産業廃棄物[廃プラスチック類等]	R7	予算	71,816	71,816
廃蛍光管・堺市立学校園再資源化物等収集運搬処理業務		R8	予算	6,036	6,036	収集運搬処分業務	R8	予算	74,070	74,070
毎日ごみ回収		R7	予算	47,758	47,758	警備業務	R7	予算	24,165	24,165
		R8	予算	47,758	47,758	建物定期点検業務・エレベーター設備保守点検業務	R8	予算	27,486	27,486
冷暖房及び空調設備保守点検業務		R7	予算	30,621	30,621	その他（委託料等）	R7	予算	57,180	55,025
		R8	予算	16,745	16,745		R8	予算	72,032	70,325
電気管理業務		R7	予算	14,477	14,477		R7	予算		
		R8	予算	14,495	14,495		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	24,000
----	----	-------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	良好な教育施設機能を維持
	R8	良好な教育施設機能を維持
	R9以降	良好な教育施設機能を維持

V. 要求のポイント

17 要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を適切に行い、良好な教育施設機能の維持を図る。 <input type="checkbox"/>電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の点検 <ul style="list-style-type: none"> ・電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の全校定期点検の実施 <input type="checkbox"/>空調機・エレベーター保守 <ul style="list-style-type: none"> ・空調機（GHP:ガス-トボンフローアイコン）、エレベーターの保守点検の全校実施 <input type="checkbox"/>樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分 <ul style="list-style-type: none"> ・隨時実施 <input type="checkbox"/>学校安全管理員配置及び機械警備 <ul style="list-style-type: none"> ・不審者の侵入等の防止を目的として安全管理員を全小学校（92校）に配置し、夜間は機械警備及び巡回警備を実施

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	学校園施設保全事業（中学校）				事業番号	038-133
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ — — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ③学校施設の充実 — —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 無 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	— — — —	ターゲット — — —
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			学校教育法		
事業の概要						
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	学校施設(中学校43校)、市立中学校生徒、教職員、保護者、地域住民				対象数 43
7	事業の目的	学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。				
8	事業内容	財産管理(境界確定・取得・処分等)、電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の法定点検、空調機・エレベーター等保守、樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分、学校安全管理員配置 等				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	委託業者				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、生徒の安全安心が確保されている 学校数	単位 校	実績 令和6年度 目標値 実績値 達成率	実績見込み 令和7年度 令和8年度 43 43 100%	目標 令和8年度 43	目標 点検対象年度 令和12年度 43
	当該指標を選定した理由	生徒の健やかな成長のためには、安心・安全で良好な教育環境を確保する必要がある。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全学校を対象とする。				
12	活動指標(成果を上げるための手段) 建築物等定期点検の実施	単位 校	実績 令和6年度 目標値 実績値 達成率	実績見込み 令和7年度 令和8年度 43 43 100%	目標 令和8年度 43	
	当該指標を選定した理由	建築物等の安全確保の徹底				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全学校を対象とする。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校園施設保全事業（中学校）	事業番号	038-133
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	165,517	165,305	161,958	187,284	211,365
	国支出金				2,247	1,391
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	165,517	165,305	161,958	185,037	209,974

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	50,348	50,348		R7	予算	8,890	8,890
	安全管理業務	R8	予算	53,959	53,959	収集運搬処分業務	R8	予算	8,890	8,890
	廃蛍光灯・堺市立学校園再資源化物等収集運搬処理業務	R7	予算	3,359	3,359	警備業務	R7	予算	31,861	31,861
		R8	予算	3,031	3,031		R8	予算	36,171	36,171
	毎日ごみ回収	R7	予算	23,588	23,588	建物定期点検業務・エレベータ設備保守点検業務	R7	予算	15,839	15,839
		R8	予算	23,588	23,588		R8	予算	19,499	19,499
	冷暖房及び空調設備保守点検業務	R7	予算	8,612	8,612	その他（委託料等）	R7	予算	38,449	36,202
		R8	予算	9,544	9,544		R8	予算	50,345	48,954
	電気管理業務	R7	予算	6,338	6,338		R7	予算		
		R8	予算	6,338	6,338		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	10,000
----	----	-------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	良好な教育施設機能を維持
	R8	良好な教育施設機能を維持
	R9以降	良好な教育施設機能を維持

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を適切に行い、良好な教育施設機能の維持を図る。	
		<input type="checkbox"/> 電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の点検 ・電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の全校定期点検の実施	
<input type="checkbox"/> 浄化槽・空調機・エレベーター等保守 ・浄化槽（設置校1校）、空調機（GHP:ガスヒートポンプエアコン）、エレベーターの保守点検の全校実施			
<input type="checkbox"/> 樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分 ・随时実施			
<input type="checkbox"/> 学校安全管理員配置及び機械警備 ・解施錠点検を主な業務として安全管理員を全中学校（43校）に配置し、夜間は機械警備及び巡回警備を実施			

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校園施設保全事業（高等学校）					事業番号	038-134
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課	

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 戦略 取組の方向性	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 ③学校施設の充実	(4) 安心して学べる教育環境の充実	
1	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 指標名 現状値	—	—	—	—
2	関連計画			—	—	—	—
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		学校教育法				
事業の概要							
5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	学校施設(高等学校1校)、市立高等学校生徒、教職員、保護者、地域住民		対象数	単位	1	校
7	事業の目的	学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。					
8	事業内容	財産管理(境界確定・取得・処分等)、電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の法定点検、空調機・エレベーター等保守、樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分、学校安全管理員配置 等					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—				
9	主な支出先	委託業者					
10	公民連携・協働事業		—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、生徒の安全安心が確保されている 学校数	校	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
				令和7年度	令和8年度	令和12年度	
			目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1		
	当該指標を選定した理由		達成率	100%	100%		
	目標値の設定根拠・算出方法						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 建築物等定期点検の実施	校	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標	
				令和7年度	令和8年度	令和12年度	
			目標値	1	1	1	
			実績値	1	1		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由						
	目標値の設定根拠・算出方法						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校園施設保全事業（高等学校）	事業番号	038-134
-------	-----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	8,760	9,898	7,711	9,150	12,129
国支出金				20	
府支出金					
市債					
内訳					
その他（受益者負担金(使用料、手数料等)）					
一般財源	8,760	9,898	7,711	9,130	12,129

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
	R7	予算	2,278	2,278		R7	予算	R8	予算
安全管理業務	R7	予算	2,114	2,114					
毎日ごみ回収	R7	予算	1,426	1,426					
電気管理・特定建築物衛生管理	R7	予算	1,020	1,020					
警備業務	R7	予算	1,100	1,100					
その他（委託料等）	R7	予算	3,326	3,306					
	R8	予算	6,206	6,206					

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	600
----	----	-------	-----	-----

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	良好な教育施設機能を維持
	R8	良好な教育施設機能を維持
	R9以降	良好な教育施設機能を維持

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を適切に行い、良好な教育施設機能の維持を図る。
		<input type="checkbox"/> 電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の点検 ・電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の全校定期点検の実施 <input type="checkbox"/> 空調機・エレベーター保守 ・空調機（GHP:ガス-ヒートポンプ・アイコン）、エレベーターの保守点検の全校実施 <input type="checkbox"/> 樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分 ・隨時実施 <input type="checkbox"/> 学校安全管理員配置及び機械警備 ・解施錠点検を主な業務として安全管理員を配置し、夜間は機械警備及び巡回警備を実施

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計						要求区分	その他
	事務事業名					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校園施設保全事業（幼稚園）					事業番号	038-135
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課	

I. 基本情報

事業の位置付け							
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実
		有	取組の方向性			③学校施設の充実	
		有・無	指標名			—	
		無	現状値		—	目標値	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		無	取組			—	
		有・無	指標名		—		
		無	現状値	—	目標値	—	
3	関連計画				—		
4	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度	
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)		学校教育法				
事業の概要							
6	事業の実施主体	本庁					
7	事業の対象	幼稚園施設(幼稚園4園)、市立幼稚園児、教職員、保護者、地域住民			対象数	単位	
					4	園	
8	事業の目的	幼稚園の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。					
	事業内容	財産管理(境界確定・取得・処分等)、電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の法定点検、空調機等保守、樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分、学校安全管理員配置 等					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—					
9	主な支出先	委託業者					
10	公民連携・協働事業			—			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、園児の安全安心が確保されている	園	目標値	4	4	4	4
	学校数		実績値	4	4		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	園児の健やかな成長のためには、安心・安全で良好な教育環境を確保する必要がある。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全園を対象とする。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	建築物等定期点検の実施	校	目標値	4	4	4	
			実績値	4	4		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	建築物等の安全確保の徹底					
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全園を対象とする。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校園施設保全事業（幼稚園）	事業番号	038-135
-------	----------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	17,046	8,195	9,012	12,439	13,818
	国支出金				12	
	府支出金					
	市債					
	その他（ ）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	17,046	8,195	9,012	12,427	13,818

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	1,080	1,080		R7	予算	5,424	5,412
14 事 業 費 内 訳	土地借上料	R8	予算	1,080	1,080	その他（委託料等）	R8	予算	6,309	6,309
		R7	予算	500	500		R7	予算		
	建物定期点検業務・遊具等点検業務	R8	予算	633	633		R8	予算		
		R7	予算	1,431	1,431		R7	予算		
	安全管理業務	R8	予算	1,547	1,547		R8	予算		
		R7	予算	1,037	1,037		R7	予算		
	毎日ごみ回収	R8	予算	1,037	1,037		R8	予算		
		R7	予算	2,967	2,967		R7	予算		
	警備業務	R8	予算	3,212	3,212		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	3,900
----	----	-------	-----	-------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

	R7まで	良好な教育施設機能を維持
16	R8	良好な教育施設機能を維持
	R9以降	良好な教育施設機能を維持

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幼稚園の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を適切に行い、良好な教育施設機能の維持を図る。 <input type="checkbox"/> 電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の点検 ・電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の全園定期点検の実施 <input type="checkbox"/> 空調機保守 ・空調機（GHP:ガスヒートポンプエアコン）の保守点検の全園実施 <input type="checkbox"/> 樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分 ・随時実施 <input type="checkbox"/> 安全管理員配置及び機械警備 ・休園日の園内巡回点検を主な業務として安全管理員を全園（4園）に配置し、夜間は機械警備及び巡回警備を実施
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校園施設保全事業（特別支援学校）				事業番号	038-136
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校管理	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ — — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ③学校施設の充実 — —
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 無 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	— — — —	ターゲット — — —
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			学校教育法		
事業の概要						
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	学校施設(特別支援学校4校)、市立支援学校児童生徒、教職員、保護者、地域住民		対象数	4	単位 校
7	事業の目的	学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。				
8	事業内容 ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	財産管理(境界確定・取得・処分等)、電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の法定点検、空調機・エレベーター等保守、樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分、学校安全管理員配置 等 —				
9	主な支出先	委託業者				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 施設や設備の安全管理及び維持保全を行い、児童の安全安心が確保されている 学校数	単位 校	実績 令和6年度 目標値 実績値 達成率	実績見込み 令和7年度 令和8年度	目標 令和8年度 4	目標 点検対象年度 令和12年度 4
	当該指標を選定した理由	児童の健やかな成長のためには、安心・安全で良好な教育環境を確保する必要がある。				
12	目標値の設定根拠・算出方法 活動指標(成果を上げるための手段) 建築物等定期点検の実施	単位 校	実績 令和6年度 目標値 実績値 達成率	実績見込み 令和7年度 令和8年度	目標 令和8年度 4	
	当該指標を選定した理由	建築物等の安全確保の徹底				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立全学校を対象とする。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校園施設保全事業（特別支援学校）	事業番号	038-136
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	16,051	16,260	15,096	17,397	24,672
	国支出金				32	
	府支出金					
	市債					
	内訳					
	その他（受益者負担金(使用料、手数料等)）					
	一般財源	16,051	16,260	15,096	17,365	24,672

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	5,639	5,639		R7	予算	5,004	4,972
	安全管理業務	R8	予算	6,033	6,033	その他（委託料等）	R8	予算	7,406	7,406
	エレベータ設備保守点検業務	R7	予算	2,706	2,706		R7	予算		
		R8	予算	2,706	2,706		R8	予算		
	警備業務	R7	予算	2,217	2,217		R7	予算		
		R8	予算	5,170	5,170		R8	予算		
	毎日ごみ回収	R7	予算	1,167	1,167		R7	予算		
		R8	予算	1,167	1,167		R8	予算		
	冷暖房及び空調設備保守点検業務	R7	予算	664	664		R7	予算		
		R8	予算	2,190	2,190		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8～R9	要求額	2,500
----	----	-------	-----	-------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	良好な教育施設機能を維持
	R8	良好な教育施設機能を維持
	R9以降	良好な教育施設機能を維持

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■学校の財産(土地建物)の管理や、施設設備の保全を適切に行い、良好な教育施設機能の維持を図る。
		<input type="checkbox"/> 電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の点検 •電気保安設備・給水設備・消防設備・建築物等の全校定期点検の実施 <input type="checkbox"/> 空調機・エレベーター保守 •空調機（GHP:ガス-トボンフロイソン）・エレベーター（設置校2校）の保守点検の全校実施 <input type="checkbox"/> 樹木剪定・下水管清掃・ごみ処分 •隨時実施 <input type="checkbox"/> 学校安全管理員配置及び機械警備 •解施錠点検を主な業務として安全管理員を全校（3校）に配置し、夜間は機械警備及び巡回警備を実施

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 小学校管理運営事業（学校施設課）				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	事業番号	038-105
					学校施設	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策
			無	取組の方向性	—	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—
			無	現状値	—	目標値
2	関連計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット
3	事業開始年度		無	取組	—	—
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	寄与 する KPI	有・無	指標名	—	—
			無	現状値	—	目標値
事業の概要						
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	学校園施設(小学校92校)、児童、教職員、保護者、地域住民				対象数 —
7	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ■学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。 ■校庭などの芝生の維持管理を行うことにより、校庭緑化の維持のほか、子どもたちの運動意欲の増進や環境学習への意欲を高めるとともに、保護者や地域住民、学校との協働による、学校を核とした地域コミュニティの活性化を図る。 				
8	事業内容	学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払、芝生の維持管理等				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	委託業者				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	施設や設備の維持保全を行い、児童の安全安心が確保されている学校数	校	目標値 92	92	92	92
			実績値 92	92	—	—
			達成率 100%	100%	—	—
	当該指標を選定した理由	児童の安全安心を確保することを目標とする。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市立小学校の校数				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	校舎等修繕料の実施件数	件	目標値 —	—	—	
			実績値 1,549	1,550	—	
			達成率 —	—	—	—
	当該指標を選定した理由	施設や設備の維持保全に直結するものであるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	小学校管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-105
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	1,535,880	1,420,412	1,537,845	1,519,492	1,629,773
		国支出金	1,634		2,090	65,215	
		府支出金					
		市債					
		その他（ 繙入金、諸収入 ）	2,437	1,755	3,682	1,400	1,960
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	1,531,809	1,418,657	1,532,073	1,452,877	1,627,813

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	1,323,048	1,256,433		R7	予算		R8
		光熱水費	R8	予算	1,416,518	1,414,558		R8	予算		
		修繕料	R7	予算	172,129	172,129		R7	予算		R8
			R8	予算	188,836	188,836		R8	予算		
		委託料	R7	予算	3,740	3,740		R7	予算		R8
			R8	予算	3,740	3,740		R8	予算		
		通信運搬費	R7	予算	18,339	18,339		R7	予算		R8
			R8	予算	18,443	18,443		R8	予算		
		消耗品費	R7	予算	2,236	2,236		R7	予算		R8
			R8	予算	2,236	2,236		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	児童の安全安心を確保するため、適切な施設の維持管理を行ってきた。加えて、他市町村の動向も踏まえ、施設の緊急点検を実施し、必要な修繕を行った。
	R8	引き続き、施設の維持管理を行う。
	R9以降	引き続き、施設の維持管理を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		学校施設の維持管理は自然災害や、他市町村で起こった事案なども注視しながら、児童の安全安心を確保するために必要な予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	中学校管理運営事業（学校施設課）						事業番号	038-107
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校施設	課		

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性		—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	—						
3	事業開始年度		—	年度	点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	学校教育法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	学校園施設(中学校43校)、生徒、教職員、保護者、地域住民					対象数	単位
							—	—
7	事業の目的	学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。						
8	事業内容	学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払等						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定									
11	成果指標(目的の達成状況を測定) 施設や設備の維持保全を行い、生徒の安全安心が確保されている学校数	校	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度 令和12年度	
				43	43	43	43		
			目標値	43	43	43	43		
	当該指標を選定した理由		生徒の安全安心を確保することを目標とする。						
12	目標値の設定根拠・算出方法	市立中学校の校数							
	活動指標(成果を上げるための手段) 校舎等修繕料の実施件数	件	実績 令和6年度	実績	実績見込み	目標	点検対象年度 令和12年度		
				—	—	—			
			目標値	—	—	—			
	当該指標を選定した理由		施設や設備の維持保全に直結するものであるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。							

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	中学校管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-107
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	542,695	504,961	552,892	545,705	611,796
	国支出金	1,083		654	29,542	
	府支出金					
	市債					
	その他（財産収入、諸収入）	1,283	153	576	600	522
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	540,329	504,808	551,662	515,563	611,274

事業費の内訳

(単位：千円)

14 事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	444,398	414,256		R7	予算	1,512	1,512
		R8	予算	502,058	501,536		R8	予算	1,512	1,512
事 業 費 内 訳	光熱水費	R7	予算	89,360	89,360	自動車借上料	R7	予算		
		R8	予算	97,360	97,360		R8	予算		
	修繕料	R7	予算	2,200	2,200		R7	予算		
		R8	予算	2,200	2,200		R8	予算		
事 業 費 内 訳	委託料	R7	予算	25	25		R7	予算		
		R8	予算	25	25		R8	予算		
	手数料	R7	予算	8,210	8,210		R7	予算		
		R8	予算	8,641	8,641		R8	予算		
事 業 費 内 訳	通信運搬費	R7	予算				R7	予算		
		R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	生徒の安全安心を確保するため、適切な施設の維持管理を行ってきた。加えて、他市町村の動向も踏まえ、施設の緊急点検を実施し、必要な修繕を行ってきた。
	R8	引き続き、施設の維持管理を行う。
	R9以降	引き続き、施設の維持管理を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		学校施設の維持管理は自然災害や、他市町村で起こった事案なども注視しながら、生徒の安全安心を確保するために必要な予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高等学校管理運営事業（学校施設課）				事業番号	038-109
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校施設	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策
		無	取組の方向性		—	—
		有・無	指標名		—	—
		無	現状値		—	目標値
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット
		無	取組		—	—
		有・無	指標名		—	—
		無	現状値		—	目標値
3	関連計画	—				
4	事業開始年度	— 年度		点検対象年度	令和 12 年度	
5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	学校園施設(高等学校1校)、生徒、教職員、保護者、地域住民				対象数 —
7	事業の目的	学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。				
8	事業内容	学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払等				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—				
9	主な支出先	委託業者				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度	
	施設や設備の維持保全を行い、生徒の安全安心が確保されている学校数	校	目標値	1	1	1	
			実績値	1	1	—	
			達成率	100%	100%	—	
12	当該指標を選定した理由	生徒の安全安心を確保することを目標とする。					
	目標値の設定根拠・算出方法	市立高等学校の校数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	—	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	校舎等修繕料の実施件数	件	目標値	—	—		
			実績値	30	30		
			達成率	—	—		
12	当該指標を選定した理由	施設や設備の維持保全に直結するものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	高等学校管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-109
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	45,725	31,226	35,278	41,085	42,412
		国支出金	69				
		府支出金					
		市債					
		その他（諸収入）	438	186	482	450	368
		受益者負担金(使用料、手数料等)				1,325	1,334
		一般財源	45,218	31,040	34,796	39,310	40,710

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	36,325	35,875		R7	予算		R8
		光熱水費	R8	予算	37,460	37,092		R8	予算		
		修繕料	R7	予算	4,071	2,746		R7	予算		R8
			R8	予算	4,255	2,921		R8	予算		
		委託料	R7	予算	242	242		R7	予算		R8
			R8	予算	242	242		R8	予算		
		通信運搬費	R7	予算	447	447		R7	予算		R8
			R8	予算	455	455		R8	予算		
			R7	予算				R7	予算		R8
			R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	生徒の安全安心を確保するため、適切な施設の維持管理を行ってきた。加えて、他市町村の動向も踏まえ、施設の緊急点検を実施し、必要な修繕を行ってきた。
	R8	引き続き、施設の維持管理を行う。
	R9以降	引き続き、施設の維持管理を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		学校施設の維持管理は自然災害や、他市町村で起こった事案なども注視しながら、生徒の安全安心を確保するために必要な予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計							要求区分	その他
	事務事業名 幼稚園管理運営事業（学校施設課）						事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校施設	課	事業番号	038-111

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性		—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画				—			
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		学校教育法					
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	学校園施設(幼稚園4園)、園児、教職員、保護者、地域住民			対象数	単位		
7	事業の目的	学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。			—	—		
8	事業内容	学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払 等						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			—				
9	主な支出先	委託業者						
10	公民連携・協働事業		—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
	施設や設備の維持保全を行い、園児の安全安心が確保されている園数	園	目標値 4	4	4	4		
			実績値 4	4				
			達成率 100%	100%				
	当該指標を選定した理由	園児の安全安心を確保することを目標とする。						
	目標値の設定根拠・算出方法	市立幼稚園の園数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度		
	校舎等修繕料の実施件数	件	目標値 —	—	—			
			実績値 27	30				
			達成率 —	—				
	当該指標を選定した理由	施設や設備の維持保全に直結するものであるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	幼稚園管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-111
-------	------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	24,675	17,777	17,928	20,816	19,423
	国支出金	84				
	府支出金					
	市債					
	内訳					
	その他（諸収入）		23			50
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	24,591	17,754	17,928	20,816	19,373

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
			R7	予算				R7	予算		
		光熱水費	R7	予算	14,204	14,204		R7	予算		
			R8	予算	12,395	12,345		R8	予算		
		修繕料	R7	予算	5,387	5,387		R7	予算		
			R8	予算	5,787	5,787		R8	予算		
		委託料	R7	予算	374	374		R7	予算		
			R8	予算	374	374		R8	予算		
		通信運搬費	R7	予算	851	851		R7	予算		
			R8	予算	867	867		R8	予算		
			R7	予算				R7	予算		
			R8	予算				R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	園児の安全安心を確保するため、適切な施設の維持管理を行ってきた。加えて、他市町村の動向も踏まえ、施設の緊急点検を実施し、必要な修繕を行ってきた。
	R8	引き続き、施設の維持管理を行う。
	R9以降	引き続き、施設の維持管理を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		学校園施設の維持管理は自然災害や、他市町村で起こった事案なども注視しながら、園児の安全安心を確保するために必要な予算を要求する。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校施設課）						事業番号	038-112
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校施設			課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性		—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画			—				
3	事業開始年度			— 年度	点検対象年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			学校教育法				
事業の概要								
5	事業の実施主体		本庁					
6	事業の対象		学校園施設(特別支援学校4校)、児童生徒、教職員、保護者、地域住民				対象数	単位
							—	—
7	事業の目的		学校園の施設設備の保全を行い、良好な教育施設機能の維持を図る。					
8	事業内容		学校園施設設備の修繕、電気・ガス・水道及び電話使用料の支払 等					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—					
9	主な支出先		委託業者					
10	公民連携・協働事業		—					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	3	3	4	4	
	施設や設備の維持保全を行い、児童生徒の安全安心が確保されている学校数	校	実績値	3	3	—	—	
	当該指標を選定した理由	児童生徒の安全安心を確保することを目標とする。						
	目標値の設定根拠・算出方法	市立支援学校の校数						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	点検対象年度		
				令和6年度	令和7年度	令和8年度		
			目標値	—	—	—		
	校舎等修繕料の実施件数	件	実績値	44	50	—	—	
	当該指標を選定した理由	施設や設備の維持保全に直結するものであるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	緊急的な対応も多いため、目標値の設定にはなじまない。						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	特別支援学校管理運営事業（学校施設課）	事業番号	038-112
-------	---------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	39,013	36,382	43,380	40,873	48,272
	国支出金	96				
	府支出金					
	市債					
	その他（諸収入）	41			100	50
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	38,876	36,382	43,380	40,773	48,222

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	34,714	34,614		R7	予算	R8	予算
14 事 業 費 内 訳	光熱水費	R7	予算	34,714	34,614		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	40,487	40,437		R8	予算	R8	予算
	修繕料	R7	予算	5,059	5,059		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	6,581	6,581		R8	予算	R8	予算
	委託料	R7	予算	440	440		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	440	440		R8	予算	R8	予算
	通信運搬費	R7	予算	660	660		R7	予算	R8	予算
		R8	予算	764	764		R8	予算	R8	予算
		R7	予算				R7	予算	R8	予算
		R8	予算				R8	予算	R8	予算

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

	R7まで	児童生徒の安全安心を確保するため、適切な施設の維持管理を行ってきた。加えて、他市町村の動向も踏まえ、施設の緊急点検を実施し、必要な修繕を行ってきた。
16	R8	引き続き、施設の維持管理を行う。
	R9以降	引き続き、施設の維持管理を行う。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	学校施設の維持管理は自然災害や、他市町村で起こった事案なども注視しながら、児童生徒の安全安心を確保するために必要な予算を要求する。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	図書館電算事業				事業番号	038-122
担当部署名	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ⑥生涯学習の推進 — —	施策 （4）安心して学べる教育環境の充実 ターゲット 目標値 目標値		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 市立図書館の利用環境の整備 — —	4.a		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	昭和 56 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法 図書館法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	本庁						
7	事業の対象	■ 堀市民 ■ 図書館利用者			対象数 約82万	単位 人		
8	事業の目的	■ 図書資料の検索、予約、貸出、返却等、図書館利用の利便性を向上すること。 ■ 時間、場所にとらわれず、図書館に来館しなくても情報を入手できる環境を作ることでより多くの市民にサービスを提供する。						
9	事業内容	■ 7図書館と5分館および3図書施設をネットワークで結び、共通データベースを使用することで、すべての窓口での迅速なサービスを実現。 ■ Webによる図書の検索・予約・貸出状況を照会できる環境を整備し、図書館の利便性向上を図る。また、電子書籍提供サービスや自動送信メールなどの情報提供を行い、非来館サービスの拡充を図る。						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	委託業者						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標・点検対象年度 令和12年度
	インターネット蔵書検索システムトップページアクセス回数	回	目標値 2,455,707	実績値 2,425,212	達成率 97%	2,412,489 2,425,212
	当該指標を選定した理由	利用者が図書館以外の場所から関連情報を得ていると類推できるため、図書館ホームページ（www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/）のアクセス回数を指標に選定				
12	目標値の設定根拠・算出方法	市民一人当たり3回を目標値として設定				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	自動送信メールによる情報発信数	回	目標値 730,000	実績値 716,220	達成率 98%	730,000 755,885 104%
	当該指標を選定した理由	メールによる情報発信が利便性の向上及び非来館型の図書館情報提供の実績値となるため、予約割当通知、督促、返却期日通知、新着お知らせメールなどの送信数を指標に選定				
	目標値の設定根拠・算出方法	平成30年度実績値の概ね5%アップを目標値に設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	図書館電算事業	事業番号	038-122
-------	---------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	130,781	79,935	80,055	80,531	182,085
国支出金	0	0	0	0	0
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	90,000
内訳	その他 ()	0	0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源	130,781	79,935	80,055	80,531	92,085

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
	R7	予算	57,507	57,507		R7	予算	2,750	2,750
事業費内訳	R8	予算	57,507	57,507	消耗品費	R8	予算	2,779	2,779
	R7	予算	8,621	8,621		R7	予算	0	0
	R8	予算	9,985	9,985		R8	予算	41	41
	R7	予算	3,542	3,542		R7	予算	0	0
	R8	予算	3,599	3,599		R8	予算	100,000	10,000
	R7	予算	7,711	7,711		R7	予算		
システム回線使用料等	R8	予算	7,711	7,711		R8	予算		
	R7	予算	400	400		R7	予算		
	R8	予算	463	463		R8	予算		
	R7	予算	463	463		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8 ~ R9	要求額	200,000
----	----	---------	-----	---------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

R7まで	・システム移行（R5.1～本格稼働） ・システム機器一式賃貸借（R5.1～、リース契約/5年）
R8	・システム運用・保守委託 ・システム機器一式賃貸借（リース） ・新図書館情報システム開発業務（一般競争入札総合評価予定）
R9以降	・システム運用・保守委託（現システム12月末まで） ・システム機器一式賃貸借（リース：現システム12月末まで） ・新図書館情報システム開発業務（2年目。1月本番サービス開始。3月までの初期保守含む） ・新システム機器一式賃貸借（5年リースの初年分）

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	セキュリティ対策・障害対策を施し利用者へ安心・安全なオンラインサービスを提供する。また、良好な画面レスポンス及びスループットを確保し、図書等の物流を遅滞なく遂行するためのシステム安定稼働実施を図る。
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	図書館管理運営事業				事業番号	038-123
担当部署名	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実 ⑥生涯学習の推進		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値 —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.2		
		寄与 する KPI	有	取組	こども読書活動の推進			
			有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値 —		
3	事業開始年度	大正 5 年度		点検対象年度		令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	・社会教育法 ・図書館法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	本庁						
6	事業の対象	堺市民			対象数 82万	単位 人		
7	事業の目的	図書、記録その他必要な資料を収集、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することをもって、市民の教育と文化の発展に寄与すること。（図書館法第1条・第2条）						
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集・整理・保存 ・資料・情報の提供－貸出サービス、レンタルサービス ・地域資料の収集と適切な保存、利活用 ・子ども読書活動の推進－学校支援、ボランティアの育成と連携・協働 ・市民への読書啓発 等 ・施設管理業務（設備管理、警備、清掃業務）のほか、移動図書館運営、図書館カウンター堺東の運営、配本連絡業務、資料整理業務等を業務委託として実施 						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	委託業者						
10	公民連携・協働事業	おはなし会やビブリオバトル等のイベント						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	図書館利用者数	人		目標値 2,000,000	実績値 2,000,000	2,000,000
				実績値 1,818,574	1,865,009	2,000,000
				達成率 91%	93%	2,000,000
	当該指標を選定した理由	図書館を利用した人すべての数となるため、計測装置による各館来館者数の合計を指標に選定				
	目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍前の水準で目標値を設定				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
	新規受入資料点数			令和6年度 目標値 57,900	令和7年度 実績値 42,314	令和8年度 57,900
				実績値 42,314	37,449	57,900
				達成率 73%	65%	57,900
	当該指標を選定した理由	地域の知の拠点としての蔵書拡充に関する数のため指標に選定				
	目標値の設定根拠・算出方法	予算額に合わせて目標値を設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	図書館管理運営事業	事業番号	038-123
-------	-----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	526,294	534,822	639,867	670,787	712,501
		国支出金	0	0	0	495	250
		府支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他（）	4,309	4,300	7,645	24,933	11,015
		受益者負担金(使用料、手数料等)	1,194	1,383	1,352	1,383	1,350
		一般財源	520,791	529,139	630,870	643,976	699,886

事業費の内訳

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	80,000	79,000		R7	予算	38,029	38,029
		図書購入費	R8	予算	82,500	79,972	光熱水費（R8は共益費の光熱水費含む）	R8	予算	54,149	54,149
		新聞・雑誌・追録等資料購入費	R7	予算	13,724	13,724	使用料及び賃借料	R7	予算	10,034	9,630
			R8	予算	14,003	14,003		R8	予算	11,122	10,785
		子ども読書活動推進事業費	R7	予算	460	460	負担金等	R7	予算	61,538	57,457
			R8	予算	482	482		R8	予算	58,106	58,056
		会計年度任用職員報酬等	R7	予算	240,022	240,022	通信運搬費	R7	予算	6,312	6,312
			R8	予算	271,730	271,730		R8	予算	5,149	5,149
		委託料	R7	予算	173,090	172,543	その他	R7	予算	47,578	26,799
			R8	予算	186,581	179,644		R8	予算	28,679	25,916

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8 ~ R11	要求額	224,000
----	----	----------	-----	---------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	蔵書計画に基づく市民の暮らしに役立つ図書館資料の充実、子ども読書活動推進計画に基づく事業推進継続、子ども司書養成講座の継続及び活動支援等取組継続、中央図書館基本指針に基づく取組の推進継続
	R8	蔵書計画に基づく市民の暮らしに役立つ図書館資料の充実、子ども読書活動推進計画に基づく事業推進継続、子ども司書養成講座の継続及び活動支援等取組継続、中央図書館基本指針に基づく取組の推進継続 中央図書館基本計画の策定
	R9以降	蔵書計画に基づく市民の暮らしに役立つ図書館資料の充実、子ども読書活動推進計画に基づく事業推進継続、子ども司書養成講座の継続及び活動支援等取組継続、中央図書館基本指針に基づく取組の推進継続、中央図書館基本計画の策定

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・蔵書計画に基づく市民の暮らしに役立つ図書館資料の充実 ・ふるさと納税による寄附金で児童資料の充実を行い、その活用を図る貸出事業を継続 ・「子ども司書養成講座」等、子ども読書活動推進事業の実施

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	地域情報活用支援事業				事業番号	038-125
担当部署名	教育委員会事務	局	中央図書館	部	総務	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実
		寄与 する KPI	有・無	取組の方向性	—	⑥生涯学習の推進
		寄与 する KPI	無	指標名	—	—
		現状値	—	目標値	—	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット
		寄与 する KPI	有	取組	生涯を通じた学びの支援	4.7
		寄与 する KPI	無	指標名	—	—
		現状値	—	目標値	—	—
3	関連計画	■堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン				
4	事業開始年度	平成 18 年度		点検対象年度	令和 12 年度	
5	事業の実施主体	■本庁				
6	事業の対象	■堺の地域資料・情報に関心のある方				対象数 57万
7	事業の目的	<p>■多様なニーズをもつすべての人が地域資料の情報を活用できるようにすること。 例・堺の歴史文化に関心のある方への調査協力、資料提供 ・行政資料・統計資料等、起業やビジネス、行政関係者の課題解決支援に役立つ資料・情報提供。</p>				
8	事業内容	<p>■図書だけではなく様々な形態の資料や書店等では入手できない行政資料・パンフレット等、散逸しがちな地域資料を収集し、利用者に提供できるよう、年間3千点程度の資料の装備、データ化を進める。</p> <p>■所蔵する歴史資料など、貴重資料の保存と、積極的な利用の向上のため、マイクロフィルム化やデジタルアーカイブ構築を進め、インターネットや館内の端末による情報発信を行う。</p> <p>■地域の記録を市民と協働でデジタル保存を行い後世に伝える。</p> <p>■年に1回『堺研究』を発行し、堺の歴史・文化に関わる研究成果を全国に発信する。</p>				
※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		—				
9	主な支出先	■委託業者				
10	公民連携・協働事業	—				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	デジタル化したコンテンツの閲覧数	件	目標値	151,385	154,529	190,676
			実績値	140,481	173,342	—
			達成率	93%	112%	—
12	当該指標を選定した理由	デジタル化したコンテンツの周知、利用量と関連するため、デジタルアーカイブ、ホームページコンテンツの閲覧数を指標に選定。				
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績の10%上昇で設定				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 点検対象年度
12	デジタル化・マイクロフィルム化したコンテンツ数		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		件	目標値	4,071	3,919	2,613
			実績値	3,563	2,376	—
	当該指標を選定した理由	デジタルアーカイブの構築のためにはデジタル化が必要なため、新たにデジタル化・マイクロフィルム化した地域資料コンテンツ数を指標に選定				
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度実績の10%上昇で設定				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	地域情報活用支援事業	事業番号	038-125
-------	------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	2,153	2,266	2,495	2,885	2,885
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	5	13	27	13	26
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	2,148	2,253	2,468	2,872	2,859

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算				R7	予算		
14 事 業 費 内 訳	地域資料保存処理業務	R7	予算	275	275	謝礼金	R7	予算	358	358
		R8	予算	275	275		R8	予算	358	358
	地域資料マイクロフィルム化業務	R7	予算	208	208	印刷製本費	R7	予算	375	362
		R8	予算	208	208		R8	予算	375	349
	地域資料デジタル化業務	R7	予算	418	418	消耗品費	R7	予算	190	190
		R8	予算	418	418		R8	予算	190	190
	堺独自資料電子書籍化業務	R7	予算	797	797		R7	予算		
		R8	予算	797	797		R8	予算		
	堺市史デジタル化資料一般公開システム使用料	R7	予算	264	264		R7	予算		
		R8	予算	264	264		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	—
----	----	-------	-----	---

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	貴重資料を含む資料を後世へ継承できるよう、収集・保存に取り組み、すべての人が扱えるようにデジタル化といった媒体変換をするなど利用の利便性についても取り組む。
	R8	貴重資料を含む資料を後世へ継承できるよう、収集・保存に取り組み、すべての人が扱えるようにデジタル化といった媒体変換をするなど利用の利便性についても継続的して取り組む。
	R9以降	貴重資料を含む資料を後世へ継承できるよう、収集・保存に取り組み、すべての人が扱えるようにデジタル化といった媒体変換をするなど利用の利便性についても継続的して取り組む。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		基本的な事業の継続的な実施 整理分類・デジタル化等、保存作業を一層推進することにより、より多くの活用普及をはかる

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 幼児教育充実事業				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター・学校教育	部	事業番号	038-041
					能力開発・教育課程	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (1) 妊娠から青年期まで切れのない子育て支援の充実		
		寄与 する KPI	有・無	取組の方向性	②多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供	—		
		寄与 する KPI	無	指標名	—	—		
		現状値	—	目標値	—	—		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.2		
		寄与 する KPI	有	取組	安全安心で質の高い幼児教育・保育の提供、小学校教育との連携	—		
		寄与 する KPI	無	指標名	—	—		
		現状値	—	目標値	—	—		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市幼児教育基本方針、堺市こども計画						
4	事業開始年度	平成 10 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法 学校教育法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	出先機関・本庁						
7	事業の対象	市立幼稚園・小学校、市内の就学前教育・保育施設				対象数 347		
8	事業の目的	公民園種を超えた市全体の幼児教育の質の向上及び小学校教育との円滑な接続						
9	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の資質向上に向けた研修や施設に対する助言・相談業務、幼児教育センター機能の充実 ・円滑な幼保小接続に向けた取組支援 ・要配慮児への指導に関する専門家等の派遣や研修等の実施 ・公立幼稚園の園運営及び研究実践に係る支援 						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	—						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	スタートカリキュラムを編成・実施後に、評価改善を行っている小学校の割合	%	目標値 90	100	100	100	
			実績値 100	100	—	—	
			達成率 111%	100%	—	—	
12	当該指標を選定した理由	スタートカリキュラムを毎年、評価改善することが円滑な幼保小接続に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度に全校での実施に向けて設定					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	幼保小合同研修会の延べ参加人数	人	目標値 520	800	1,100		
			実績値 829	1,062	—		
			達成率 159%	133%	—		
	当該指標を選定した理由	小学校と幼児教育・保育施設の職員が交流することで、それぞれのカリキュラムについて相互理解できる機会となり、幼保小接続に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	開催数と実績を踏まえ算出					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	幼児教育充実事業	事業番号	038-041
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	9,762	9,999	10,858	13,212	13,723
国支出金	599	525	744	677	649
府支出金	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0
内訳	その他 ()	0	0	0	0
受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
一般財源	9,163	9,474	10,114	12,535	13,074

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
	R7	予算	8,827	8,827		R7	予算	14	14
事業費内訳	保育補助員 報酬等	R8	予算	9,621	9,621	通信運搬費	R8	予算	14
	専門家等講師謝礼金	R7	予算	2,452	1,923		R7	予算	46
		R8	予算	2,189	1,680	使用料	R8	予算	23
	自然環境整備事業謝礼金	R7	予算	663	663		R7	予算	144
		R8	予算	663	663	印刷製本費	R8	予算	144
	旅費	R7	予算	155	80		R7	予算	
消耗品費 (研究実践支援含む)		R8	予算	135	68		R8	予算	
	R7	予算	911	861		R7	予算		
		R8	予算	911	861	R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	—
----	----	-------	-----	---

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

R7まで	「堺市幼児教育基本方針」に基づき、令和2年度に幼児教育センターを設置して以来、体系的な研修実施や公立園の研究実践支援に加え、堺市幼児教育アドバイザー等を派遣し、施設の園内研修支援の充実を図る等、幼児教育センター機能の充実を図ってきた。令和7年度は、幼保小接続支援として、9校区を設定し取組を支援。また、堺市「架け橋期のカリキュラム」開発会議を立ち上げ、堺市共通版カリキュラムについて検討・作成。円滑な幼保小接続に向け、各校区に架け橋連携グループの体制を構築し、取組を支援。
R8	堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の試行にあたり、架け橋連携グループでの教育・保育の実践的な取組を支援。堺市「架け橋期のカリキュラム」開発会議を継続開催し、各校区での取組実施状況の把握や検証、必要な支援策を検討。
R9以降	校区版「架け橋期のカリキュラム」の作成に向け、架け橋コーディネーターの派遣等、幼保小接続の取組への支援を実施。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の試行や校区版カリキュラムの作成等、円滑な幼保小接続の推進に向けた取組にかかる経費を要求 ■巡回相談や園内研修支援など、民間園に対する支援にかかる経費を要求 ■園バスの安全な運行など、公立幼稚園の園運営及び研究実践にかかる支援を実施
----	---------	---

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名		担当部署名			
事務事業名	科学教育推進事業				事業番号	038-061
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	能力開発	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (2) こどもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		学力が伸びた児童生徒の割合		
		有	現状値	小5 国: 77.5% 算: 68.7%、中2 国: 59.4% 数: 79.1% (2025年度)	目標値	小5 国: 83.0% 算: 74.0%、中2 国: 70.0% 数: 84.0% (2030年度)		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット		
		有	取組			総合的な学力の育成		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		学力が伸びた児童生徒の割合		
		有	現状値	小5 国: 77.5% 算: 68.7%、中2 国: 59.4% 数: 79.1% (2025年度)	目標値	小5 国: 83.0% 算: 74.0%、中2 国: 70.0% 数: 84.0% (2030年)		
2	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
3	事業開始年度	平成 一 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育公務員特例法 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 理科教育振興法						
事業の概要								
5	事業の実施主体	出先機関						
6	事業の対象	小学校教員・中学校理科教員、児童・生徒、市民				対象数 約82万		
7	事業の目的	・教員の理科指導力の向上、児童生徒の理科に対する知的好奇心の向上を目的とする。 ・市民の科学的リテラシーの向上を目的とする。						
8	事業内容	・教員研修 教材研修、理科主任研修、理科授業づくり研修、スキルアップ研修、STEAM教育研修等の集合研修に加え、学校からの要請に基づき、学校へ指導主事を派遣し、指導助言をする。 ・堺市学校理科展覧会の開催 児童生徒及び教職員の理科研究を奨励し、研究交流の場として、研究物並びに製作物の展示・発表を行う。 ・小学校理科特別授業実施事業 関係団体の専門家を講師に招聘し、技術の実用事例を基にした内容で小学校理科特別授業を実施する。 ・科学催事「堺科学教育フェスタ」・市民科学講座の開催 ・堺サイエンスクラブ 小学校6年生を対象に、大阪公立大学の「未来の博士育成ラボ」と連携した継続的な研究活動を通して、観察実験の技能・科学的思考力・プレゼン能力等の向上を図り、将来科学分野で活躍する人材を育成する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	大阪公立大学、本市内企業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	「自然の中の日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いたしたりしていますか（当てはまる・どちらかといえば当てはまる）」と答えた生徒の割合	%	目標値	70	70	70
			実績値	69	50	
	当該指標を選定した理由	教員の理科指導力が向上しているのかを、生徒の意識調査の結果で見取るため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	中学校3年生を対象とした意識調査の結果。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度
	教員研修の実施回数	回	目標値	110	110	110
			実績値	116	115	
	当該指標を選定した理由	教員の理科授業力の向上に向けて、教員研修の実施が有効な手立てであると考えるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	教員研修計画に基づく、集合研修及び学校訪問研修合計回数。				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	科学教育推進事業	事業番号	038-061
-------	----------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	5,693	7,969	8,352	8,738	9,123
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	市債	0	0			
	その他（子ども教育ゆめ基金）	2,216	1,886	2,001	2,547	2,764
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0			
	一般財源	3,477	6,083	6,351	6,191	6,359

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目		年度		事業費	うち一般財源
			R7	予算			R7	予算	R8	予算		
		会計年度任用職員報酬	R7	予算	4,109	4,109	費用弁償（通勤費）（会計年度任用職員）	費用弁償（通勤費）（会計年度任用職員）	R7	予算	416	416
			R8	予算	4,318	4,318			R8	予算	312	312
		科学催事事業	R7	予算	2,000	0	費用弁償（その他）	費用弁償（その他）	R7	予算	166	166
			R8	予算	2,200	0			R8	予算	166	166
		期末手当（会計年度任用職員）	R7	予算	863	863	その他	その他	R7	予算	277	105
			R8	予算	926	926			R8	予算	293	104
		謝礼金	R7	予算	347	192			R7	予算		
			R8	予算	347	192			R8	予算		
		消耗品費	R7	予算	560	340			R7	予算		
			R8	予算	561	341			R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	—
----	----	-------	-----	---

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	■小学校教員を中心に、子どもの安全、資質・能力の向上のため教員研修やSTEAM教育研修を実施。 ■堺市学校理科展覧会や企業による理科実験教室、堺サイエンスクラブ等を実施。 ■産官学連携を模索し、新たな連携を実施。
	R8	■本市におけるSTEAM教育の普及、充実に向けた研修の実施や産官学連携した取組の検討、実施。 ■教員研修については、小学校理科専科教員の増加やICTの活用等、近年大きく変化している学校の状況を踏まえ、小中学校理科の学力向上に向けた研修を実施。 ■催事に関しては、限られた予算・人員の中、一部業務委託をしながら協力団体と連携し、実施。
	R9以降	■産官学連携を実施し、新たな連携の検討。 ■本市におけるSTEAM教育の普及、充実を進める。 ■教員の指導力向上に向けた取組の充実。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■科学教育だけでなく、STEAM教育の推進にかかる経費を要求。 ■科学催事の円滑な運営にかかる経費を要求。

令和8年度 事務事業予算要求シート (1)

							要求区分	その他
							事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	学校教育ICT化推進事業					事業番号	038-063	
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	学校ICT化推進室		課	

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 有 有・無 有	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~ ②新しい時代に必要となる資質・能力の育成 学力が伸びた児童生徒の割合 ゴール(4)質の高い教育をみんなに 教育におけるICT活用の推進 学力が伸びた児童生徒の割合	施策 ②子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 ターゲット 4.5	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 小5 国: 77.5%算: 68.7%、中2 国: 59.4%数: 79.1% (2025年度) 目標値 小5 国: 83.0%算: 74.0%、中2 国: 70.0%数: 84.0%(2030年度)	小5 国: 83.0%算: 74.0%、中2 国: 70.0%数: 84.0%(2030年)
2	関連計画					—		
3	事業開始年度				平成 17 年度	点検対象年度	令和 12 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)				学校教育の情報化の推進に関する法律			
事業の概要								
5	事業の実施主体				出先機関			
6	事業の対象				堺市立全学校園の児童・生徒(約59,000人)及び教職員 (約4,600人)	対象数 約63,600	単位 人	
7	事業の目的				ICTを活用した児童生徒の「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実			
8	事業内容				■GIGAスクール構想の推進 児童生徒用1人1台パソコンをはじめとする教育ICT環境の整備・活用促進 教育情報ネットワークの整備・運用 ■児童生徒の情報教育の推進 児童生徒のデジタルシティズンシップ教育・情報モラル教育の推進 小学校・支援学校におけるプログラミング教材の整備・活用促進 ■校務や授業等でのICT活用の推進 校務支援システムの整備・活用促進、ICT活用授業に関する教職員研修			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				—			
9	主な支出先				三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社、FLCS株式会社、パナソニックコネクト株式会社、NTT・TCリース株式会社			
10	公民連携・協働事業				—			

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定								
成果指標(目的の達成状況を測定)		単位		実績	実績見込み	目標	目標	点検対象年度
児童生徒用パソコンの活用率(授業において週1回以上活用した児童生徒の割合)		%	目標値 実績値 達成率	令和6年度 75 75 100%	令和7年度 80 84 105%	令和8年度 90	令和12年度 90	
当該指標を選定した理由		全国調査の項目であり、比較指標として妥当であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		文部科学省「全国学力・学習状況調査」						
活動指標(成果を上げるための手段)		単位		実績	実績見込み	目標		
ICTの活用に関する研修を受講した教職員		人	目標値 実績値 達成率	令和6年度 1,890 1,280 68%	令和7年度 1,900 1,600 84%	令和8年度 2,000		
当該指標を選定した理由		全国調査の項目であり、ICT化推進事業の指標として妥当であるため。						
目標値の設定根拠・算出方法		ICT活用に関する研修に参加した教員数						

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	学校教育ICT化推進事業	事業番号	038-063
-------	--------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	2,197,204	2,572,002	2,412,457	2,397,543	3,413,520
国支出金							
府支出金							
市債							911,470
その他（ふるさと納税）					170,677		
受益者負担金(使用料、手数料等)							
一般財源		2,197,204	2,572,002	2,241,780	2,397,543	2,502,050	

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	946,968	946,968		R7	予算	9,788	9,788
		R8	予算	951,293	951,293	R8	予算	10,539	10,539	R8	予算
学習者用端末賃貸借							その他				
需用費		R7	予算	8,802	8,802	R8	予算			R7	予算
役務費		R8	予算	8,802	8,802	R7	予算			R8	予算
委託料		R7	予算	4,576	4,576	R8	予算			R7	予算
使用料及び賃借料		R8	予算	4,576	4,576	R7	予算			R8	予算
		R7	予算	1,358,466	1,358,466	R8	予算			R7	予算
		R8	予算	1,388,399	1,388,399	R7	予算			R8	予算

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	～	要求額	
----	----	---	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	校内高速通信ネットワークの構築、児童生徒用1人1台パソコンの活用に向けた教員研修の実施、教員用指導校務兼用端末の整備、既存導入機器の契約見直し、教育情報ネットワークの再構築、児童生徒用1人1台パソコンの更新、教育用プラットフォーム・校内ネットワーク機器の更新
	R8	児童生徒用1人1台パソコンの活用に向けた教員研修の実施
	R9以降	教育情報ネットワークの再構築、児童生徒用1人1台パソコンの活用に向けた教員研修の実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		・国のGIGAスクール構想に基づき導入した児童生徒用1人1台パソコンや教員用端末、校内ネットワーク機器の運用、管理を行う。

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名	教育相談			事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務局	局	教育センター	部	事業番号	038-066
					企画相談課	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	戦略 取組の方向性 指標名 現状値	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～ ②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援 — —	施策 (3) 多様性を尊重した教育の推進 ②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援 — —		
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連 寄与 する KPI	有・無 有 有・無 無	ゴール 取組 指標名 現状値	ゴール(4)質の高い教育をみんなに 不登校、いじめの防止に向けた取組の強化 — —	ターゲット 4.5		
3	関連計画	堺市教育大綱、第4期未来をつくる堺教育プラン						
4	事業開始年度	昭和 40 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
5	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育文化センター条例、発達障害者支援法						
事業の概要								
6	事業の実施主体	出先機関						
7	事業の対象	教育に関する悩みのある児童生徒、保護者、教職員				対象数 —		
8	事業の目的	教育に関する悩みのある児童生徒、保護者、教職員らが、相談を通じて不安を軽減し、それぞれの課題に対して解決に向かう状態となるよう支援すること。						
9	事業内容	児童生徒、保護者、教職員を対象に教育に関する悩みについて面接や24時間電話による教育相談を実施し、こどもの健やかな成長発達、自立を支援する。 ■ 2か所で面接教育相談を実施 ◆ ソフィア教育相談（火～土曜日）（中区深井清水町1426 ソフィア・堺内） ◆ ふれあい教育相談（火～土曜日）（堺区協和町2-61-1 人権ふれあいセンター内） ■ 電話教育相談「こころホーン」（24時間365日受付）						
10	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
11	主な支出先	WorkWay株式会社						
12	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度
	面接相談の課題達成率	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 94	94		
			達成率 94%	94%		
12	当該指標を選定した理由	事業の目的である相談者の課題解決に向かう状態にある相談件数の割合を算出				
	目標値の設定根拠・算出方法	解決した相談件数と課題解決に向かって良好な形で継続している相談件数の合計 ÷ 相談件数の総合計 × 100				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	
	学校との連携率	%	目標値 75	75	75	
			実績値 58	58		
			達成率 77%	77%		
	当該指標を選定した理由	学校生活にかかわる悩みや課題の解決に向かうには学校と連携した支援が重要であるため				
	目標値の設定根拠・算出方法	学校と連携した相談件数 ÷ 相談対象の児童生徒の所属学校数 × 100 (相談者が学校との連携を希望しない場合があることを踏まえて目標設定)				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	教育相談	事業番号	038-066
-------	------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
13 財 源 内 訳	事業費 (a)	16,188	20,952	24,812	21,775	22,992
	国支出金	3,369	2,955	2,583	2,626	2,788
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	12,819	17,997	22,229	19,149	20,204

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	予算	10,914	8,388		R7	予算	101	101
14 事 業 費 内 訳	電話教育相談事業	R8	予算	11,774	9,066	普通旅費	R8	予算	117	117
		R7	予算	507	407		R7	予算	99	99
	通信運搬費	R8	予算	444	364	費用弁償 (その他)	R8	予算	106	106
		R7	予算	560	560		R7	予算	81	81
	医師報酬	R8	予算	560	560	会場等借上料	R8	予算	58	58
		R7	予算	607	607		R7	予算	39	39
	消耗品費	R8	予算	652	652	研修会等参加負担金	R8	予算	49	49
	謝礼金	R7	予算	241	241		R7	予算	8,626	8,626
		R8	予算	241	241		R8	予算	8,991	8,991

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R8 ~ R11	要求額	32,000
----	----	----------	-----	--------

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	・教育相談の実施（市内2か所での面接相談、24時間電話相談） ・教育相談に関する相談員、教職員の教育相談技能の向上に向けた研修の実施
	R8	・教育相談の実施（市内2か所での面接相談、24時間電話相談） ・教育相談に関する相談員、教職員の教育相談技能の向上に向けた研修の実施
	R9以降	・教育相談の実施（市内2か所での面接相談、24時間電話相談） ・教育相談に関する相談員、教職員の教育相談技能の向上に向けた研修の実施

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	・面接相談、24時間電話相談の継続実施にかかる経費を要求 ・現在の教育課題をふまえた相談員、教職員の教育相談技能の向上にかかる経費を要求

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	教職員研修				事業番号	038-067
担当部署名	教育委員会事務局	局	教育センター	部	能力開発課	課

I. 基本情報

事業の位置付け						
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (4) 安心して学べる教育環境の充実
		有	取組の方向性		①信頼される教員の育成	—
		有・無	指標名		—	—
		無	現状値	—	目標値	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット
		有	取組	—	総合的な学力の育成	4.1
		有・無	指標名	—	学力が伸びた児童生徒の割合	—
		有	現状値	小5 国: 77.5% 算: 68.7%、中2 国: 59.4% 算: 79.1% (2025年度)	目標値	小5 国: 83.0% 算: 74.0%、中2 国: 70.0% 算: 84.0% (2030年)
3	事業開始年度	—	年度	点検対象年度	令和 12 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	地方公務員法、教育公務員特例法、地方公務員特例法施行令、地方教育行政の組織及び運営に関する法律				
事業の概要						
5	事業の実施主体	出先機関				
6	事業の対象	堺市立学校園の教職員				対象数 5,235 人
7	事業の目的	自主性・自律性に富んだ自立した学校園の実現に向けて、「情熱」「指導力」「人間力」を備えた教職員の育成				
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■堺市教員育成指標に基づく、教職員の資質向上に向けた研修の実施（初任者・発展研修、中堅教諭等資質向上研修、指導改善研修、管理職研修、職務に応じた研修、一般教職員研修） ■専門指導員による初任者等の訪問巡回指導の実施 ■「校園内研修ガイドブック」や「堺版教師学び合いスタンダード」を活用した、組織的・継続的な校園内研修の支援 				
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先	—				
10	公民連携・協働事業	中堅教諭等資質向上研修（8年次対象）における選択必修講座3				

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定						
11	研修後のアンケート結果（実践意欲度）	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
		目標値	%	—	—	90
		実績値	%	—	—	95
		達成率	%	—	—	—
12	当該指標を選定した理由	研修での学びを業務等へ生かす意欲を測定し、実践との継続性を図るため。				
		目標値の設定根拠・算出方法				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	目標値	%	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度
		実績値	%	100	100	100
		達成率	%	96%	97%	—
		当該指標を選定した理由	研修内容が受講者のニーズや課題に応じたものであったかを測定し、内容の充実を図るため。			
	目標値の設定根拠・算出方法	研修アンケート「研修内容はあなたの期待や要望に応えたものか」において、「強く思う・そう思う」と答えた割合				

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	教職員研修	事業番号	038-067
-------	-------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	事業費 内 訳	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	37,513	54,747	74,480	79,145	98,816
		国支出金	1,196	0	0	1,716	1,299
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	36,317	54,747	74,480	77,429	97,517

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事業費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R7	予算	51,310	49,973		R7	予算	1,531	1,531
		会計年度任用職員報酬	R8	予算	66,988	65,978	普通旅費	R8	予算	1,531	1,531
		期末手当 (会計年度任用職員)	R7	予算	11,123	10,848	消耗品費	R7	予算	2,402	2,402
			R8	予算	14,746	14,530		R8	予算	1,776	1,776
		謝礼金	R7	予算	2,940	2,940	使用料及び賃借料	R7	予算	3,424	3,424
			R8	予算	2,940	2,940		R8	予算	3,415	3,415
		費用弁償 (その他)	R7	予算	1,509	1,509	その他	R7	予算	1,006	1,006
			R8	予算	1,811	1,811		R8	予算	773	773
		費用弁償 (通勤費)	R7	予算	3,900	3,796		R7	予算		
			R8	予算	4,836	4,763		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	
----	----	-------	-----	--

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	学校力の向上を図る校内研修の推進及び「学び続ける教職員」の育成に向けた研修の実施。働き方改革に沿った研修内容・回数・実施方法の工夫改善。学校園の課題やニーズに応じた研修実施。学校管理職のマネジメント力の向上、特別支援教育に関する研修体制の構築。
	R8	R7までの取組に加え、初任者・発展研修やミドルリーダー育成にむけた研修、授業力向上に向けた研修の充実。文部科学省推奨の研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォームを活用した、対話に基づく研修受講奨励の推進。
	R9以降	社会情勢や学校園の実態、職能に応じた研修を充実させ、研修受講者が自らの研修ニーズに応じて研修を選択できるよう、研修コンテンツの充実を図る。研修履歴を活用した研修受講奨励を推進し、学校管理職や主幹教諭、ミドルリーダー等の資質・能力の向上に資する研修を実施。

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	■ 研修履歴を活用した対話に基づく研修受講奨励の推進のため、文部科学省推奨の研修受講履歴記録システム及び教員研修プラットフォームを活用
		■ 初任者・発展研修や授業力向上に資する研修内容の充実

令和8年度 事務事業予算要求シート（1）

一般会計					要求区分	その他
	事務事業名 幼稚園管理運営事業（教育センター）				事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	教育委員会事務	局	教育センター	部	事業番号	038-114
					能力開発	課

I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本 計画 2030	施策 との 関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～	施策 (1) 妊娠から青年期まで切れのない子育て支援の充実 ②多様で質の高い幼児教育・保育サービスの提供		
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—		
		無	現状値		—	目標値		
		堺市SDGs 未来都市 計画	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット 4.2		
			有	取組	幼児教育・保育施設の待機児童解消に向けた受入枠の確保			
			有・無	指標名		—		
			無	現状値	—	目標値		
2	関連計画	第4期未来をつくる堺教育プラン、堺市こども計画						
3	事業開始年度	平成 23 年度		点検対象年度	令和 12 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市立幼稚園預かり保育実施要綱						
事業の概要								
5	事業の実施主体	出先機関						
6	事業の対象	市立幼稚園に在園する幼児及び保護者				対象数 4 園		
7	事業の目的	幼児教育及び子育て支援の充実を図るため						
8	事業内容	市立幼稚園4園(全園)において、教育課程に係る教育時間の終了後等に、希望する在園児を対象に預かり保育を実施する。						
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—						
9	主な支出先	—						
10	公民連携・協働事業	—						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度	目標 点検対象年度 令和12年度	
	預かり保育延べ利用者数	人	目標値 8,000	10,600	11,400	9,100	
			実績値 10,386	12,646			
			達成率 130%	119%			
12	当該指標を選定した理由	利用者数の増加は、子育て支援の需要への対応につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	在園児見込数や実績等を踏まえて算出					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和6年度	実績見込み 令和7年度	目標 令和8年度		
	預かり保育実施日数	日	目標値 217	217	217		
			実績値 217	217			
			達成率 100%	100%			
	当該指標を選定した理由	利用希望者が利用できる日数を確保する必要があるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市立幼稚園預かり保育実施要綱に基づいた各園の実施予定日数の平均					

令和8年度 事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	幼稚園管理運営事業（教育センター）	事業番号	038-114
-------	-------------------	------	---------

III. 令和8年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)		9,691	10,242	10,757	13,108	14,672
国支出金		2,088	2,449	2,672	2,192	2,877
府支出金		2,088	2,449	2,672	2,192	2,877
市債		0	0	0	0	0
内訳	その他（預かり保育利用一部負担金）	4,949	4,977	5,305	4,116	5,723
	受益者負担金（使用料、手数料等）	0	0	0	0	0
	一般財源	566	367	108	4,608	3,195

事業費の内訳

(単位：千円)

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R7	予算	11,811	3,311		R7	予算	R8	予算
事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R8	予算	13,317	2,901		R8	予算		
	費用弁償（通勤費）	R7	予算	1,220	1,220		R7	予算		
		R8	予算	1,256	274		R8	予算		
	普通旅費	R7	予算	6	6		R7	予算		
		R8	予算	6	2		R8	予算		
	消耗品費	R7	予算	10	10		R7	予算		
		R8	予算	10	2		R8	予算		
	手数料	R7	予算	61	61		R7	予算		
		R8	予算	83	16		R8	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R～R	要求額	—
----	----	-----	-----	---

IV. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R7まで	市立幼稚園4園（全園）での実施
	R8	市立幼稚園4園（全園）での実施を継続
	R9以降	市立幼稚園4園（全園）での実施を継続

V. 要求のポイント

17	要求のポイント	
		「堺市幼児教育基本方針」に基づき、発達の連続性を踏まえた保育の充実と子育て支援の充実を図るため、安全で円滑な預かり保育の実施に必要な会計年度任用職員の人事費等を計上する。